

さぬき市 まちづくりアンケート
— 報告書 —

2021（令和3）年11月
香川県 さぬき市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	3
3 職業別構成	4
4 世帯構成	5
5 同居家族について	6
6 居住歴	7
III 調査結果	8
【1】さぬき市について	8
1 さぬき市への愛着度	8
2 暮らしやすさ	10
3 永住意向	12
4 第2次さぬき市総合計画の認知状況	14
【2】地域での生活について	16
1 日頃の悩みや不安	16
2 近所付き合いの程度	19
3 住民同士のつながり意識	20
4 地域の行事や活動への参加状況	22
5 希望する地域の人との関わり方	25
【3】まちづくりの満足度と重要度について	27
1 各施策の満足度と重要度	27
【4】これからのまちづくりについて	41
1 商工業振興のために力を入れるべきこと	41
2 農林水産業振興のために力を入れるべきこと	43
3 観光振興のために力を入れるべきこと	45
4 定住促進のために効果が高いと思う取組	47
5 災害対策として力を入れるべきこと	49
6 都市基盤や生活環境に関して力を入れるべきこと	51
7 公園や緑地に関して整備してほしいこと	53
8 子育て支援に関して力を入れるべきこと	55
9 高齢者や障害者福祉に関して力を入れるべきこと	57
10 健康づくりに関して力を入れるべきこと	59
11 学校教育に関して力を入れるべきこと	61
12 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと	63
13 人権を大切にするために力を入れるべきこと	65

14 環境保全に関して力を入れるべきこと -----	67
15 住民と行政の協働について-----	69
16 人口減少に対する不安-----	71
17 人口減少により不安に感じること-----	73
18 まちづくりに関する活動への参加意向 -----	75
19 今後取り組むべき行政運営-----	78
【5】新たな日常（新しい生活様式等への対応）について -----	80
1 感染症の拡大による生活への影響-----	80
2 新たな日常に対応するために必要な取組 -----	90
【6】さぬき市の将来像について -----	93
1 市が取り組むべきまちづくり -----	93
資料 調査票-----	96

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「第2次さぬき市総合計画（中期基本計画）」の見直しに当たって、さぬき市のまちづくりに関する市民の意識や意見等を把握し、今後の計画づくりのための基礎資料とする目的として実施した。

【調査対象】

18歳以上の市民

【調査方法】

郵送配布～郵送回収、インターネットによる回答

【調査時期】

2021（令和3）年8月

【回収結果】

配布数 ----- 2,500 件

有効回収数 ----- 1,288 件（インターネットによる回答 263 件を含む）

有効回収率 ----- 51.5%

【地区別回収状況】（問1回答結果より）

	構成比(%)	件数(件)
津田地区	18.3	236
大川地区	21.9	282
志度地区	18.4	237
寒川地区	20.5	264
長尾地区	20.2	260
無回答	0.7	9
合計	100.0	1,288

【報告書の見方について】

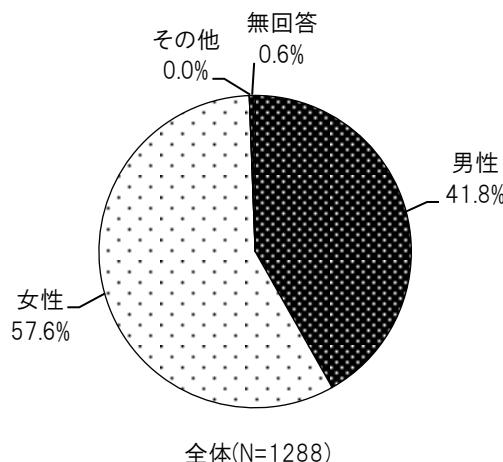
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II 回答者の属性

1 性別構成

問2 あなたの性別をお答えください（自認する性別をお答えください）。（○は1つ）

回答者の性別構成比は、「男性」が41.8%、「女性」が57.6%と、女性の割合が男性を上回っている。

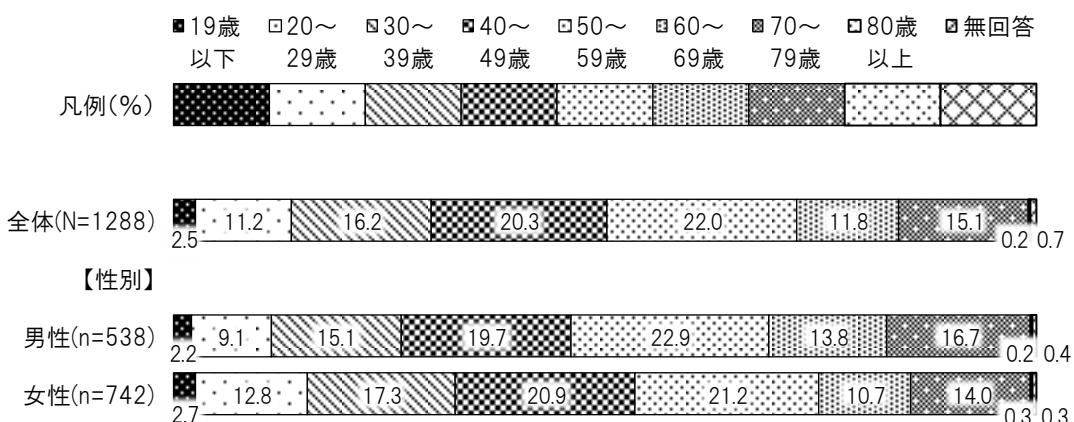


2 年齢別構成

問3 あなたの年齢をお答えください。（○は1つ）

年齢別構成は、「50～59歳」の割合が22.0%と最も高く、次いで「40～49歳」(20.3%)、「30～39歳」(16.2%)、「70～79歳」(15.1%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「20～29歳」の割合がやや高くなっている。

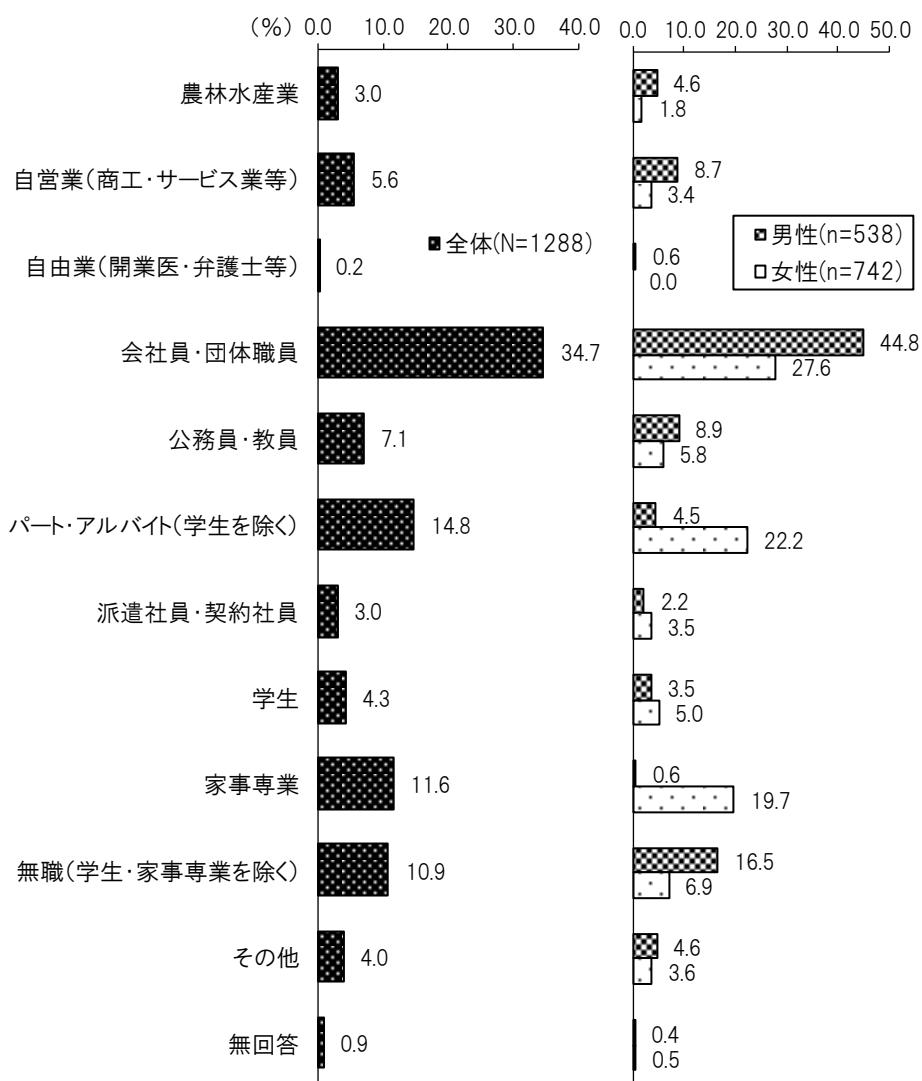


3 職業別構成

問4 あなたの職業をお答えください。 (○は1つ)

職業別構成については、「会社員・団体職員」の割合が34.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（学生を除く）」（14.8%）、「家事専業」（11.6%）、「無職（学生・家事専業を除く）」（10.9%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「会社員・団体職員」「無職（学生・家事専業を除く）」の割合が高く、女性は「パート・アルバイト（学生を除く）」「家事専業」の割合が男性を大きく上回っている。



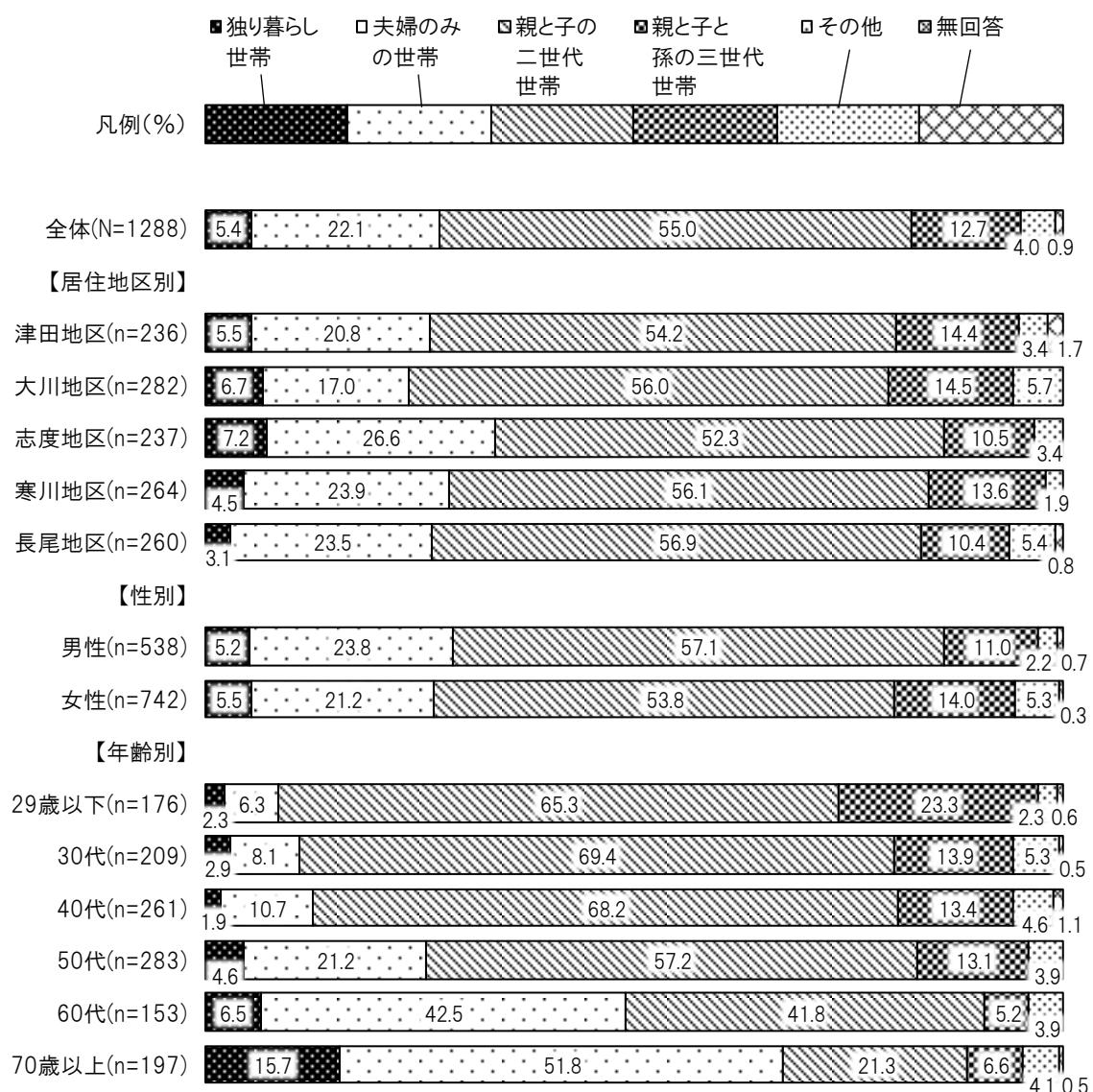
4 世帯構成

問5 あなたの世帯構成をお答えください。 (○は1つ)

世帯構成については、「親と子の二世代世帯」の割合が55.0%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」(22.1%)、「親と子と孫の三世代世帯」(12.7%)の順となっている。

居住地区別では、大川地区で「夫婦のみの世帯」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では29歳以下で「親と子と孫の三世代世帯」、60代以上で「夫婦のみの世帯」、70歳以上で「独り暮らし世帯」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

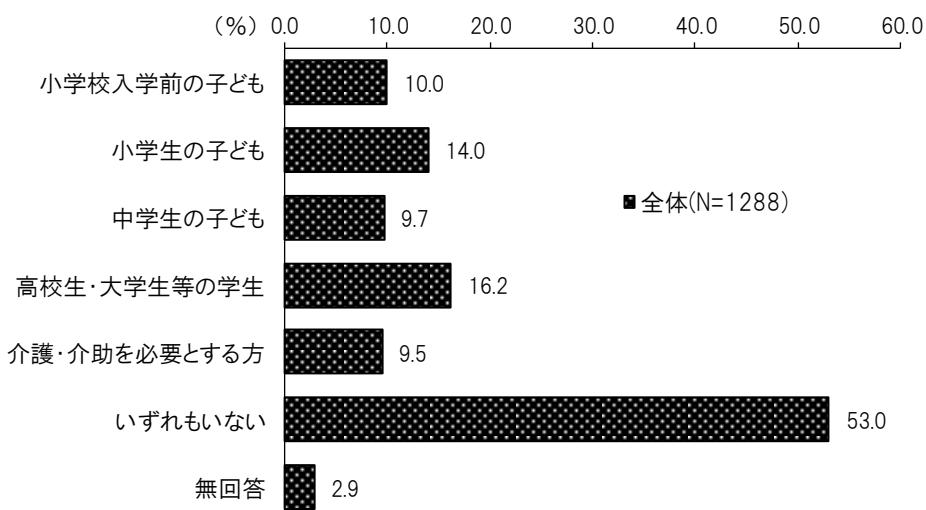


5 同居家族について

問6 あなたの同居家族の中に、次の方（あなた自身を含む）はいますか。
(○はいくつでも)

同居家族については、「いずれもいない」の割合が 53.0% と最も高く、次いで「高校生・大学生等の学生」(16.2%)、「小学生の子ども」(14.0%)、「小学校入学前の子ども」(10.0%)の順となっている。

年齢別では、30代で「小学校入学前の子ども」、30~40代で「小学生の子ども」、40代で「中学生の子ども」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。



単位 (%)	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生の子ども	高校生・大学生等の学生	介護・介助を必要とする方	いずれもいない
全体(N=1288)	10.0	14.0	9.7	16.2	9.5	53.0
【年齢別】						
29歳以下(n=176)	11.4	4.5	7.4	34.1	8.5	44.3
30代(n=209)	32.5	30.1	11.0	6.2	5.7	38.3
40代(n=261)	11.9	31.8	26.8	27.6	7.3	31.4
50代(n=283)	1.4	4.2	4.2	18.7	12.7	63.3
60代(n=153)	2.0	3.3	2.0	1.3	15.0	75.2
70歳以上(n=197)	1.0	4.1	1.5	3.6	9.1	74.6

注:表中の「網掛け」は、各クロス集計(年齢別など)において最も高い割合を示している。

(例／年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け)

但し、回答割合が 10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。

また「無回答」は表記から省略している。(本報告書においては、以下同様)

6 居住歴

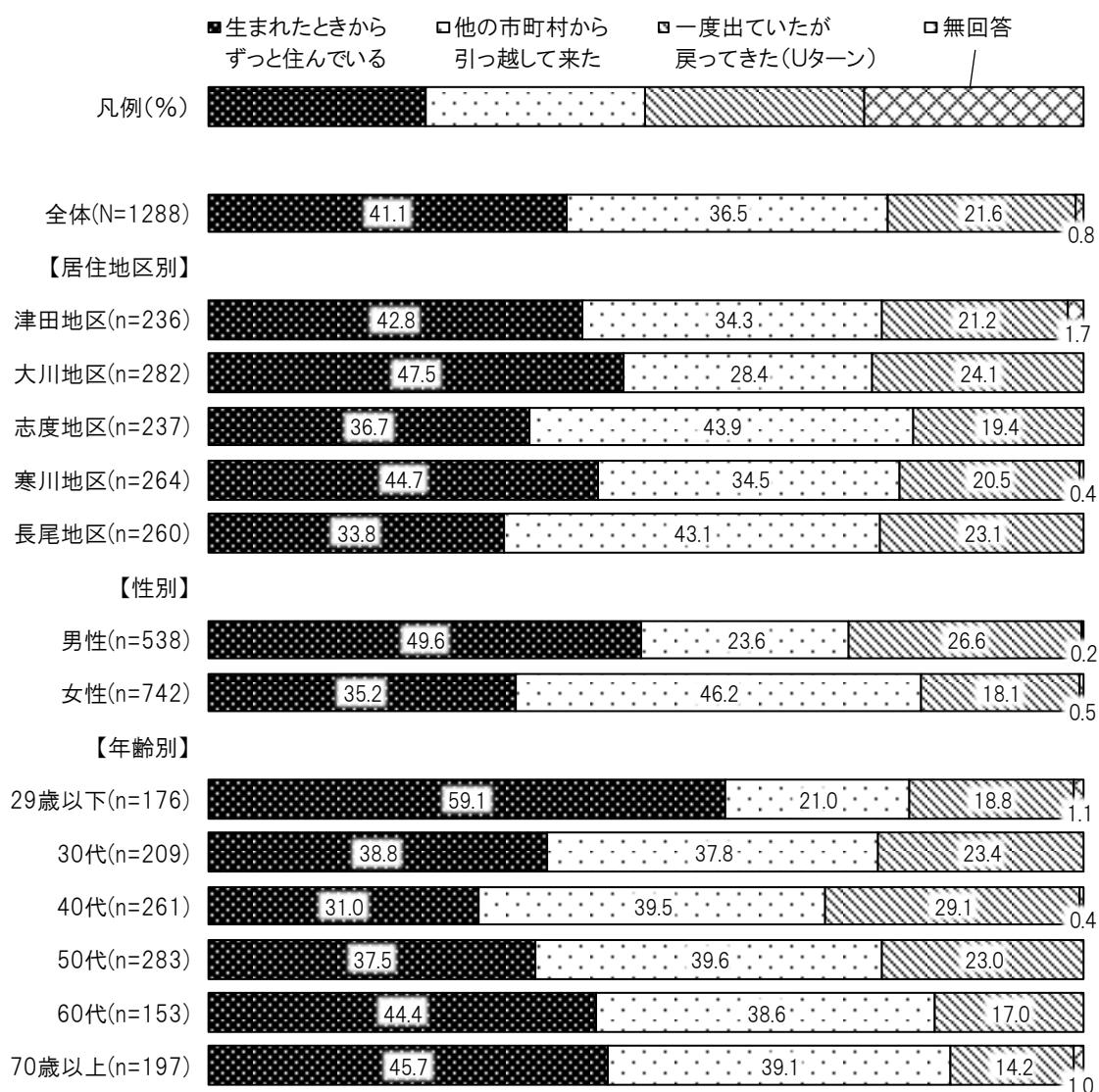
問7 あなたは、生まれたときからずっとさぬき市に住んでいますか。 (○は1つ)

居住歴については、「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が41.1%と最も高く、次いで「他の市町村から引っ越して来た」(36.5%)、「一度出ていたが戻ってきた(Uターン)」(21.6%)となっている。

居住地区別では、志度地区や長尾地区で「他の市町村から引っ越して来た」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「生まれたときからずっと住んでいる」の割合が高く、女性は「他の市町村から引っ越して来た」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「生まれたときからずっと住んでいる」、40代で「一度出ていたが戻ってきた(Uターン)」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。



III 調査結果

【1】さぬき市について

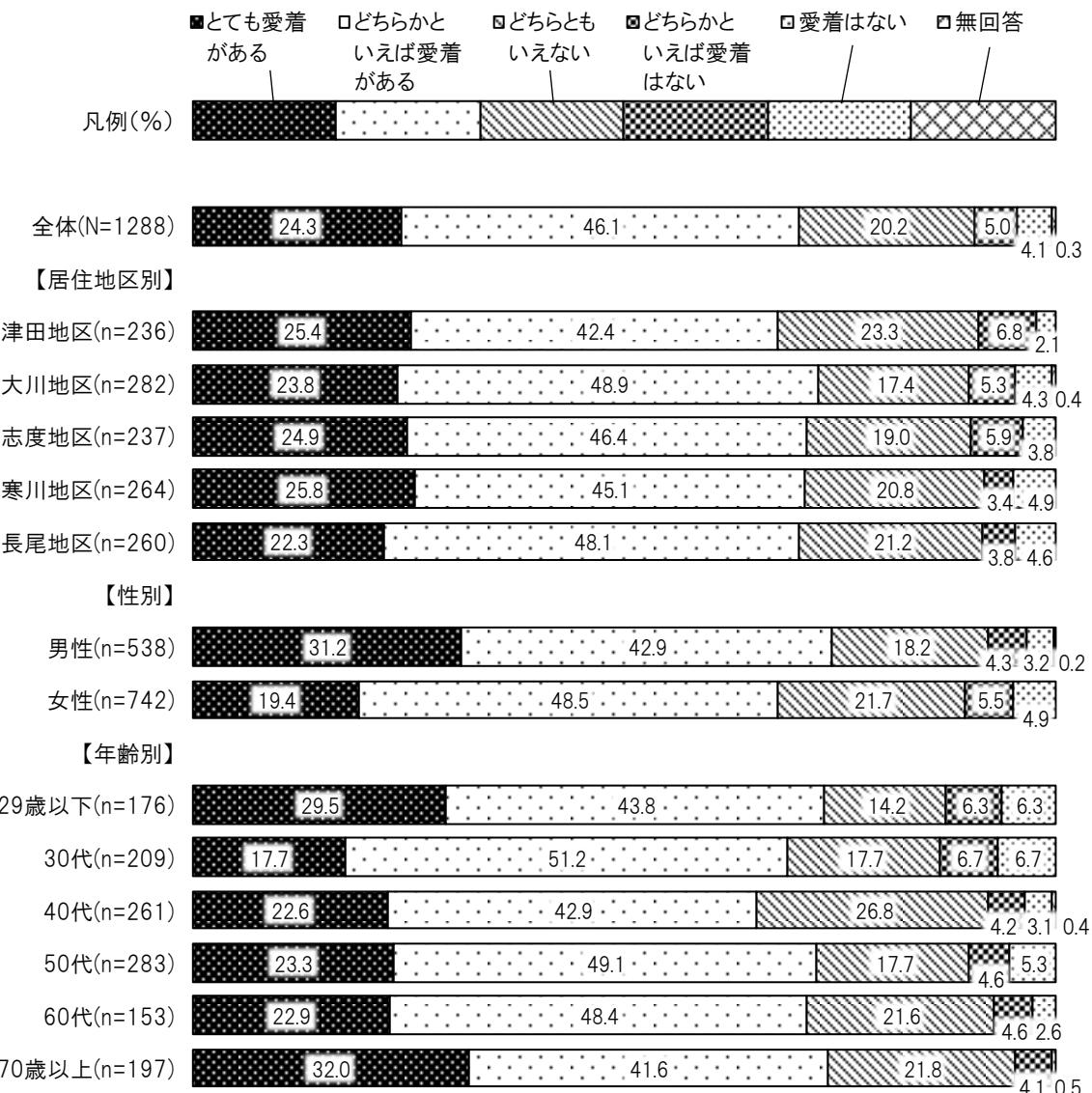
1 さぬき市への愛着度

問8 あなたは、さぬき市に愛着がありますか。 (○は1つ)

さぬき市への愛着度については、「とても愛着がある」が 24.3%、「どちらかといえば愛着がある」が 46.1%で、合計約7割 (70.4%) が『愛着がある』と回答している。一方、「どちらかといえば愛着はない」(5.0%)、「愛着はない」(4.1%) の合計は 9.1% であった。

居住地区別では大きな差はみられないが、性別では男性は「とても愛着がある」の割合が女性を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下や70歳以上で「とても愛着がある」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

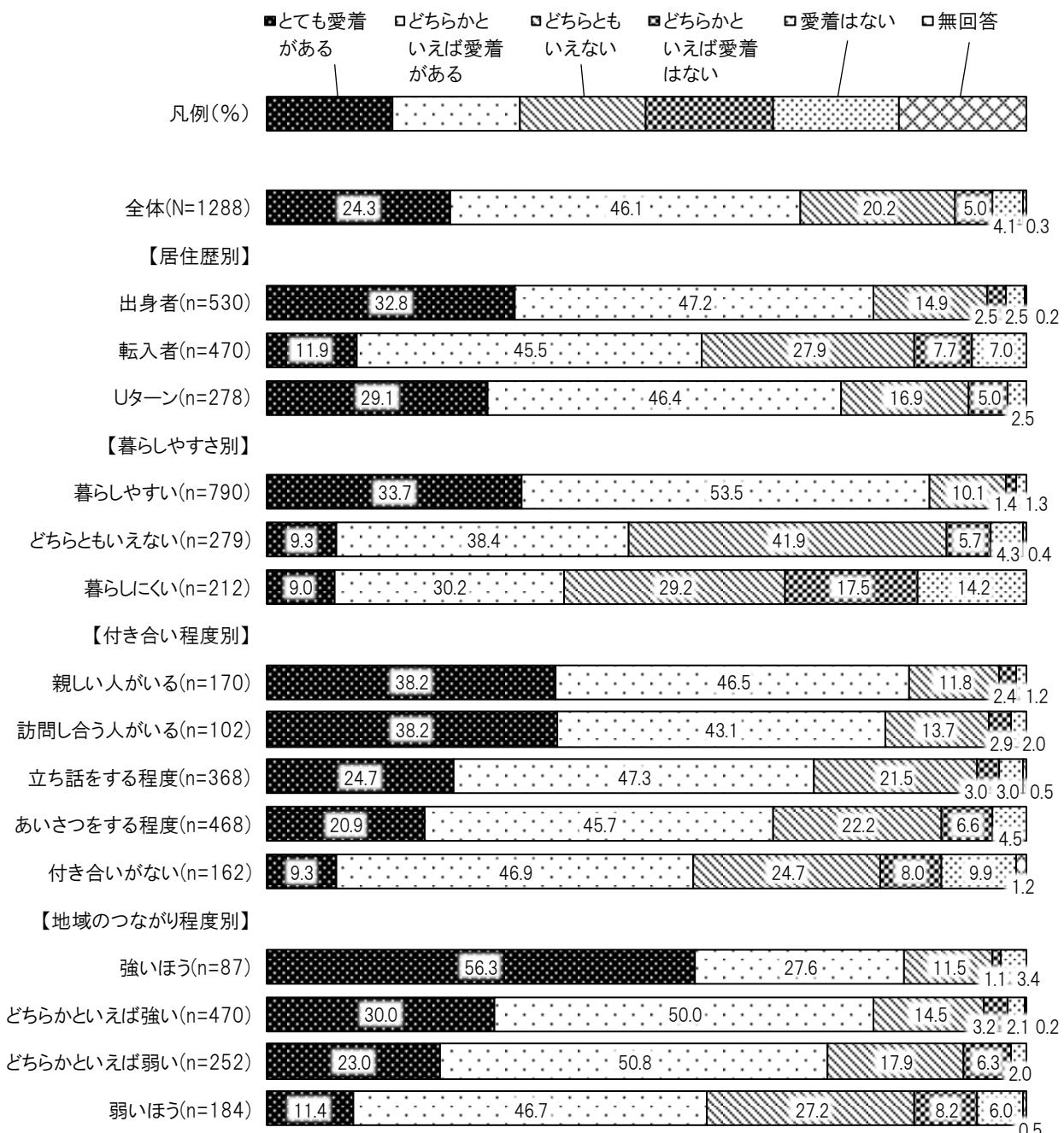


居住歴別※（問7）では、出身者やUターンで「とても愛着がある」、転入者で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ高くなっている。

暮らしやすさ別（問9）では、暮らしやすいと感じている層で『愛着がある（合計）』、暮らしにくいと感じている層で『愛着はない（合計）』の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

付き合い程度別（問13）では、付き合いが親しい層ほど「とても愛着がある」の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別（問14）では、強いと感じている層で「とても愛着がある」の割合が他の層を大きく上回っている。



※居住歴別（問7）

- ・出身者→生まれたときからずっと住んでいる
- ・転入者→他の市町村から引っ越して来た
- ・Uターン→一度出ていたが戻ってきた

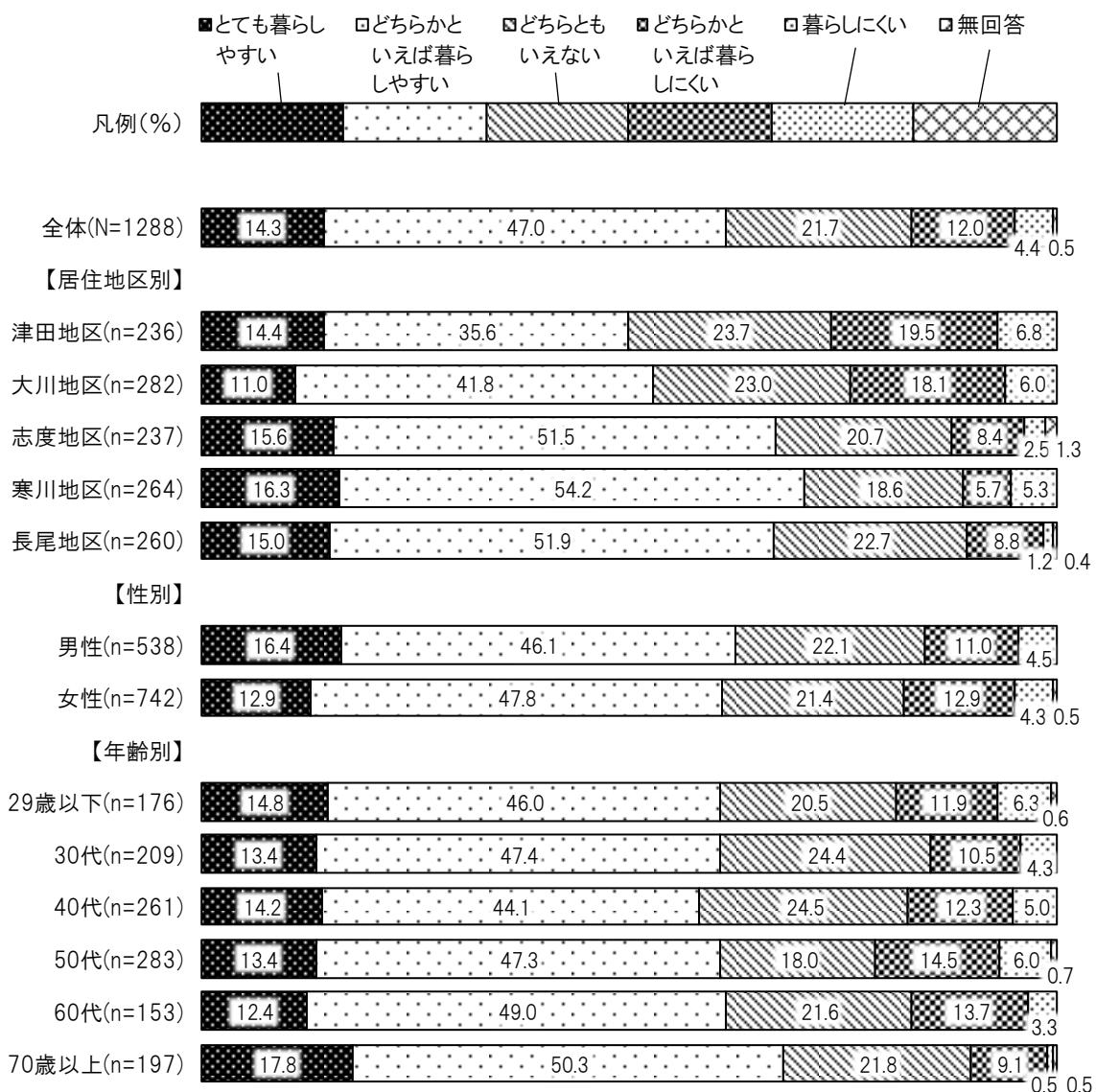
2 暮らしやすさ

問9 さぬき市は暮らしやすいまちだと思いますか。 (○は1つ)

暮らしやすさについては、「とても暮らしやすい」が 14.3%、「どちらかといえば暮らしやすい」が 47.0%で、合計約 6 割 (61.3%) が『暮らしやすい』と回答している。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」 (12.0%)、「暮らしにくい」 (4.4%) の合計は 16.4% であった。

居住地区別では、津田地区や大川地区で『暮らしにくい (合計)』の割合が他の地区を大きく上回っている。

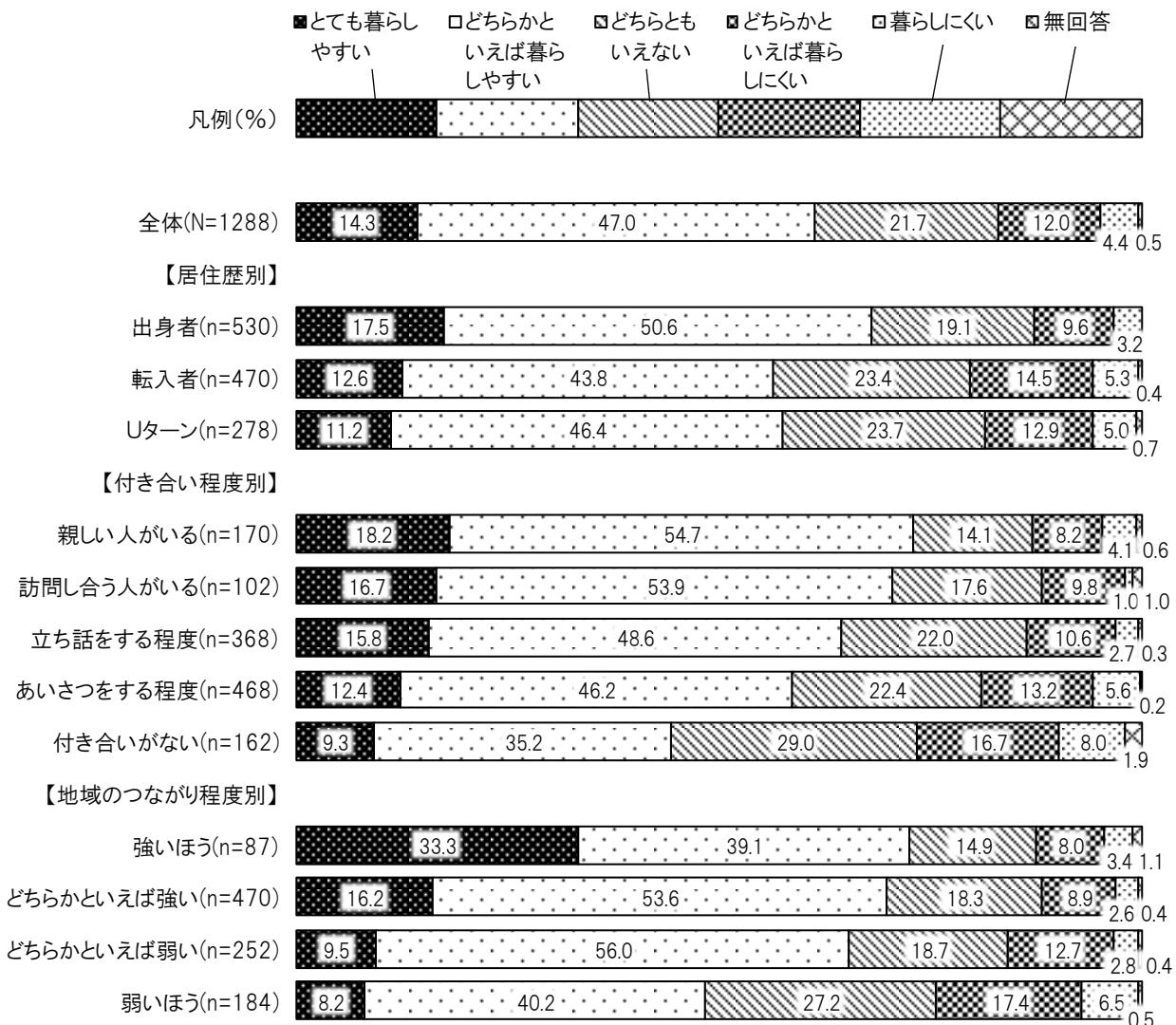
性別では大きな差はみられないが、年齢別では 70 歳以上で『暮らしやすい (合計)』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



居住歴別では、出身者で『暮らしやすい（合計）』の割合が他の層を大きく上回っている。

付き合い程度別では、付き合いが親しい層ほど『暮らしやすい（合計）』の割合が高く、付き合いがない層で『暮らしにくい（合計）』の割合が高くなっている。

地域のつながり程度別では、強いと感じている層で「とても暮らしやすい」、弱いと感じている層で「どちらともいえない」『暮らしにくい（合計）』の割合がそれぞれ高くなっている。



3 永住意向

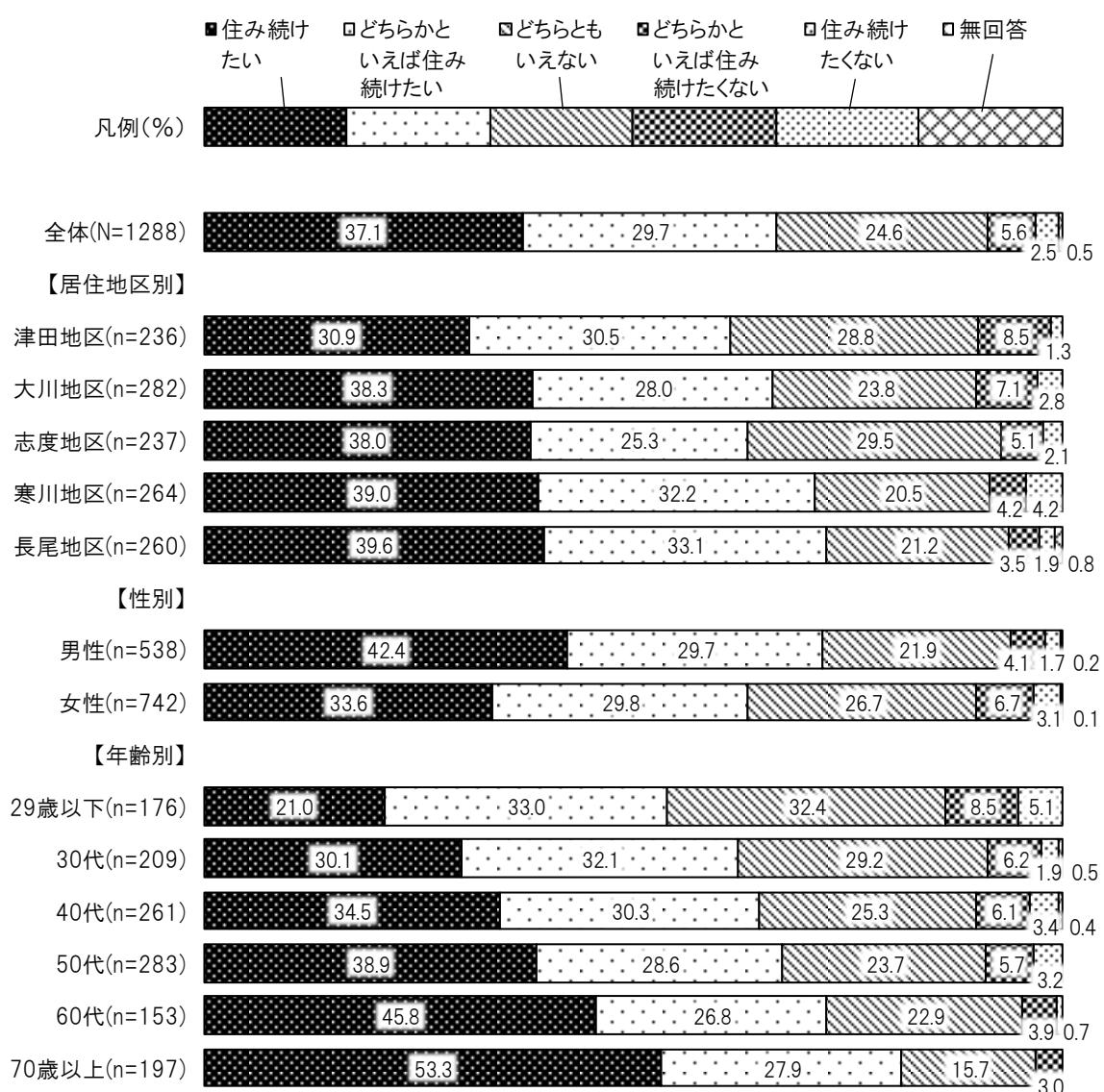
問10 あなたは、これからもさぬき市に住み続けたいと思いますか。 (○は1つ)

永住意向については、「住み続けたい」が37.1%、「どちらかといえば住み続けたい」が29.7%で、合計66.8%が『住み続けたい』と回答している。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」(5.6%)、「住み続けたくない」(2.5%)の合計は8.1%であった。

居住地区別では、津田地区で「住み続けたい」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「住み続けたい」の割合が高く、女性は「どちらともいえない」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど「どちらともいえない」、年齢が上がるほど「住み続けたい」の割合がそれぞれ高くなっている。

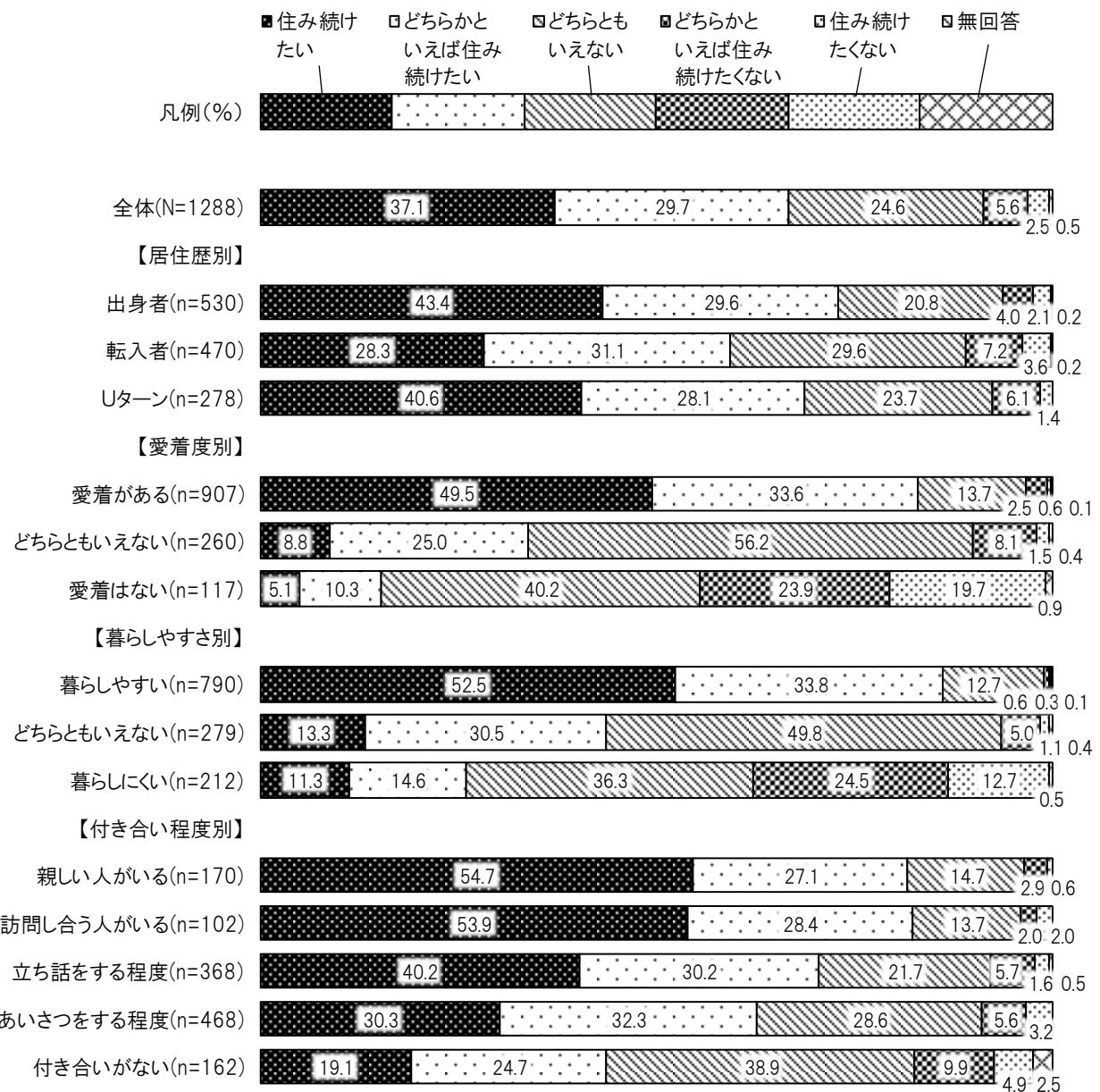


居住歴別では、出身者やUターンで「住み続けたい」、転入者で「どちらともいえない」の割合がそれぞれ高くなっている。

愛着度別（問8）では、愛着がある層で「住み続けたい」の割合が他の層を大きく上回っている。

暮らしやすさ別では、暮らしやすいと感じている層で「住み続けたい」の割合が他の層を大きく上回っている。

付き合い程度別では、付き合いが親しい層ほど「住み続けたい」の割合が高く、付き合いがない層で「どちらともいえない」の割合が高くなっている。



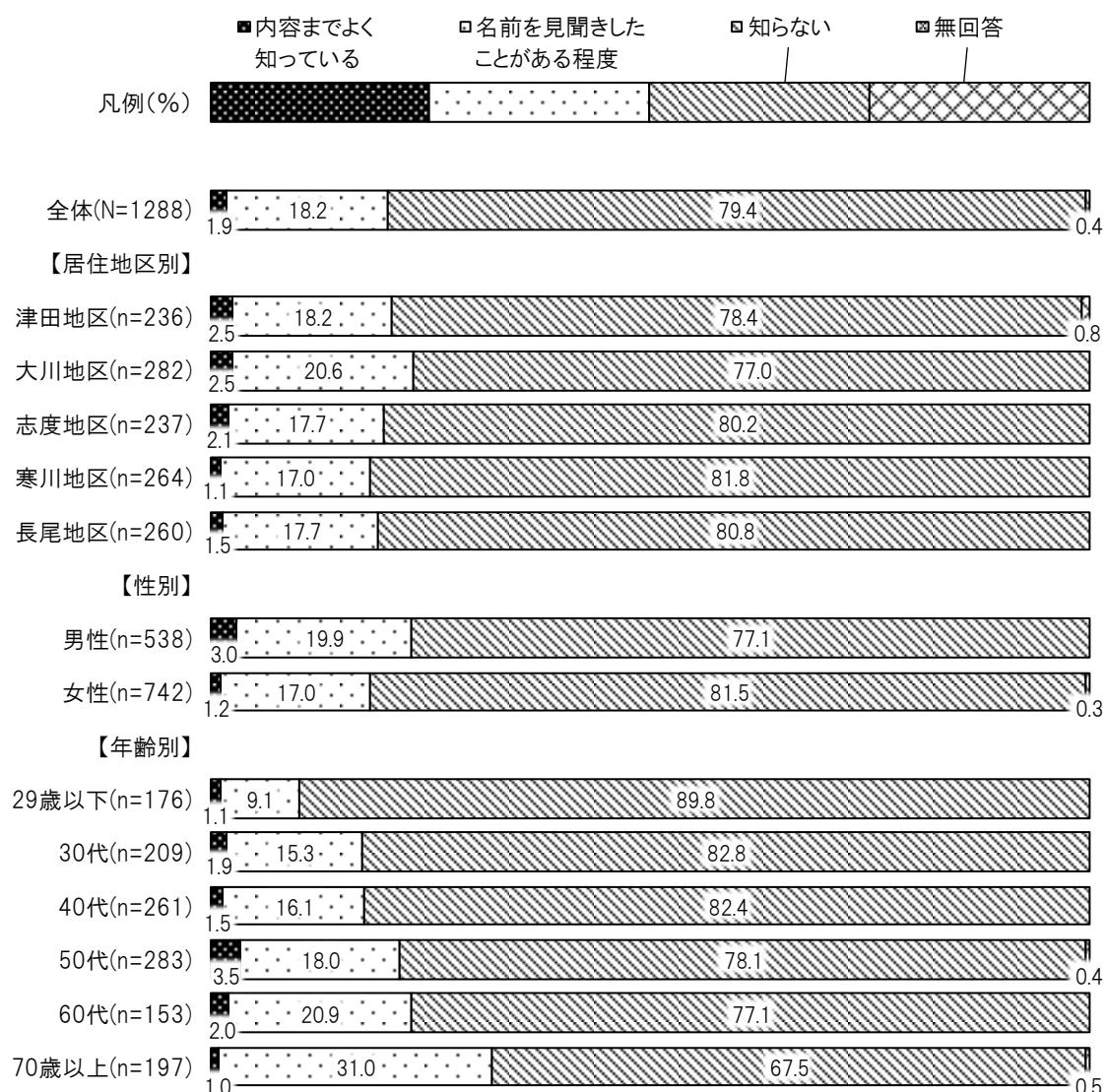
4 第2次さぬき市総合計画の認知状況

問11 あなたは、さぬき市が作成している「第2次さぬき市総合計画」をご存じですか。
(○は1つ)

第2次さぬき市総合計画の認知状況については、「内容までよく知っている」が1.9%、「名前を見聞きしたことがある程度」が18.2%、合計で約2割(20.1%)となっている。一方、約8割(79.4%)は「知らない」と回答している。

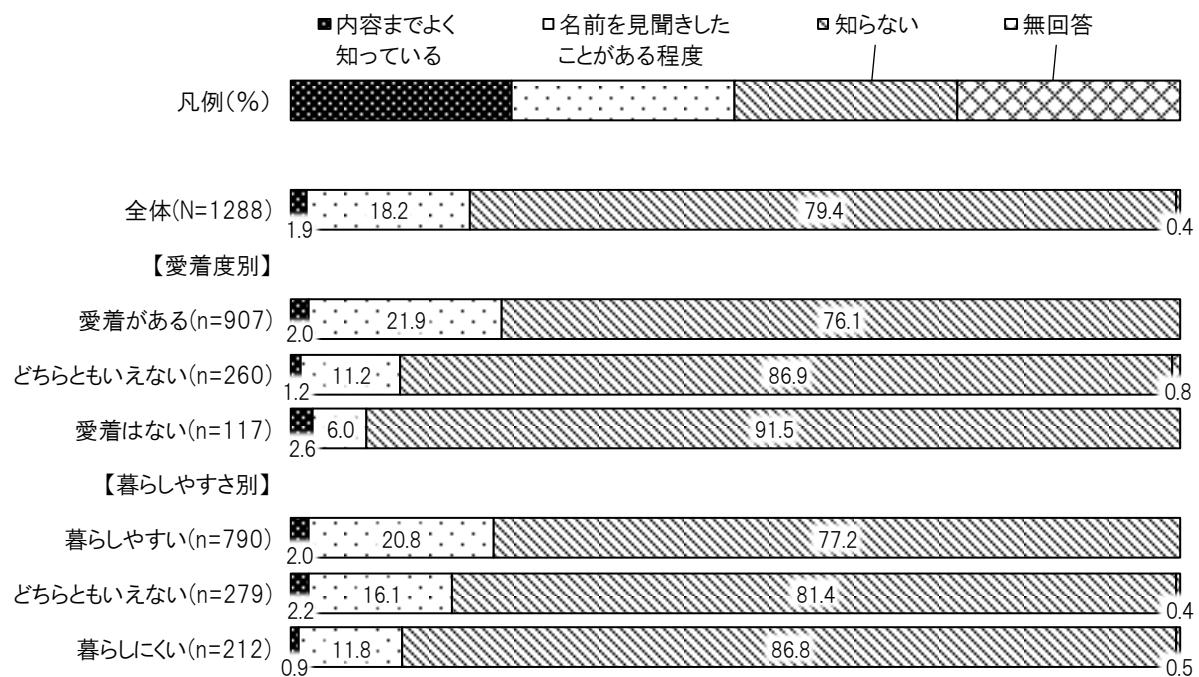
居住地区別では大きな差はみられないが、性別では女性は男性に比べ「知らない」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、70歳以上で「名前を見聞きしたことがある程度」の割合が他の年齢層を大きく上回っており、若い年齢層ほど「知らない」の割合が高くなっている。



愛着度別では、愛着がある層で「名前を見聞きしたことがある程度」の割合が他の層を大きく上回っている。

暮らしやすさ別では、暮らしやすいと感じている層で「名前を見聞きしたことがある程度」の割合が他の層に比べて高くなっている。

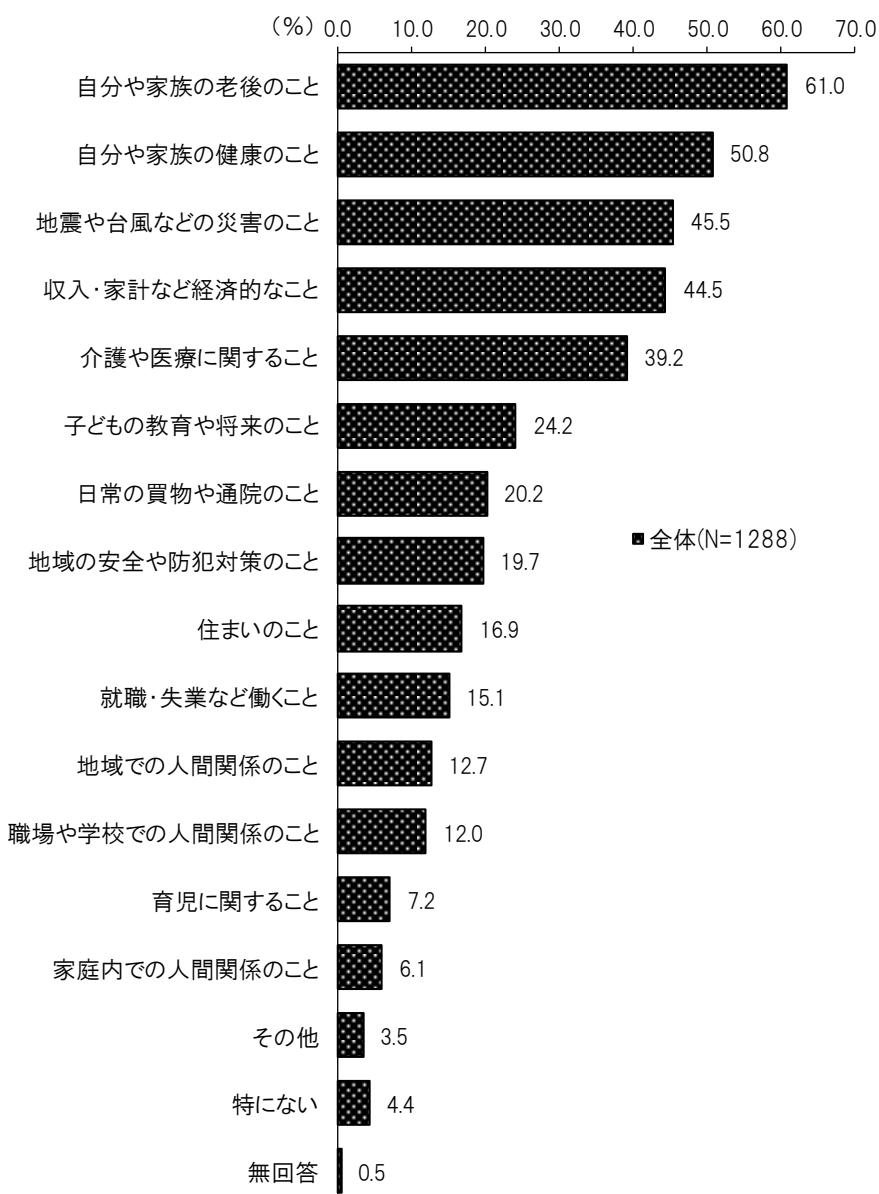


【2】地域での生活について

1 日頃の悩みや不安

問12 あなたは、日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(○はいくつでも)

日頃の悩みや不安については、「自分や家族の老後のこと」の割合が 61.0% と最も高く、次いで「自分や家族の健康のこと」(50.8%)、「地震や台風などの災害のこと」(45.5%)、「収入・家計など経済的なこと」(44.5%)、「介護や医療に関するここと」(39.2%) の順となっている。



居住地区別では、寒川地区で「自分や家族のこと」「地域での人間関係のこと」、大川地区や長尾地区で「子どもの教育や将来のこと」、津田地区や大川地区で「日常の買物や通院のこと」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「地震や台風などの災害のこと」「子どもの教育や将来のこと」「職場や学校での人間関係のこと」の割合が高くなっている。

単位 (%)	こ自分や家族の老後の	こ自分や家族の健康の	害地震や台風などの災	的収入・家計など経済	こ介護や医療に関する	の子どもの教育や将来	こと日常の買物や通院の	策地域このと安全や防犯対	住まいのこと	こ就職・失業など働く
全体(N=1288)	61.0	50.8	45.5	44.5	39.2	24.2	20.2	19.7	16.9	15.1
【居住地区別】										
津田地区(n=236)	58.5	43.2	44.5	35.6	39.0	14.8	24.6	16.1	11.9	12.3
大川地区(n=282)	61.7	52.5	44.7	46.5	41.5	29.8	25.9	19.5	20.2	14.2
志度地区(n=237)	63.3	47.7	46.8	47.7	44.3	22.4	17.3	23.6	19.0	16.5
寒川地区(n=264)	61.7	59.1	48.5	45.8	33.3	23.1	14.0	17.4	15.5	17.0
長尾地区(n=260)	61.2	50.4	43.1	46.2	38.5	30.0	18.5	21.2	16.9	15.0
【性別】										
男性(n=538)	62.8	50.4	40.3	42.6	37.5	20.3	18.6	17.1	16.0	14.7
女性(n=742)	60.0	51.3	49.3	46.0	40.6	27.4	21.2	21.4	17.7	15.2

単位 (%)	こ地域での人間関係の	関職場のやこ学校での人間	育児に関するここと	の家庭と内での人間関係	その他	特にない
全体(N=1288)	12.7	12.0	7.2	6.1	3.5	4.4
【居住地区別】						
津田地区(n=236)	13.1	12.3	5.1	4.2	1.7	8.5
大川地区(n=282)	11.7	14.2	8.5	8.2	3.2	2.1
志度地区(n=237)	10.1	13.9	8.4	7.2	3.4	4.2
寒川地区(n=264)	18.2	9.8	6.8	6.1	4.5	4.2
長尾地区(n=260)	10.0	9.6	7.3	3.8	4.2	3.5
【性別】						
男性(n=538)	13.0	8.7	5.6	4.8	2.8	5.0
女性(n=742)	12.4	14.3	8.5	6.9	3.8	3.9

年齢別では、29歳以下で「就職・失業など働くこと」「職場や学校での人間関係のこと」、30~40代で「子どもの教育や将来のこと」、50~60代で「自分や家族の老後のこと」、70歳以上で「自分や家族の健康のこと」「介護や医療に関するここと」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

単位 (%)	自分や家族の老後の	自分や家族の健康の	害地震のことや台風などの災	的収入など家計など経済	介護や医療に関する	の子どもの教育や将来	こと日常の買物や通院の	策地域のこと安全や防犯対	住まいのこと	就職・失業など働く
全体(N=1288)	61.0	50.8	45.5	44.5	39.2	24.2	20.2	19.7	16.9	15.1
【年齢別】										
29歳以下(n=176)	38.1	33.0	36.9	46.6	19.3	18.8	17.6	17.6	17.6	29.0
30代(n=209)	53.1	45.9	40.2	49.8	26.8	44.5	19.6	23.4	20.1	17.2
40代(n=261)	62.5	52.1	45.6	52.1	31.4	44.4	17.2	19.2	18.8	18.0
50代(n=283)	73.1	51.2	48.1	44.9	47.3	15.9	23.0	19.8	15.2	15.9
60代(n=153)	74.5	56.2	48.4	37.3	47.7	8.5	14.4	17.0	15.0	9.2
70歳以上(n=197)	61.4	65.5	53.3	32.5	62.9	5.1	27.9	20.3	14.7	0.5

単位 (%)	地域での人間関係の	関職場や学校での人間	育児に関するここと	の家庭こと内での人間関係	その他	特にない
全体(N=1288)	12.7	12.0	7.2	6.1	3.5	4.4
【年齢別】						
29歳以下(n=176)	10.8	26.1	14.8	10.2	1.7	13.1
30代(n=209)	14.8	16.7	22.5	6.7	5.3	2.4
40代(n=261)	14.9	13.0	4.6	8.0	2.7	3.1
50代(n=283)	14.5	11.3	1.8	5.3	4.2	3.9
60代(n=153)	12.4	3.3	2.0	3.9	2.0	3.3
70歳以上(n=197)	7.1	1.5	0.0	2.0	3.6	2.5

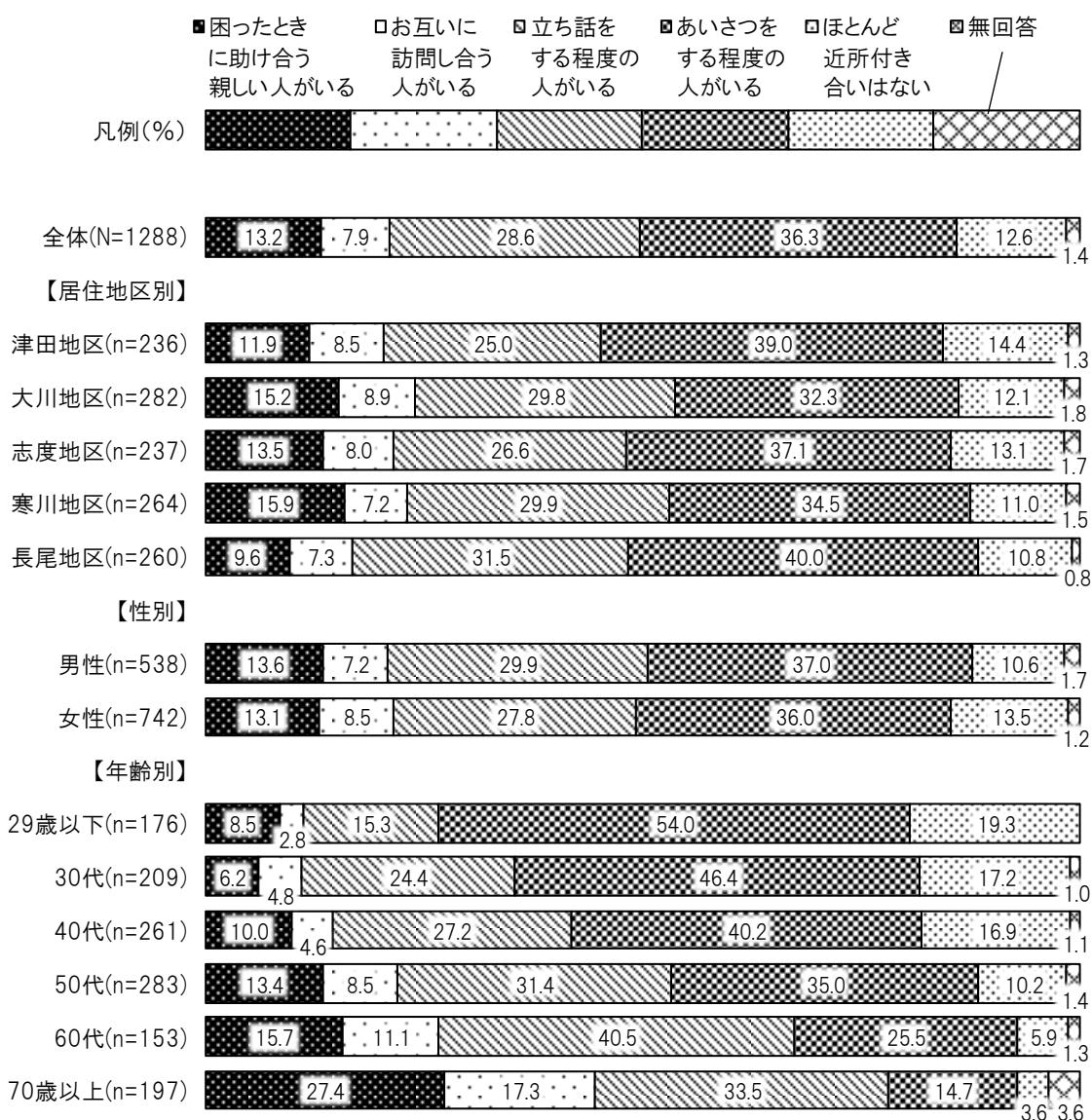
2 近所付き合いの程度

問13 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。 (○は1つ)

近所付き合いの程度については、「あいさつをする程度の人がいる」の割合が36.3%と最も高く、次いで「立ち話をする程度の人がいる」(28.6%)、「困ったときに助け合う親しい人がいる」(13.2%)、「ほとんど近所付き合いはない」(12.6%)の順となっている。

居住地区別、性別では大きな差はみられない。

年齢別では、若い年齢層ほど「あいさつをする程度の人がいる」の割合が高く、70歳以上で「困ったときに助け合う親しい人がいる」「お互いに訪問し合う人がいる」の割合が高くなっている。



3 住民同士のつながり意識

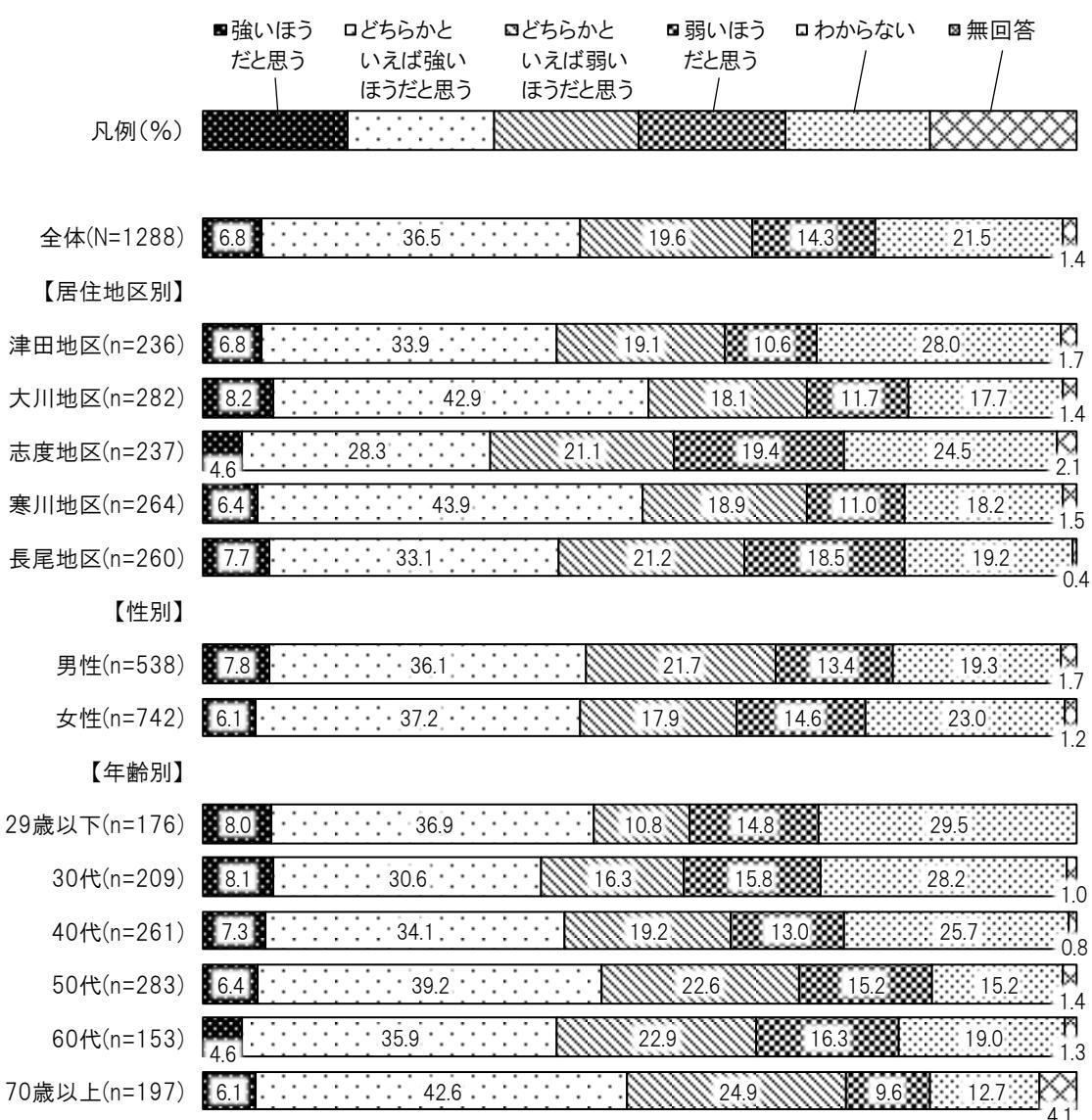
問14 あなたがお住まいの地域では、住民同士のつながりは、強いほうだと思いますか。
(○は1つ)

住民同士のつながり意識については、「強いほうだと思います」が 6.8%、「どちらかといえば強いほうだと思います」が 36.5%で、合計 43.3%が『強いほうだと思います』と回答している。一方、「どちらかといえば弱いほうだと思います」(19.6%)、「弱いほうだと思います」(14.3%)の合計は 33.9%であった。

居住地区別では、大川地区や寒川地区で「どちらかといえば強いほうだと思います」の割合が他の地区を大きく上回っている。

性別では、男性は女性に比べ「どちらかといえば弱いほうだと思います」の割合がやや高くなっている。

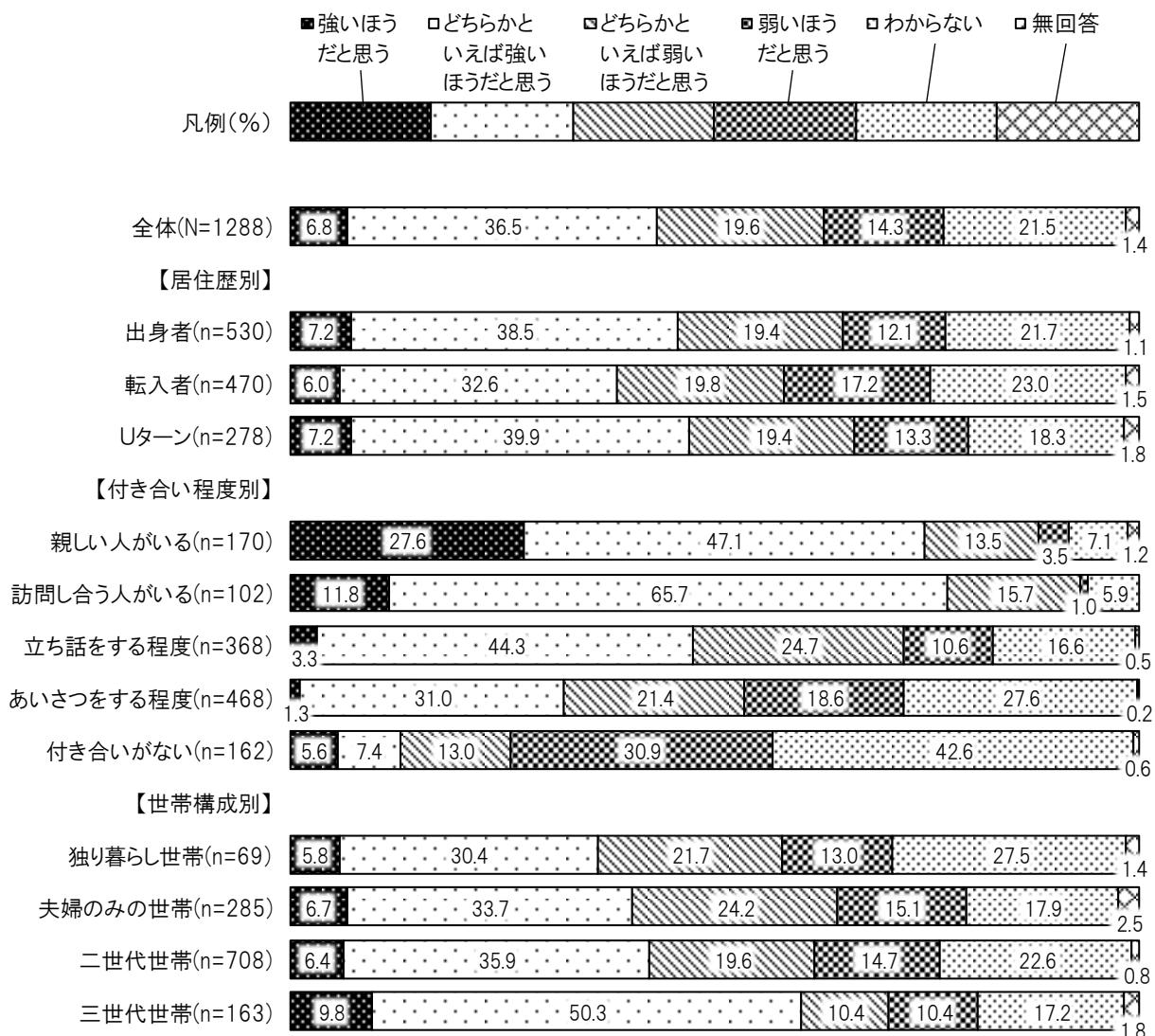
年齢別では、40代以下で「わからない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



居住歴別では、転入者で「弱いほうだと思う」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。

付き合い程度別では、付き合いが親しい層で『強いほうだと思う（合計）』の割合が高くなっている。

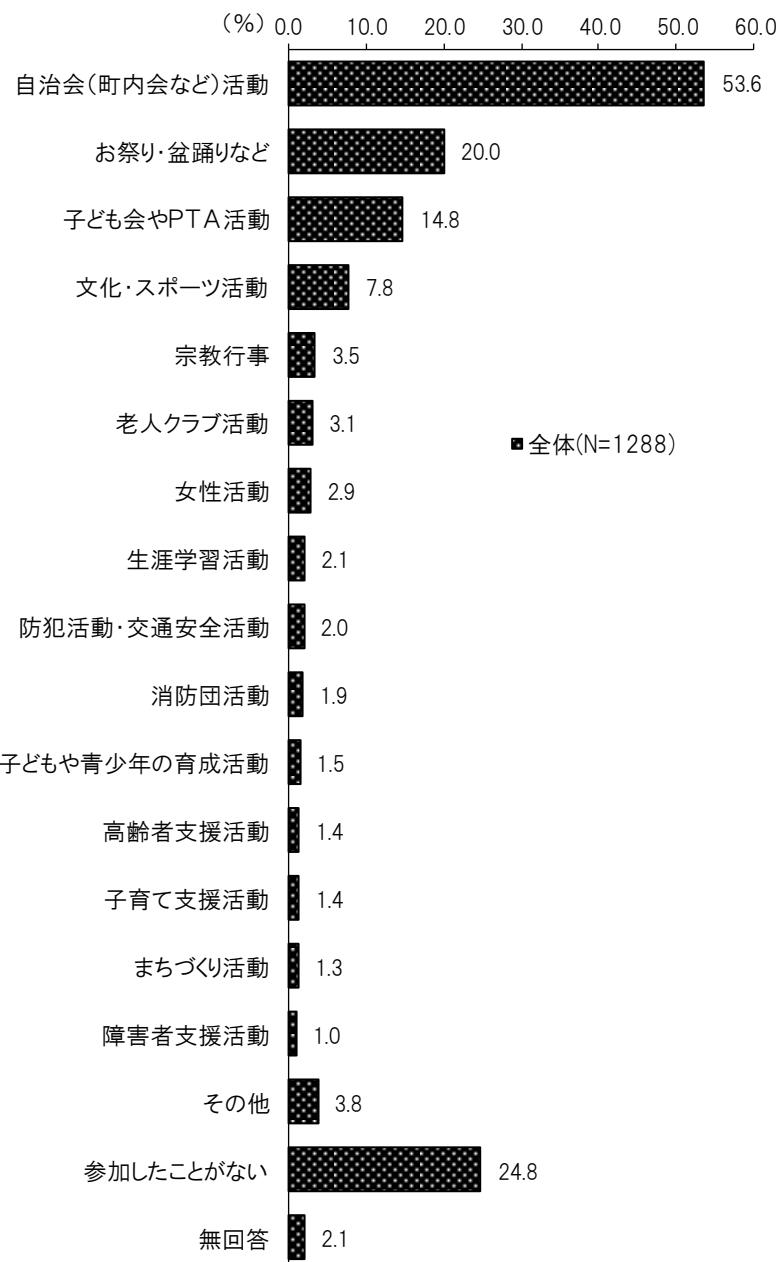
世帯構成別では、三世代世帯で『強いほうだと思う（合計）』の割合が他の層を大きく上回っている。



4 地域の行事や活動への参加状況

問15 あなたは、地域の行事や活動などに参加していますか。（○はいくつでも）

地域の行事や活動への参加状況については、「自治会(町内会など)活動」の割合が 53.6% と最も高く、次いで「お祭り・盆踊りなど」(20.0%)、「子ども会やPTA活動」(14.8%)、「文化・スポーツ活動」(7.8%) の順となっている。一方、「参加したことがない」は 24.8% となっている。



居住地区別では、津田地区や寒川地区で「自治会（町内会など）活動」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「自治会（町内会など）活動」「お祭り・盆踊りなど」「文化・スポーツ活動」の割合が高く、女性は「子ども会やPTA活動」の割合が男性を上回っている。

単位(%)	ど自治（町内会など）活動へ	お祭り・盆踊りなど	動子ども会やPTA活	文化・スポーツ活動	宗教行事	老人クラブ活動	女性活動	生涯学習活動	防犯活動・交通安全	消防団活動
全体(N=1288)	53.6	20.0	14.8	7.8	3.5	3.1	2.9	2.1	2.0	1.9
【居住地区別】										
津田地区(n=236)	56.4	20.8	13.6	9.7	3.8	3.4	4.2	2.1	1.7	1.7
大川地区(n=282)	51.4	20.2	17.7	7.4	2.5	3.2	1.8	0.7	1.8	2.1
志度地区(n=237)	50.6	20.7	9.7	3.0	3.0	2.5	1.7	1.7	1.7	0.8
寒川地区(n=264)	59.1	20.8	16.7	11.0	3.8	3.0	4.5	3.8	3.0	3.0
長尾地区(n=260)	51.5	17.7	16.2	7.7	4.6	3.1	1.9	1.9	1.9	1.5
【性別】										
男性(n=538)	59.3	22.9	9.3	10.6	4.6	3.0	0.4	2.0	3.3	3.7
女性(n=742)	49.7	17.8	19.0	5.8	2.7	3.1	4.6	2.0	1.1	0.5

単位(%)	成年活動もや青少年の育	高齢者支援活動	子育て支援活動	まちづくり活動	障害者支援活動	その他	参加したことがない
全体(N=1288)	1.5	1.4	1.4	1.3	1.0	3.8	24.8
【居住地区別】							
津田地区(n=236)	2.1	1.3	0.4	1.7	0.4	5.1	25.8
大川地区(n=282)	2.1	1.8	2.5	0.7	1.4	3.5	25.5
志度地区(n=237)	0.8	0.8	1.3	0.4	0.4	1.3	28.7
寒川地区(n=264)	0.8	2.7	1.1	3.4	1.5	3.8	21.2
長尾地区(n=260)	1.5	0.4	1.5	0.4	1.2	5.4	21.2
【性別】							
男性(n=538)	2.4	0.7	0.4	1.5	1.1	3.2	23.8
女性(n=742)	0.8	1.9	2.2	1.2	0.9	4.3	24.9

年齢別では、29歳以下で「お祭り・盆踊りなど」、30～40代で「子ども会やPTA活動」、60代で「自治会（町内会など）活動」、70歳以上で「老人クラブ活動」の割合がそれぞれ高く、30代以下で「参加したことがない」の割合が高くなっている。

単位(%)	ど自治会活動（町内会など）	お祭り・盆踊りなど	子ども会やPTA活動	文化・スポーツ活動	宗教行事	老人クラブ活動	女性活動	生涯学習活動	防犯活動・交通安全	消防団活動
全体(N=1288)	53.6	20.0	14.8	7.8	3.5	3.1	2.9	2.1	2.0	1.9
【年齢別】										
29歳以下(n=176)	22.7	32.4	12.5	7.4	0.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.6
30代(n=209)	30.1	18.7	26.8	4.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
40代(n=261)	47.5	21.5	32.6	6.1	1.5	0.8	0.8	0.8	1.5	1.9
50代(n=283)	66.4	17.7	9.2	8.8	6.7	0.0	1.1	2.5	1.8	2.8
60代(n=153)	82.4	13.1	0.7	6.5	7.2	3.3	4.6	2.6	3.9	2.0
70歳以上(n=197)	73.6	16.8	0.0	13.2	4.6	16.2	11.2	6.6	5.6	1.5

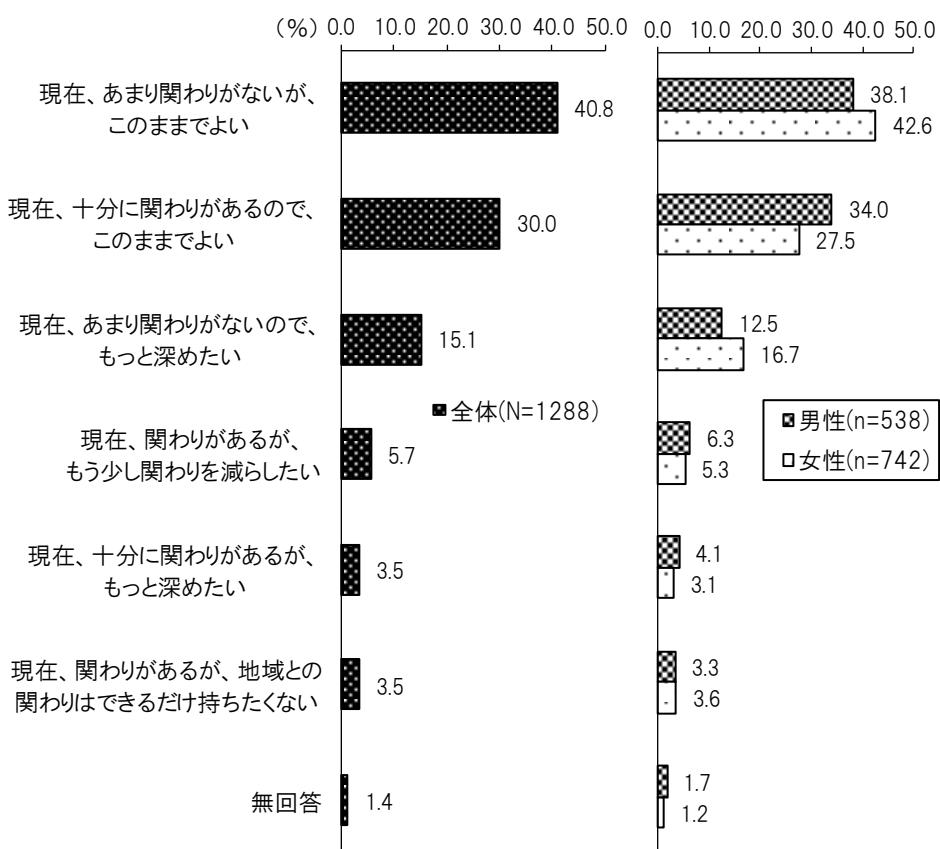
単位(%)	成年子どもや青少年の育成活動	高齢者支援活動	子育て支援活動	まちづくり活動	障害者支援活動	その他	参加したことがない
全体(N=1288)	1.5	1.4	1.4	1.3	1.0	3.8	24.8
【年齢別】							
29歳以下(n=176)	0.6	0.0	1.1	1.7	1.7	1.7	40.9
30代(n=209)	1.0	0.0	3.3	0.0	0.5	2.9	40.2
40代(n=261)	2.3	0.0	1.5	0.4	1.9	5.0	23.4
50代(n=283)	2.1	1.1	0.7	0.4	0.7	4.2	21.6
60代(n=153)	1.3	2.6	0.0	1.3	1.3	4.6	11.1
70歳以上(n=197)	1.0	5.6	1.0	5.1	0.0	4.1	9.6

5 希望する地域の人との関わり方

問 16 あなたは、今後、地域の活動に参加するなど、地域の人ともっと親しくしたり、地域との関わりをより深めたいと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。 (○は1つ)

希望する地域の人との関わり方については、「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」の割合が40.8%と最も高く、次いで「現在、十分に関わりがあるので、このままでよい」(30.0%)、「現在、あまり関わりがないので、もっと深めたい」(15.1%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「現在、十分に関わりがあるので、このままでよい」の割合が高くなっている。



年齢別では、若い年齢層ほど「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」の割合が高く、70歳以上で「現在、十分に関わりがあるので、このままでよい」の割合が高くなっている。

付き合い程度別では、付き合いがない層で「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」の割合が他の層を大きく上回っている。

地域のつながり程度別では、弱いと感じている層で「現在、あまり関わりがないが、このままでよい」「現在、あまり関わりがないので、もっと深めたい」の割合が他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	い 現 が 在、 こ あ の ま まり ま 関 で わ よ り い が な	現 の 在、 で、 十 こ 分 の に ま 関 ま わ り よ が い あ	現 の 在、 で、 あ も ま つ り と 関 ま わ り よ が い あ	現 の 在、 で、 あ も ま つ り と 関 ま わ り よ が い あ	も 現 う 在、 少 し 関 わ り が を あ 減 る ら が し	現 が 在、 も 十 分 と に 深 め わ た り い が あ	だ 地 現 け 域 在、 持 と ち の 関 た く わ り な り い は あ で る き が る
全体(N=1288)	40.8	30.0	15.1	5.7	3.5	3.5	
【年齢別】							
29歳以下(n=176)	54.5	23.3	15.9	0.6	4.0	1.7	
30代(n=209)	48.8	21.1	17.7	3.8	3.3	3.8	
40代(n=261)	43.3	26.8	18.0	6.1	2.3	2.3	
50代(n=283)	35.3	34.3	14.8	6.7	3.9	3.9	
60代(n=153)	33.3	32.7	14.4	7.8	3.3	7.8	
70歳以上(n=197)	31.0	42.6	7.1	8.6	4.6	2.0	
【付き合い程度別】							
親しい人がいる(n=170)	14.7	65.3	4.1	3.5	10.0	1.2	
訪問し合う人がいる(n=102)	16.7	53.9	12.7	8.8	6.9	1.0	
立ち話をする程度(n=368)	27.4	38.0	16.3	7.3	4.1	5.2	
あいさつをする程度(n=468)	53.8	16.0	19.0	6.4	1.3	3.4	
付き合いがない(n=162)	80.2	1.2	13.6	0.6	0.0	4.3	
【地域のつながり程度別】							
強いほう(n=87)	17.2	54.0	4.6	4.6	17.2	2.3	
どちらかといえば強い(n=470)	20.4	49.6	13.4	7.9	4.7	3.8	
どちらかといえば弱い(n=252)	44.0	23.4	17.1	7.1	2.0	5.2	
弱いほう(n=184)	65.8	6.0	22.3	2.2	1.1	1.6	

【3】まちづくりの満足度と重要度について

1 各施策の満足度と重要度

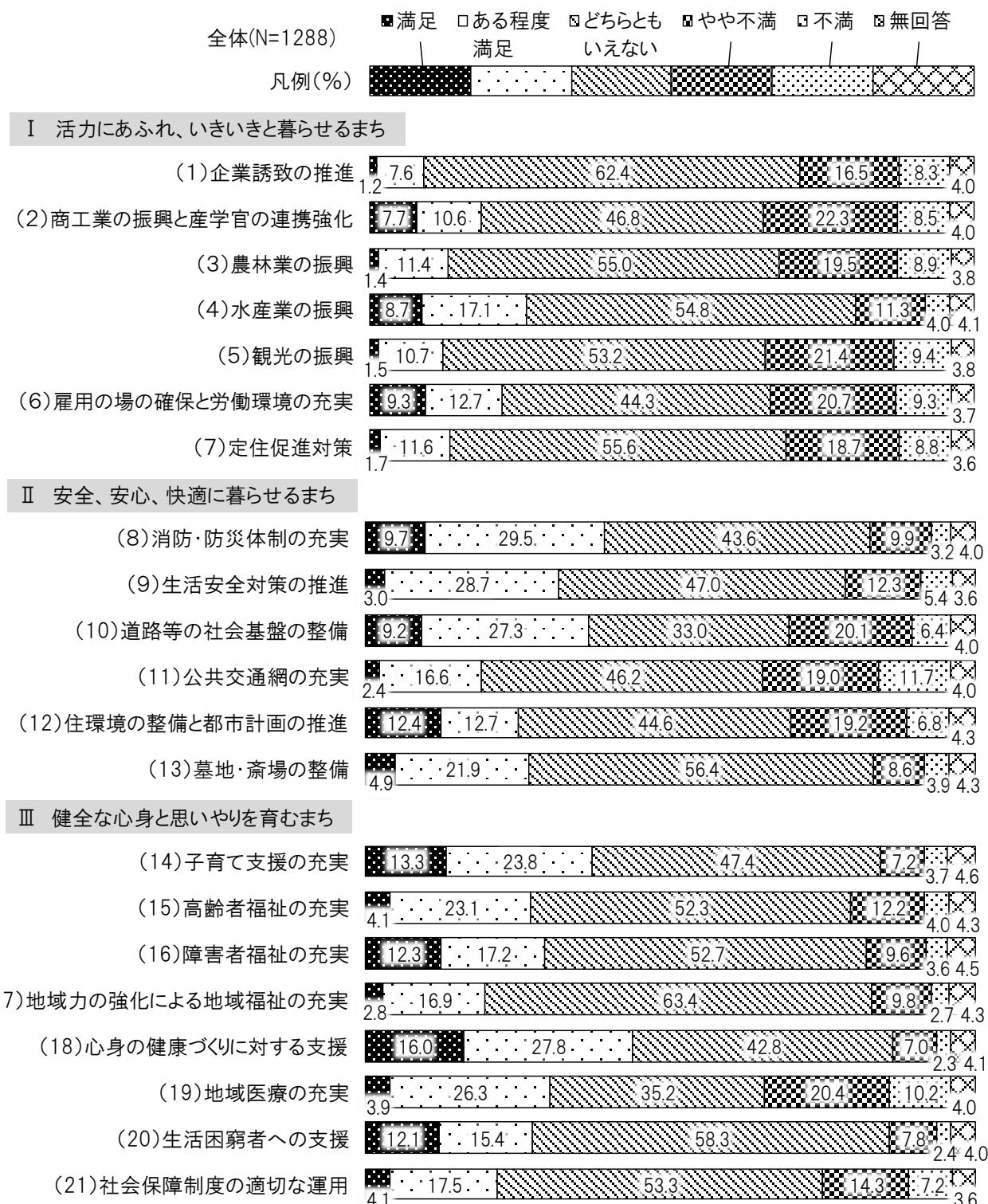
問 17 次にあげるさぬき市の各施策についておたずねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どの程度満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。（○はそれぞれ 1 つずつ）

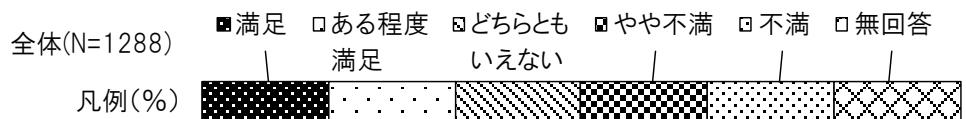
（1）満足度

各施策 39 項目について、現在の満足度を 5 段階評価で質問したところ、「満足」「ある程度満足」の合計割合が最も高かったのは「(32) 上下水道の維持・整備」(45.1%) で、以下「(18) 心身の健康づくりに対する支援」(43.8%)、「(8) 消防・防災体制の充実」(39.2%)、「(14) 子育て支援の充実」(37.1%)、「(10) 道路等の社会基盤の整備」(36.5%)、「(30) 自然環境との共生」(35.8%)、「(24) 生涯学習・スポーツの推進」(35.2%)、「(22) 学校教育の充実」(33.2%) の順となっている。

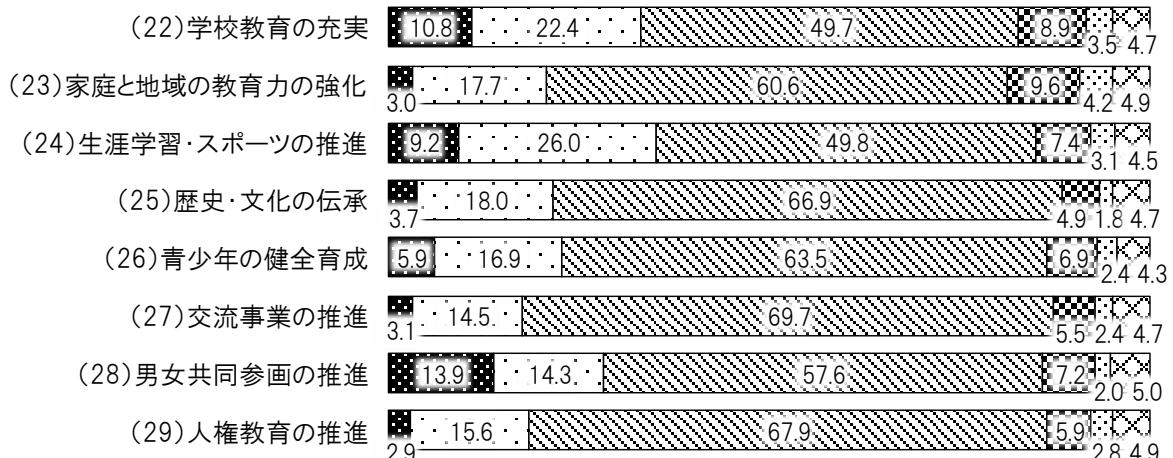
一方、「不満」「やや不満」の合計割合が最も高かったのは、「(2) 商工業の振興と産学官の連携強化」「(5) 観光の振興」(各 30.8%) であり、次いで「(11) 公共交通網の充実」(30.7%)、「(19) 地域医療の充実」(30.6%)、「(6) 雇用の場の確保と労働環境の充実」(30.0%)、「(3) 農林業の振興」(28.4%)、「(7) 定住促進対策」(27.5%)、「(10) 道路等の社会基盤の整備」(26.5%) の順となっている。

「(10) 道路等の社会基盤の整備」は、満足度が高い一方で、不満も比較的高くなっている。

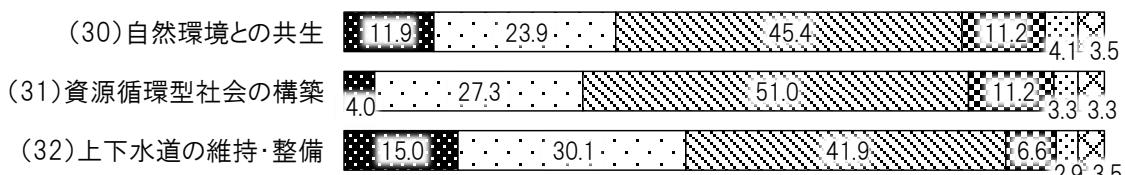




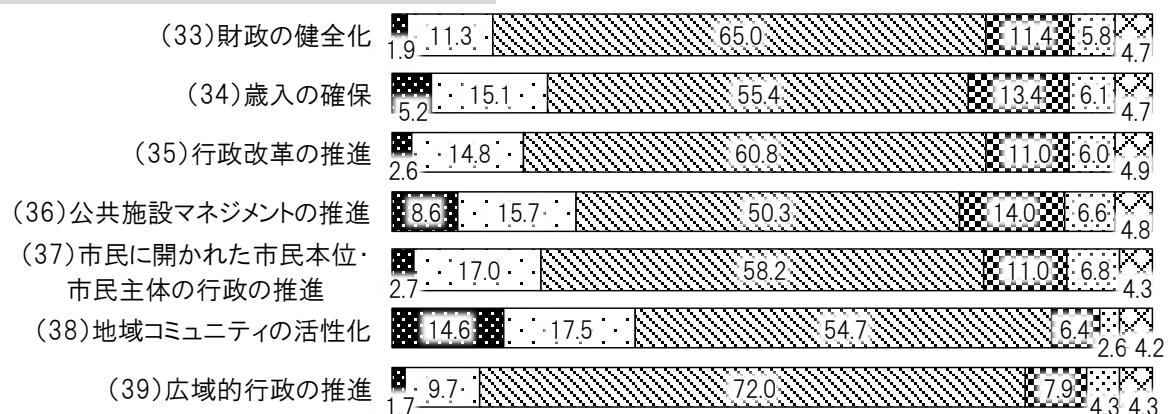
IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち



V 人と地球にやさしいまち



VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち



【満足度／平均評定値による集計】

満足度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「満足度」については「満足」「ある程度満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「どちらともいえない」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をより的確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「満足」に+10点、「ある程度満足」に+5点、「やや不満」に-5点、「不満」に-10点、「どちらともいえない」に0点の係数（ウエイト）を設定し、

【（「満足」の回答件数）×10（点）+（「ある程度満足」の回答件数）×5（点）+（「やや不満」の回答件数）×-5（点）+（「不満」の回答件数）×-10（点）+（「どちらともいえない」の回答件数）×0（点）】÷【回答者件数-無回答件数】

の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

この指標による分析結果をみると、満足度評価が最も高い施策は「(18) 心身の健康づくりに対する支援」(2.51) で、以下「(32) 上下水道の維持・整備」(2.47)、「(14) 子育て支援の充実」(1.87)、「(38) 地域コミュニティの活性化」(1.83)、「(8) 消防・防災体制の充実」(1.70) の順となっている。

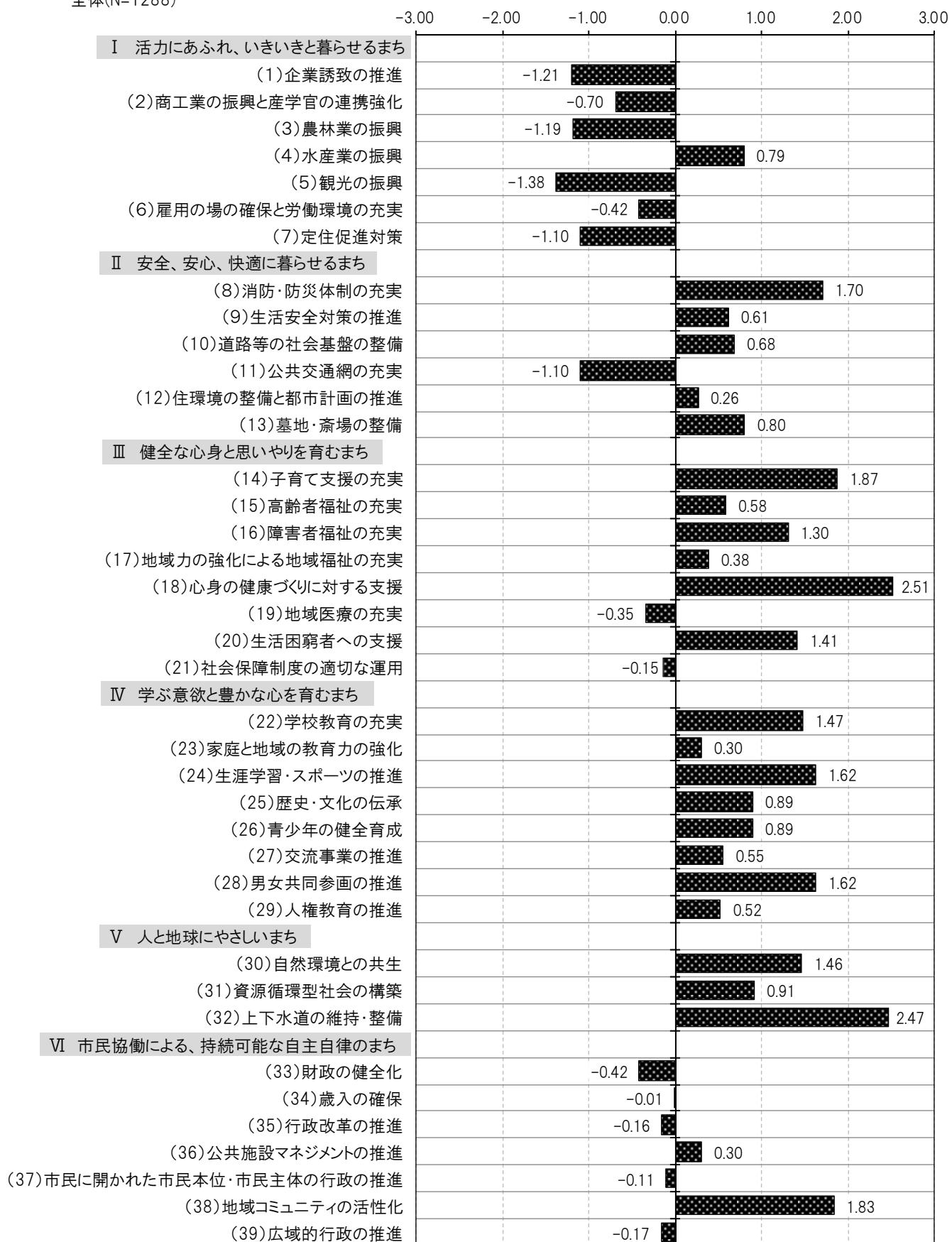
一方、相対的に満足度評価が低い施策としては、「(5) 観光の振興」(-1.38)、「(1) 企業誘致の推進」(-1.21)、「(3) 農林業の振興」(-1.19)、「(7) 定住促進対策」「(11) 公共交通網の充実」(各-1.10) などがあげられる。

39項目中で平均評定値がプラス評価だったのは25項目、マイナス評価だったのは14項目となっている。

問17 満足度

全体(N=1288)

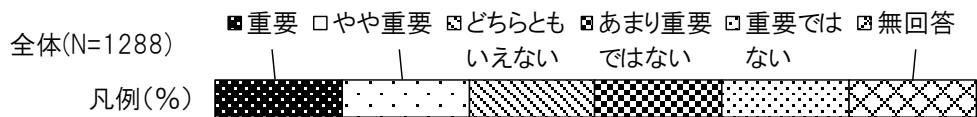
低い ← → 高い



（2）重要度

各施策 39 項目について、現在の重要度を 5 段階評価で質問したところ、「重要」「やや重要」の合計割合が最も高かったのは「(19) 地域医療の充実」(73.9%) で、以下「(9) 生活安全対策の推進」(71.6%)、「(31) 資源循環型社会の構築」(68.6%)、「(8) 消防・防災体制の充実」(67.7%)、「(7) 定住促進対策」(66.3%)、「(21) 社会保障制度の適切な運用」(65.3%)、「(3) 農林業の振興」(63.6%)、「(5) 観光の振興」(62.9%)、「(10) 道路等の社会基盤の整備」(62.5%)、「(15) 高齢者福祉の充実」(62.3%) の順となっている。

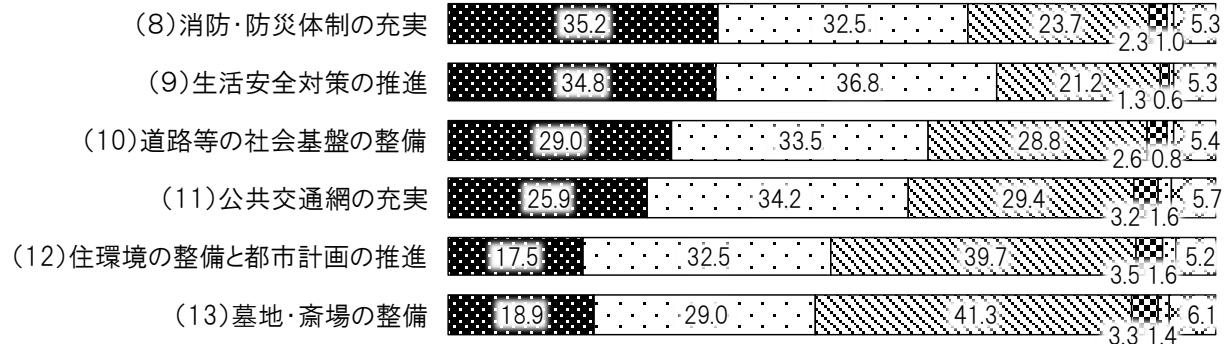
一方、「重要ではない」「あまり重要ではない」の合計割合が最も高かったのは、「(28) 男女共同参画の推進」(7.7%) であり、次いで「(20) 生活困窮者への支援」(7.2%)、「(32) 上下水道の維持・整備」「(38) 地域コミュニティの活性化」(各 6.8%)、「(27) 交流事業の推進」(6.5%) の順となっている。



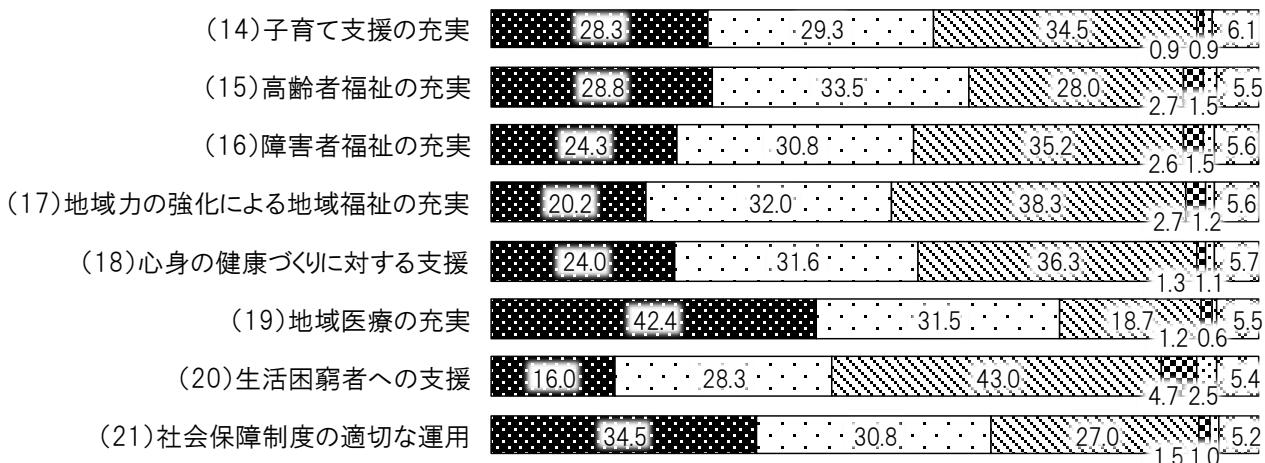
I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち

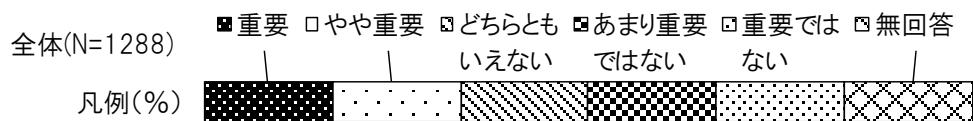


II 安全、安心、快適に暮らせるまち

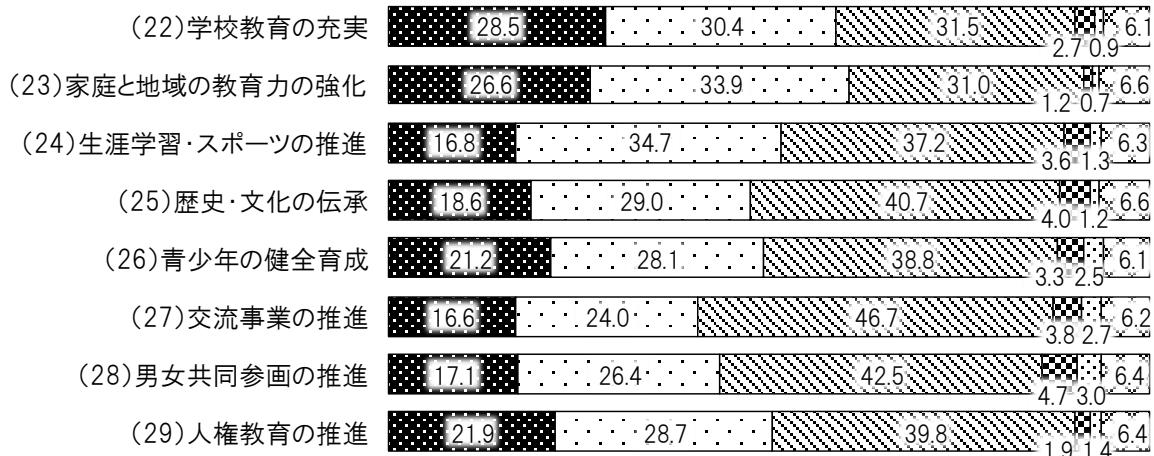


III 健全な心身と思いやりを育むまち

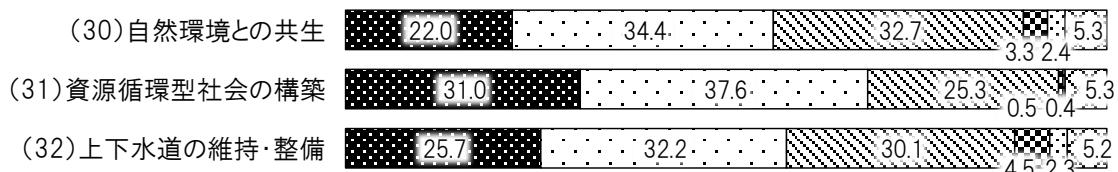




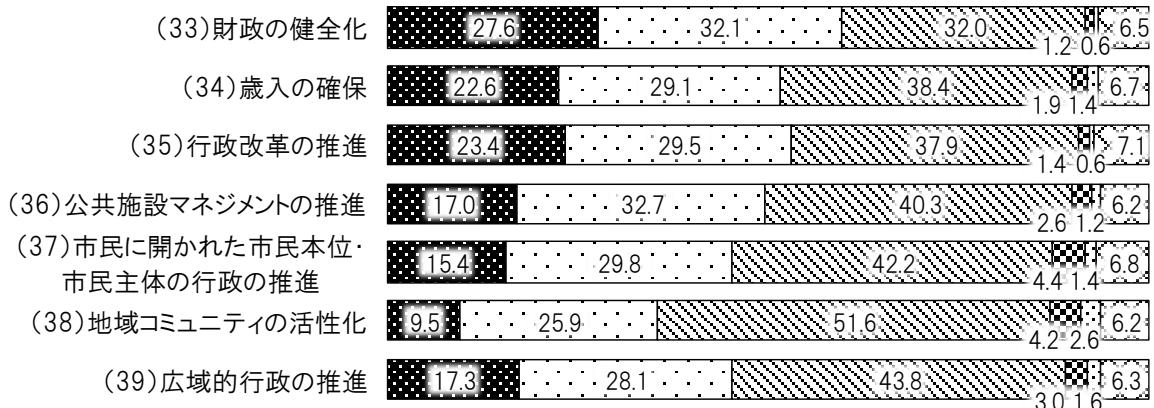
IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち



V 人と地球にやさしいまち



VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち



【重要度／平均評定値による集計】

重要度は以下に示す平均評定値を算出する方法で点数化している。

- 「重要度」については「重要」「やや重要」への回答とともに、「あまり重要ではない」「重要ではない」「どちらともいえない」という選択肢もある。そのため、この「重要度」をより的確に分析するために、平均評定値による指標化を行った。
- 平均評定値は、「重要」に+10点、「やや重要」に+5点、「あまり重要ではない」に-5点、「重要ではない」に-10点、「どちらともいえない」に0点の係数（ウエイト）を設定し、

$$[(\text{「重要」の回答件数}) \times 10(\text{点}) + (\text{「やや重要」の回答件数}) \times 5(\text{点}) + (\text{「あまり重要ではない」の回答件数}) \times -5(\text{点}) + (\text{「重要ではない」の回答件数}) \times -10(\text{点}) + (\text{「どちらともいえない」の回答件数}) \times 0(\text{点})] \div [\text{回答者件数} - \text{無回答件数}]$$

の計算によって算出し、指標としている。

- この指標によって、「重要度」の強弱を、より明確に分析することができる。

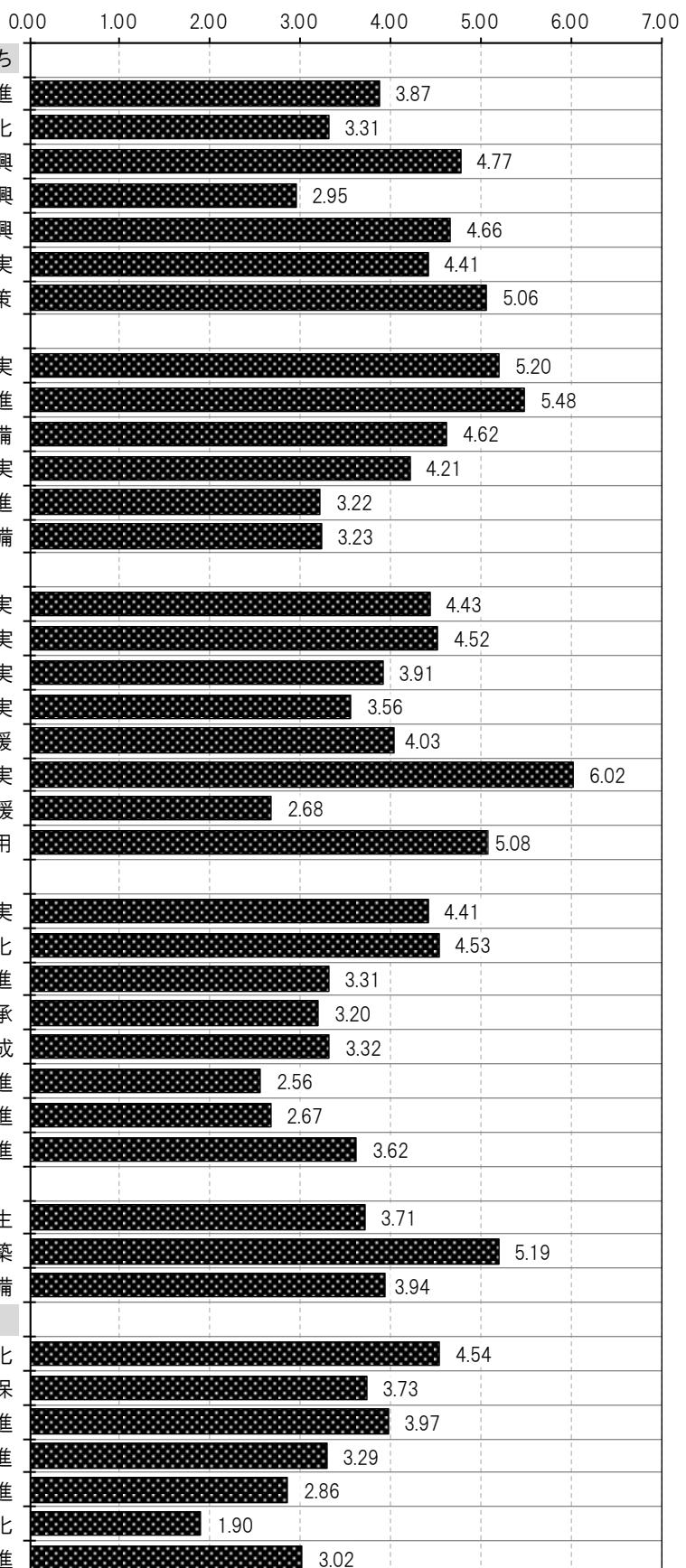
この指標による分析結果をみると、重要度評価が最も高い施策は「(19) 地域医療の充実」(6.02) で、以下「(9) 生活安全対策の推進」(5.48)、「(8) 消防・防災体制の充実」(5.20)、「(31) 資源循環型社会の構築」(5.19)、「(21) 社会保障制度の適切な運用」(5.08) の順となっている。

一方、相対的に重要度評価が低い施策としては、「(38) 地域コミュニティの活性化」(1.90)、「(27) 交流事業の推進」(2.56)、「(28) 男女共同参画の推進」(2.67)、「(20) 生活困窮者への支援」(2.68)、「(37) 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進」(2.86) などがあげられる。

問17 重要度

全体(N=1288)

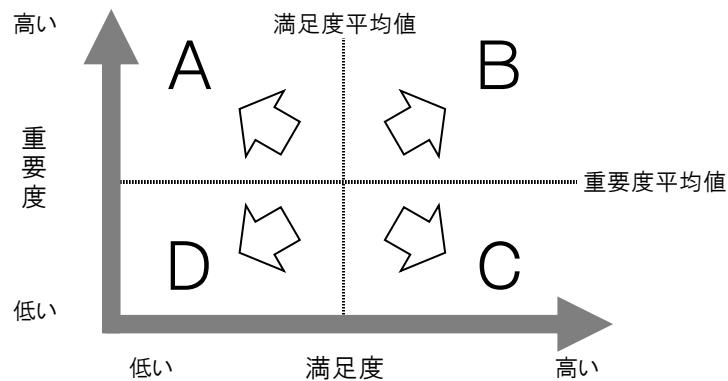
低い ← → 高い



(3) 各施策の満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度の平均評定値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、39の施策を散布図上に示したものが相関図である。

満足度と重要度の各平均値を基準としてA～Dの4つの領域に区分し、各施策がどの領域に配置されるのかを整理する。



4つの領域については、左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4方向に進むにしたがい、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて、見直すべき必要のある領域

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものを、改めて見直す必要のある領域

【A 重点化・見直し領域】

A重点化・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【I】(3)農林業の振興	-1.19	4.77
【I】(5)観光の振興	-1.38	4.66
【I】(6)雇用の場の確保と労働環境の充実	-0.42	4.41
【I】(7)定住促進対策	-1.10	5.06
【II】(11)公共交通網の充実	-1.10	4.21
【III】(19)地域医療の充実	-0.35	6.02
【III】(21)社会保障制度の適切な運用	-0.15	5.08
【IV】(23)家庭と地域の教育力の強化	0.30	4.53
【VI】(33)財政の健全化	-0.42	4.54
【VI】(35)行政改革の推進	-0.16	3.97

【B 現状維持領域】

B現状維持領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【II】(8)消防・防災体制の充実	1.70	5.20
【II】(9)生活安全対策の推進	0.61	5.48
【II】(10)道路等の社会基盤の整備	0.68	4.62
【III】(14)子育て支援の充実	1.87	4.43
【III】(15)高齢者福祉の充実	0.58	4.52
【III】(18)心身の健康づくりに対する支援	2.51	4.03
【IV】(22)学校教育の充実	1.47	4.41
【V】(31)資源循環型社会の構築	0.91	5.19
【V】(32)上下水道の維持・整備	2.47	3.94

【C 現状維持・見直し領域】

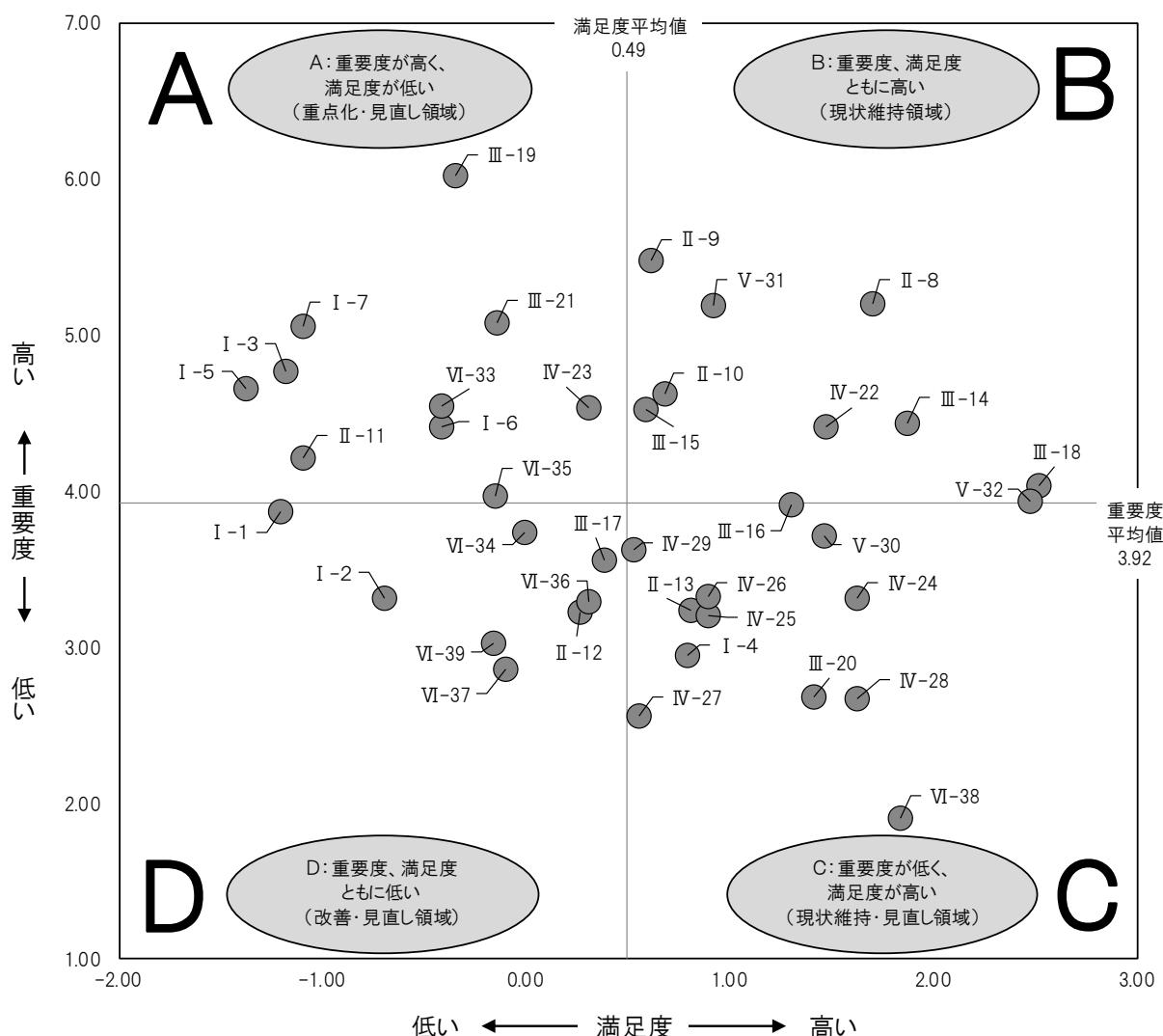
C現状維持・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【I】(4)水産業の振興	0.79	2.95
【II】(13)墓地・斎場の整備	0.80	3.23
【III】(16)障害者福祉の充実	1.30	3.91
【III】(20)生活困窮者への支援	1.41	2.68
【IV】(24)生涯学習・スポーツの推進	1.62	3.31
【IV】(25)歴史・文化の伝承	0.89	3.20
【IV】(26)青少年の健全育成	0.89	3.32
【IV】(27)交流事業の推進	0.55	2.56
【IV】(28)男女共同参画の推進	1.62	2.67
【IV】(29)人権教育の推進	0.52	3.62
【V】(30)自然環境との共生	1.46	3.71
【VI】(38)地域コミュニティの活性化	1.83	1.90

【D 改善・見直し領域】

D改善・見直し領域に含まれる施策は次のとおりである。

	満足度	重要度
【I】(1)企業誘致の推進	-1.21	3.87
【I】(2)商工業の振興と産学官の連携強化	-0.70	3.31
【II】(12)住環境の整備と都市計画の推進	0.26	3.22
【III】(17)地域力の強化による地域福祉の充実	0.38	3.56
【VI】(34)歳入の確保	-0.01	3.73
【VI】(36)公共施設マネジメントの推進	0.30	3.29
【VI】(37)市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	-0.11	2.86
【VI】(39)広域的行政の推進	-0.17	3.02



I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち		領域
(1)企業誘致の推進		D
(2)商工業の振興と産学官の連携強化		D
(3)農林業の振興		A
(4)水産業の振興		C
(5)観光の振興		A
(6)雇用の場の確保と労働環境の充実		A
(7)定住促進対策		A
II 安全、安心、快適に暮らせるまち		領域
(8)消防・防災体制の充実		B
(9)生活安全対策の推進		B
(10)道路等の社会基盤の整備		B
(11)公共交通網の充実		A
(12)住環境の整備と都市計画の推進		D
(13)墓地・斎場の整備		C
III 健全な心身と思いやりを育むまち		領域
(14)子育て支援の充実		B
(15)高齢者福祉の充実		B
(16)障害者福祉の充実		C
(17)地域力の強化による地域福祉の充実		D
(18)心身の健康づくりに対する支援		B
(19)地域医療の充実		A
(20)生活困窮者への支援		C
(21)社会保障制度の適切な運用		A

IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち		領域
(22)学校教育の充実		B
(23)家庭と地域の教育力の強化		A
(24)生涯学習・スポーツの推進		C
(25)歴史・文化の伝承		C
(26)青少年の健全育成		C
(27)交流事業の推進		C
(28)男女共同参画の推進		C
(29)人権教育の推進		C
V 人と地球にやさしいまち		領域
(30)自然環境との共生		C
(31)資源循環型社会の構築		B
(32)上下水道の維持・整備		B
VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち		領域
(33)財政の健全化		A
(34)歳入の確保		D
(35)行政改革の推進		A
(36)公共施設マネジメントの推進		D
(37)市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進		D
(38)地域コミュニティの活性化		C
(39)広域的行政の推進		D

【4】これからのまちづくりについて

基本目標Ⅰ 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち

産業振興や観光の活性化などに関する内容です。

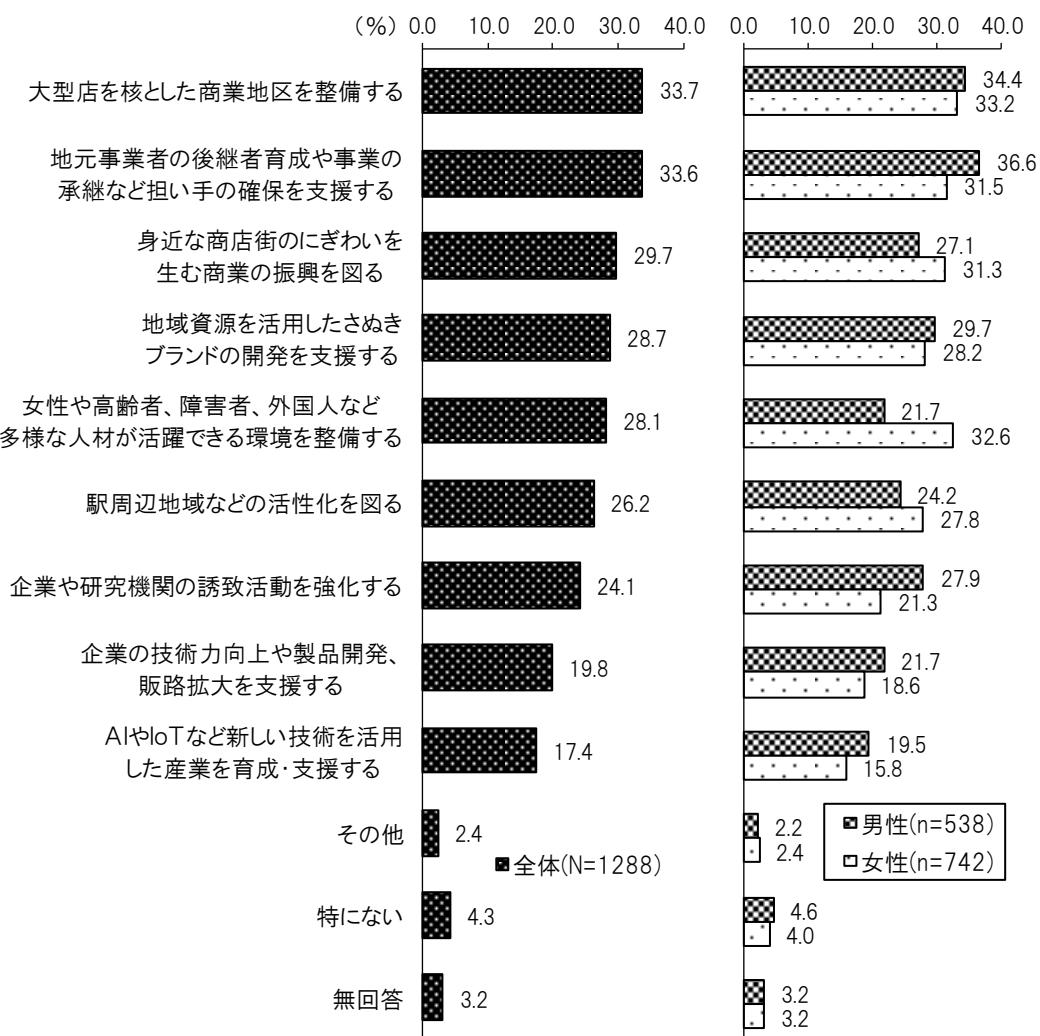
1 商工業振興のために力を入れるべきこと

【商工業の振興】

問18 商工業を振興し、育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

商工業振興のために力を入れるべきことについては、「大型店を核とした商業地区を整備する」の割合が33.7%と最も高く、ほぼ並んで「地元事業者の後継者育成や事業の承継など担い手の確保を支援する」（33.6%）が続き、以下「身近な商店街のにぎわいを生む商業の振興を図る」（29.7%）、「地域資源を活用したさぬきブランドの開発を支援する」（28.7%）の順となっている。

性別では、女性は「女性や高齢者、障害者、外国人など多様な人材が活躍できる環境を整備する」の割合が男性を大きく上回っている。



居住地区別では、大川地区や長尾地区で「大型店を核とした商業地区を整備する」、津田地区で「身近な商店街のにぎわいを生む商業の振興を図る」、志度地区で「駅周辺地域などの活性化を図る」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「身近な商店街のにぎわいを生む商業の振興を図る」の割合が高く、若い年齢層ほど「駅周辺地域などの活性化を図る」の割合が高くなっている。

単位 (%)	整大型店を核とした商業地区を整備する	支援の元で事業の承継事業者など後継者者の育成を事業の継続性を確保する	身近な商業な商店街の活性化を図る	地域資源の開発活動を用いた活性化を図る	人女性環境などを多様な高齢者、整備な者、人の活性化を図る	駅周辺地域などの活性化を図る	強化する企業や研究機関の誘致活動を	発企業の販路拡大を支援する品開	するA-IやI-O-Tなどの新成産業を育成する	その他	特にない
全体(N=1288)	33.7	33.6	29.7	28.7	28.1	26.2	24.1	19.8	17.4	2.4	4.3
【居住地区別】											
津田地区(n=236)	31.4	33.1	38.1	28.8	23.7	28.4	19.5	14.8	13.1	2.5	5.9
大川地区(n=282)	39.0	37.6	22.7	28.7	28.4	15.2	28.4	25.5	21.6	2.8	2.1
志度地区(n=237)	29.1	27.8	31.2	25.3	27.8	35.9	26.6	17.3	16.5	2.1	4.2
寒川地区(n=264)	29.2	36.0	24.2	31.1	33.0	25.4	23.9	22.3	18.9	1.9	4.5
長尾地区(n=260)	38.1	33.5	33.1	29.6	26.5	28.5	21.5	18.1	15.8	2.3	5.0
【年齢別】											
29歳以下(n=176)	39.8	29.0	37.5	26.1	31.3	38.1	15.3	14.2	14.2	2.3	5.7
30代(n=209)	38.8	34.9	27.8	25.8	30.1	32.5	22.0	22.5	17.7	1.9	3.3
40代(n=261)	37.5	33.3	28.0	30.3	27.2	26.8	23.0	23.0	18.4	3.4	5.0
50代(n=283)	33.9	33.9	30.4	27.9	30.0	24.4	29.3	19.1	18.4	3.2	4.6
60代(n=153)	28.1	32.7	24.8	32.7	30.7	19.0	28.8	17.0	19.6	2.0	3.3
70歳以上(n=197)	21.8	38.1	28.9	30.5	20.3	16.8	24.4	21.3	15.7	0.5	3.6

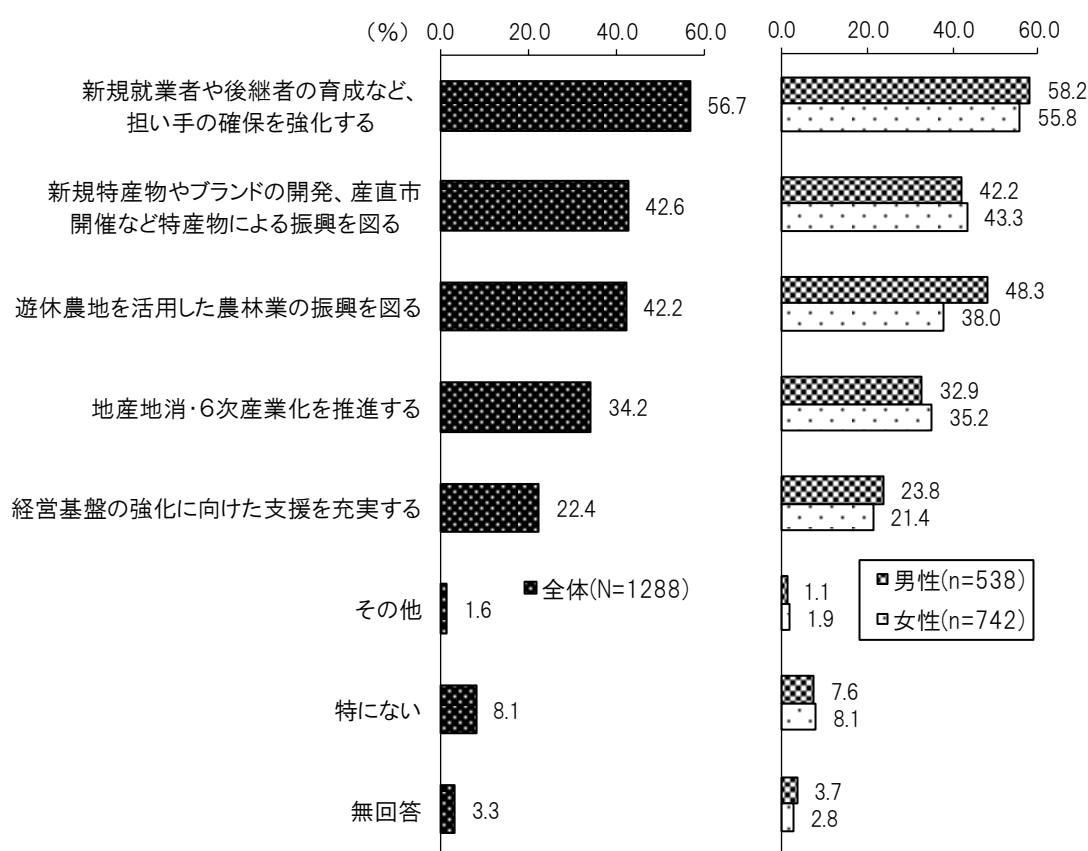
2 農林水産業振興のために力を入れるべきこと

【農林水産業の振興】

問 19 農林水産業を振興し、育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

農林水産業振興のために力を入れるべきことについては、「新規就業者や後継者の育成など、担い手の確保を強化する」の割合が56.7%と最も高く、次いで「新規特産物やブランドの開発、産直市開催など特産物による振興を図る」（42.6%）、「遊休農地を活用した農林業の振興を図る」（42.2%）、「地産地消・6次産業化を推進する」（34.2%）、「経営基盤の強化に向けた支援を充実する」（22.4%）の順となっている。

性別では、男性は「遊休農地を活用した農林業の振興を図る」の割合が女性を大きく上回っている。



居住地区別では、大川地区で「遊休農地を活用した農林業の振興を図る」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「新規特産物やブランドの開発、産直市開催など特産物による振興を図る」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	新規就農者のや確後保継を者強の化育す成るな	新規振興直産を市物図開やる催	新規振興休農地を図る活用	振遊興休農地を図る活用	地産地消・6次産業化を推進	経営基盤の強化に向けた支援	その他	特にな
全体(N=1288)	56.7	42.6	42.2	34.2	22.4	1.6	8.1	
【居住地区別】								
津田地区(n=236)	55.5	45.8	39.8	33.9	19.9	1.3	8.5	
大川地区(n=282)	57.8	37.2	49.3	34.0	23.0	1.1	8.2	
志度地区(n=237)	55.3	45.1	40.5	33.8	21.5	3.0	9.3	
寒川地区(n=264)	56.8	42.0	38.3	36.4	22.7	1.5	5.7	
長尾地区(n=260)	57.7	44.2	42.7	32.7	25.0	1.2	8.5	
【年齢別】								
29歳以下(n=176)	50.0	51.1	36.4	30.7	22.7	3.4	11.4	
30代(n=209)	55.5	41.6	37.8	36.8	24.4	1.4	8.6	
40代(n=261)	60.9	42.1	35.2	32.6	23.8	1.9	7.7	
50代(n=283)	56.9	43.8	41.3	39.6	22.6	1.4	10.2	
60代(n=153)	58.8	39.2	51.6	32.7	20.3	1.3	4.6	
70歳以上(n=197)	56.3	38.6	55.3	30.5	20.3	0.0	4.1	

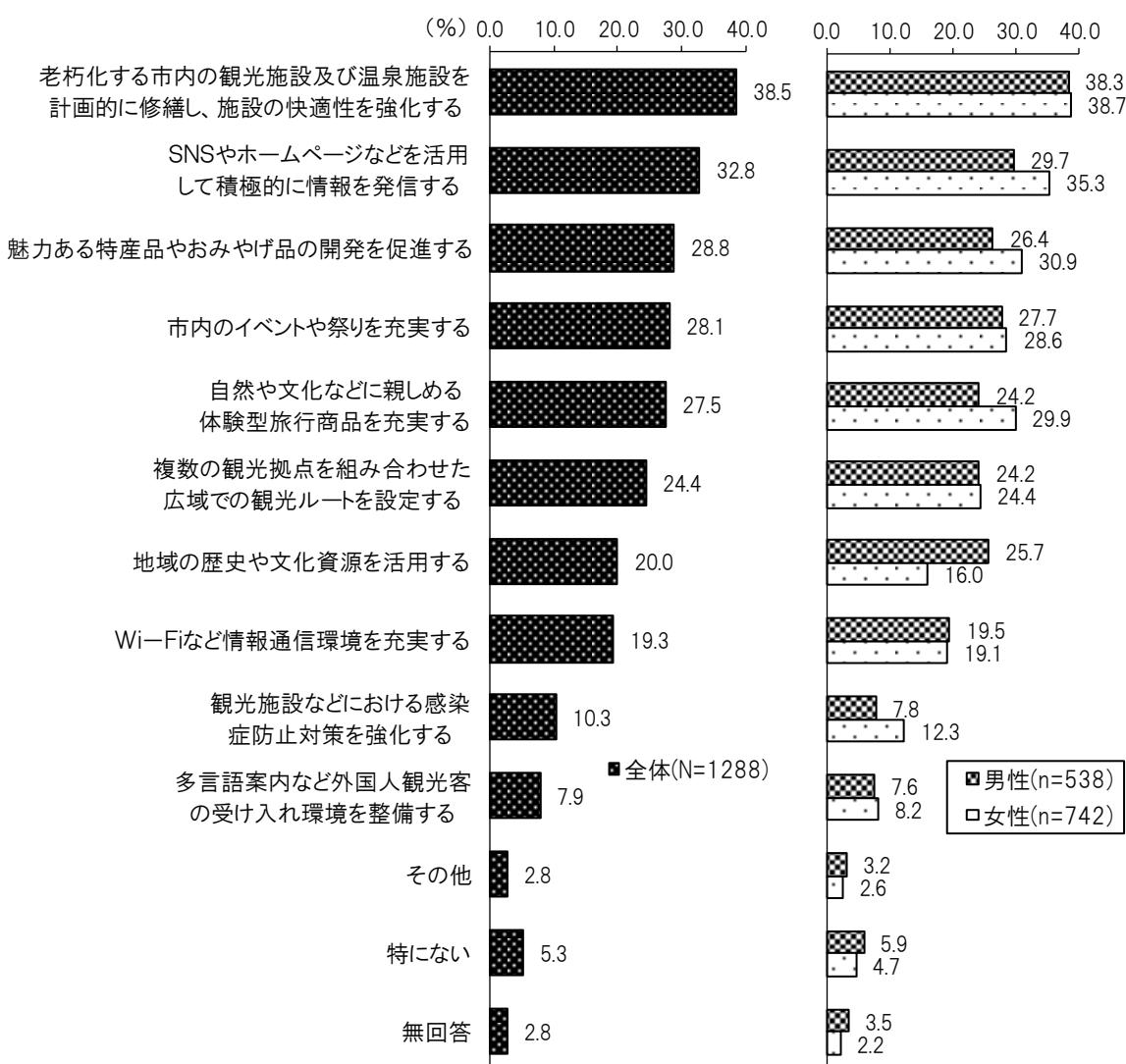
3 観光振興のために力を入れるべきこと

【観光振興】

問 20 観光を活性化するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

観光振興のために力を入れるべきことについては、「老朽化する市内の観光施設及び温泉施設を計画的に修繕し、施設の快適性を強化する」の割合が38.5%と最も高く、次いで「SNSやホームページなどを活用して積極的に情報を発信する」(32.8%)、「魅力ある特産品やおみやげ品の開発を促進する」(28.8%)、「市内のイベントや祭りを充実する」(28.1%)の順となっている。

性別では、男性は「地域の歴史や文化資源を活用する」の割合が女性を大きく上回っており、女性は男性に比べ「SNSやホームページなどを活用して積極的に情報を発信する」「自然や文化などに親しめる体験型旅行商品を充実する」などの割合が高くなっている。



居住地区別では、長尾地区で「魅力ある特産品やおみやげ品の開発を促進する」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「市内のイベントや祭りを充実する」、60代以上で「複数の観光拠点を組み合わせた広域での観光ルートを設定する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	しひ老 温朽 施泉化 設施する 快を市 適計内 性画の を的觀 強に光 化修施 す繕設 る及	す活 S る用 S しS てや 積木 極に ムペ 的に 情一 報ジ を發 信を	の魅 力開 發ある を促 進產 品や おみ やげ 品	する 市内 のイ ベント や祭 りを充 実	験自 然や 型旅 行文 化商 品な ど充 実する を親 しめる 体	する 複數 域の で觀 光拠 点ル ー組 み合 わせ	する 地域 の歴 史や 文化 資源を 活用	W i—F iなど 充実 する 情報を 通信環 境	防 觀 光施 設を強 化する などに おける 感染症	の多 言語 受け入 れ案 内環 境を外 國人備 する觀 光客	その 他	特 にない
全体(N=1288)	38.5	32.8	28.8	28.1	27.5	24.4	20.0	19.3	10.3	7.9	2.8	5.3
【居住地区別】												
津田地区(n=236)	41.5	33.9	28.8	31.8	27.1	20.8	19.9	12.7	7.6	8.5	3.0	5.9
大川地区(n=282)	45.0	33.0	26.6	24.5	24.5	23.8	17.4	21.3	13.1	7.1	2.5	5.0
志度地区(n=237)	32.9	29.5	27.8	31.6	28.7	23.2	24.1	18.6	9.3	11.8	3.8	5.5
寒川地区(n=264)	40.2	33.3	25.0	26.1	28.4	28.4	18.2	17.8	9.8	5.3	3.4	4.2
長尾地区(n=260)	32.3	35.0	36.5	26.9	29.2	25.0	21.2	25.8	11.5	7.7	1.5	5.8
【年齢別】												
29歳以下(n=176)	29.0	41.5	32.4	40.9	31.8	21.6	15.9	23.9	10.8	10.2	4.0	4.0
30代(n=209)	35.9	38.8	31.6	40.2	27.8	17.7	9.1	24.9	11.0	11.5	1.9	4.3
40代(n=261)	42.9	33.0	30.3	29.1	26.1	23.4	13.8	23.4	8.4	9.2	2.7	5.7
50代(n=283)	39.2	31.8	29.3	23.7	31.1	24.4	23.0	20.5	12.7	6.4	3.2	5.7
60代(n=153)	41.2	33.3	24.8	14.4	25.5	30.1	28.1	13.7	9.2	4.6	3.3	5.2
70歳以上(n=197)	41.1	20.8	24.4	19.3	21.3	31.0	33.0	7.1	9.6	5.1	2.0	6.1

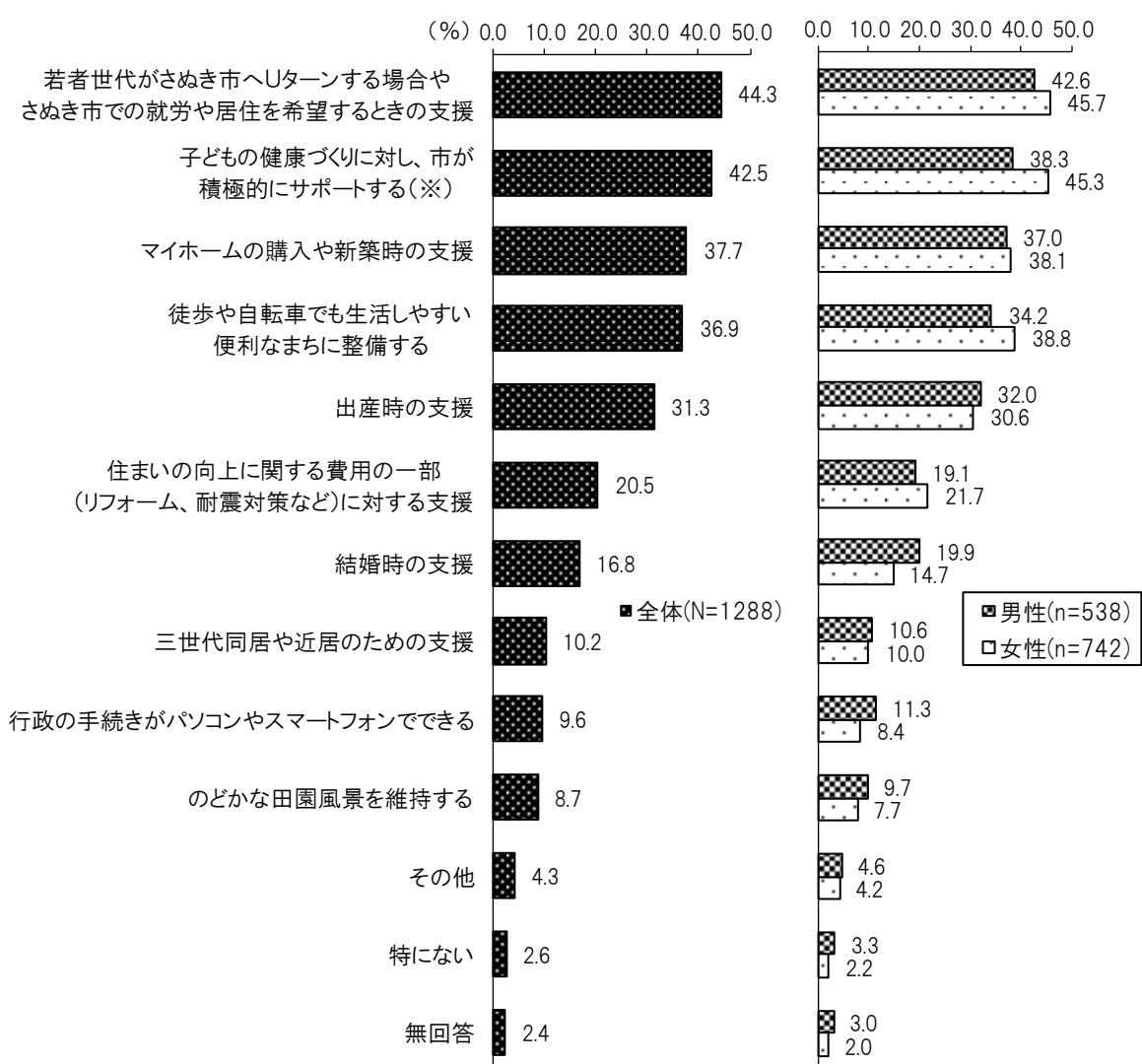
4 定住促進のために効果が高いと思う取組

【定住促進】

問 21 市の人口が減少傾向にある中、あなたは、移住支援や定住促進に効果が高いと思われる取組は何だと考えますか。 (○は3つまで)

定住促進のために効果が高いと思う取組については、「若者世代がさぬき市へUターンする場合やさぬき市での就労や居住を希望するときの支援」の割合が44.3%と最も高く、次いで「子どもの健康づくり（病児・病後児保育、子ども医療費支給など）に対し、市が積極的にサポートする」（42.5%）、「マイホームの購入や新築時の支援」（37.7%）、「徒歩や自転車でも生活しやすい便利なまちに整備する」（36.9%）の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「結婚時の支援」の割合が高く、女性は「子どもの健康づくり（病児・病後児保育、子ども医療費支給など）に対し、市が積極的にサポートする」の割合が男性を上回っている。



※子どもの健康づくり(病児・病後児保育、子ども医療費支給など)に対し、市が積極的にサポートする

居住地区別では、長尾地区で「マイホームの購入や新築時の支援」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「マイホームの購入や新築時の支援」「出産時の支援」「結婚時の支援」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	居す若住る者を場世希合代希望やがすささるぬぬとききとき市市のでへ支のU援就タ労一やン	ポド後子トに保もす対育のし、子康市どづがもくり積医り極療へ的費病に支児サ給・な病	援マイホーの購入や新築時支	便徒歩や自転車で整備もする生活しやす	出産時の支援	ど部住まいにリフオーする支援	結婚時の支援	三世代同居や近居のための支援	マ行政一トフオーンで手続きがパソコンやス	のどかな田園風景を維持する	その他	特にない
全体(N=1288)	44.3	42.5	37.7	36.9	31.3	20.5	16.8	10.2	9.6	8.7	4.3	2.6
【居住地区別】												
津田地区(n=236)	43.2	39.4	35.2	39.8	27.1	19.5	11.4	10.6	8.5	8.5	3.8	4.2
大川地区(n=282)	46.1	43.6	38.7	37.2	31.9	22.7	18.1	8.5	7.8	8.5	3.9	1.8
志度地区(n=237)	42.2	39.2	35.4	39.2	32.1	18.6	18.6	8.4	10.1	6.8	5.9	3.8
寒川地区(n=264)	49.2	43.6	36.0	37.1	28.8	18.9	16.7	11.0	10.6	8.3	3.8	1.9
長尾地区(n=260)	40.4	45.8	42.7	31.9	35.4	22.7	18.8	11.9	11.2	10.4	4.6	1.9
【年齢別】												
29歳以下(n=176)	35.8	42.6	48.3	25.6	50.6	13.1	29.0	11.4	13.1	4.5	1.7	4.5
30代(n=209)	31.1	51.7	51.2	32.1	44.0	19.6	23.0	8.6	12.0	5.7	5.7	1.4
40代(n=261)	38.7	47.5	40.2	37.9	26.1	19.2	14.6	8.4	10.7	6.1	6.9	4.2
50代(n=283)	52.3	36.0	33.9	41.7	26.9	22.3	15.2	12.0	9.9	10.2	6.4	2.1
60代(n=153)	52.3	43.8	26.8	38.6	25.5	24.2	8.5	9.2	6.5	11.8	2.0	1.3
70歳以上(n=197)	55.8	34.0	23.9	42.6	17.8	24.4	11.7	11.7	4.6	13.2	1.0	2.0

基本目標Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち

防災や公共交通などに関する内容です。

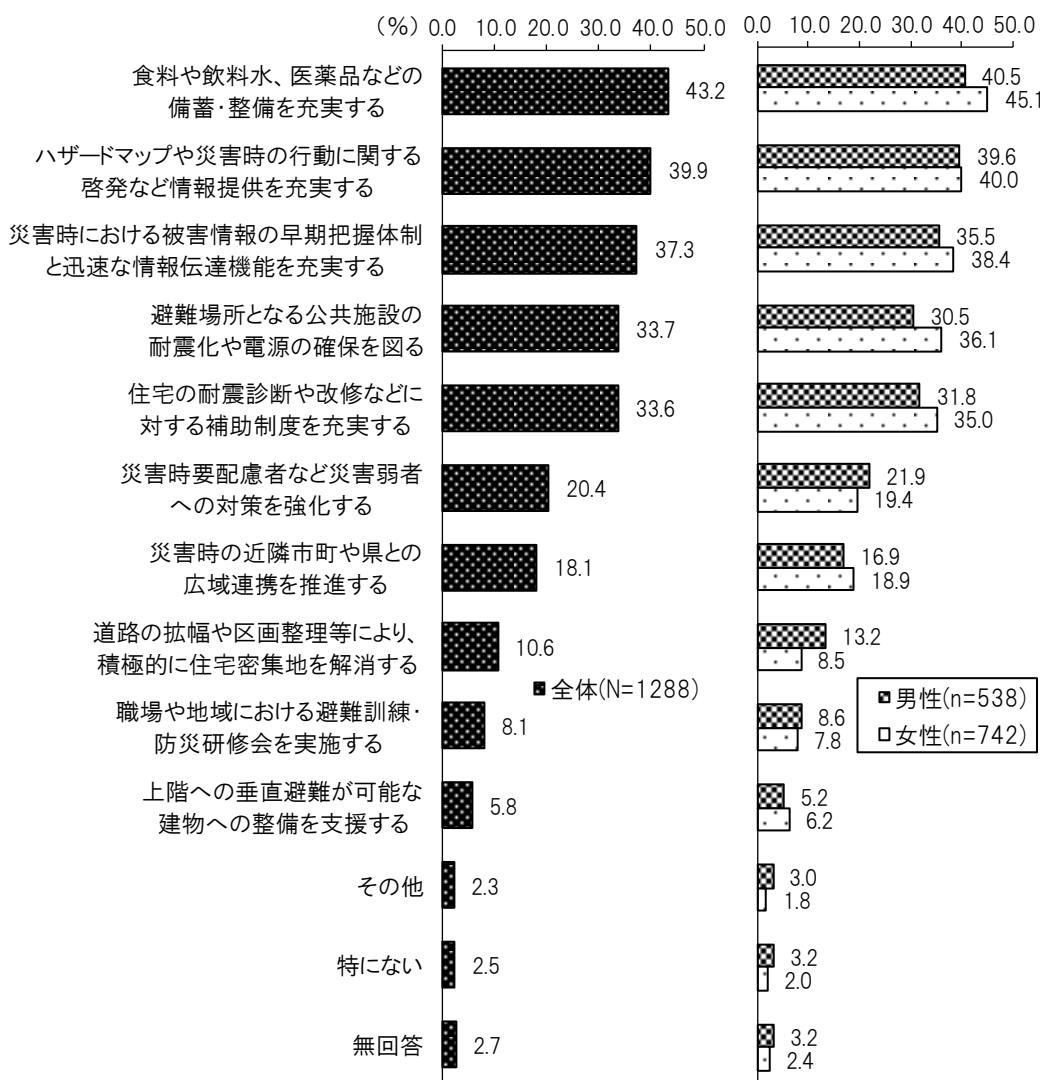
5 災害対策として力を入れるべきこと

【災害対策】

問 22 あなたは、地震や台風、豪雨など自然災害による被害を防ぐ取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

災害対策として力を入れるべきことについては、「食料や飲料水、医薬品などの備蓄・整備を充実する」の割合が43.2%と最も高く、次いで「ハザードマップや災害時の行動に関する啓発など情報提供を充実する」(39.9%)、「災害時における被害情報の早期把握体制と迅速な情報伝達機能を充実する」(37.3%)、「避難場所となる公共施設の耐震化や電源の確保を図る」(33.7%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「食料や飲料水、医薬品などの備蓄・整備を充実する」「避難場所となる公共施設の耐震化や電源の確保を図る」などの割合が高くなっている。



居住地区別では、津田地区や長尾地区で「避難場所となる公共施設の耐震化や電源の確保を図る」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、若い年齢層ほど「食料や飲料水、医薬品などの備蓄・整備を充実する」の割合が高くなっている。

単位 (%)	蓄食・料整や備飲を料充水、実する医品などの備	実際にハす関ザるするドマツドマツ発など情災害提供のを行充動	実際にハす関ザるするドマツドマツ発など情災害提供のを行充動	を把握災害実体時すとおけると迅い被情災害提達の機能期	避難や電場所のと確保を図る公共施設の耐震	化避難や電場所のと確保を図る公共施設の耐震	する住宅の助震度診断を充実改修などに對	の災害対策時を強化する者など災害弱者へ	連災害時を推進する市町や県との広域	する道の積の極的幅に住宅密集地等を解消	防職場研修会の実施する避難訓練・	への階整備への垂直避難が可能な建物	その他	特にない
全体(N=1288)	43.2	39.9	37.3	33.7	33.6	20.4	18.1	10.6	8.1	5.8	2.3	2.5		
【居住地区別】														
津田地区(n=236)	40.3	37.7	36.9	36.9	33.9	21.6	14.8	11.4	7.6	5.9	1.7	4.2		
大川地区(n=282)	44.0	37.2	39.7	31.2	33.3	22.0	18.1	9.6	7.1	5.3	3.5	2.8		
志度地区(n=237)	42.2	43.5	33.3	30.8	29.5	15.6	20.7	12.2	7.6	6.8	2.5	2.1		
寒川地区(n=264)	42.4	40.9	38.6	32.2	34.1	21.2	17.8	9.1	8.0	5.7	2.7	0.8		
長尾地区(n=260)	46.9	40.4	37.3	38.1	36.5	21.5	18.8	10.0	10.4	5.0	0.8	2.7		
【年齢別】														
29歳以下(n=176)	54.0	42.0	29.5	36.9	40.9	14.8	17.0	9.7	8.5	6.8	1.7	3.4		
30代(n=209)	53.6	41.6	33.0	42.1	40.2	10.5	14.4	12.9	6.7	7.7	1.4	1.9		
40代(n=261)	47.1	39.5	33.3	36.0	31.0	18.4	16.1	8.4	8.8	4.6	1.9	3.4		
50代(n=283)	38.9	37.8	42.8	33.2	33.6	24.4	17.7	8.5	9.2	6.4	3.9	2.5		
60代(n=153)	34.0	39.9	47.1	26.1	26.1	27.5	20.3	13.7	5.9	4.6	3.3	0.7		
70歳以上(n=197)	31.0	39.6	38.6	25.9	29.4	27.9	24.9	11.7	8.6	4.6	1.0	2.0		

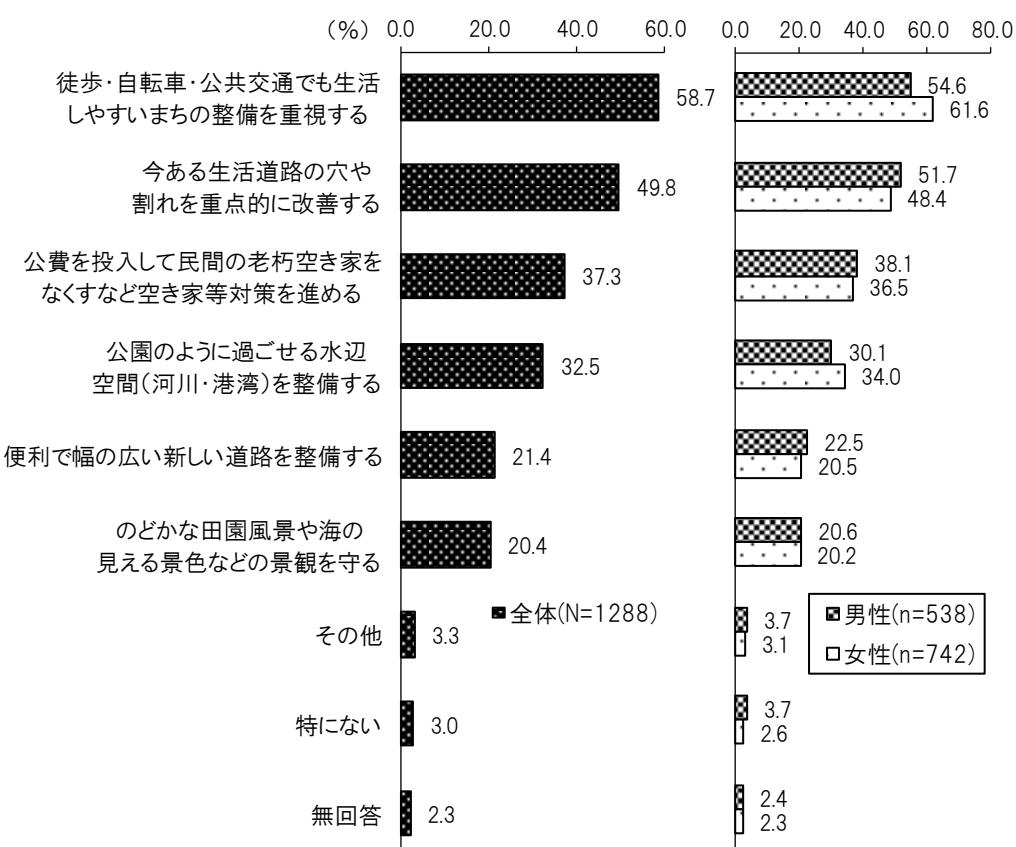
6 都市基盤や生活環境に関して力を入れるべきこと

【都市基盤・生活環境】

問 23 都市基盤や生活環境に関する取組について、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

都市基盤や生活環境に関して力を入れるべきことについては、「徒歩・自転車・公共交通でも生活しやすいまちの整備を重視する」の割合が 58.7% と最も高く、次いで「今ある生活道路の穴や割れを重点的に改善する」（49.8%）、「公費を投入して民間の老朽空き家をなくすなど空き家等対策を進める」（37.3%）、「公園のように過ごせる水辺空間（河川・港湾）を整備する」（32.5%）の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「徒歩・自転車・公共交通でも生活しやすいまちの整備を重視する」の割合が高くなっている。



居住地区別では、志度地区で「便利で幅の広い新しい道路を整備する」の割合が他の地区を大きく上回っている。

年齢別では、29歳以下で「便利で幅の広い新しい道路を整備する」、30代以下で「公園のように過ごせる水辺空間（河川・港湾）を整備する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

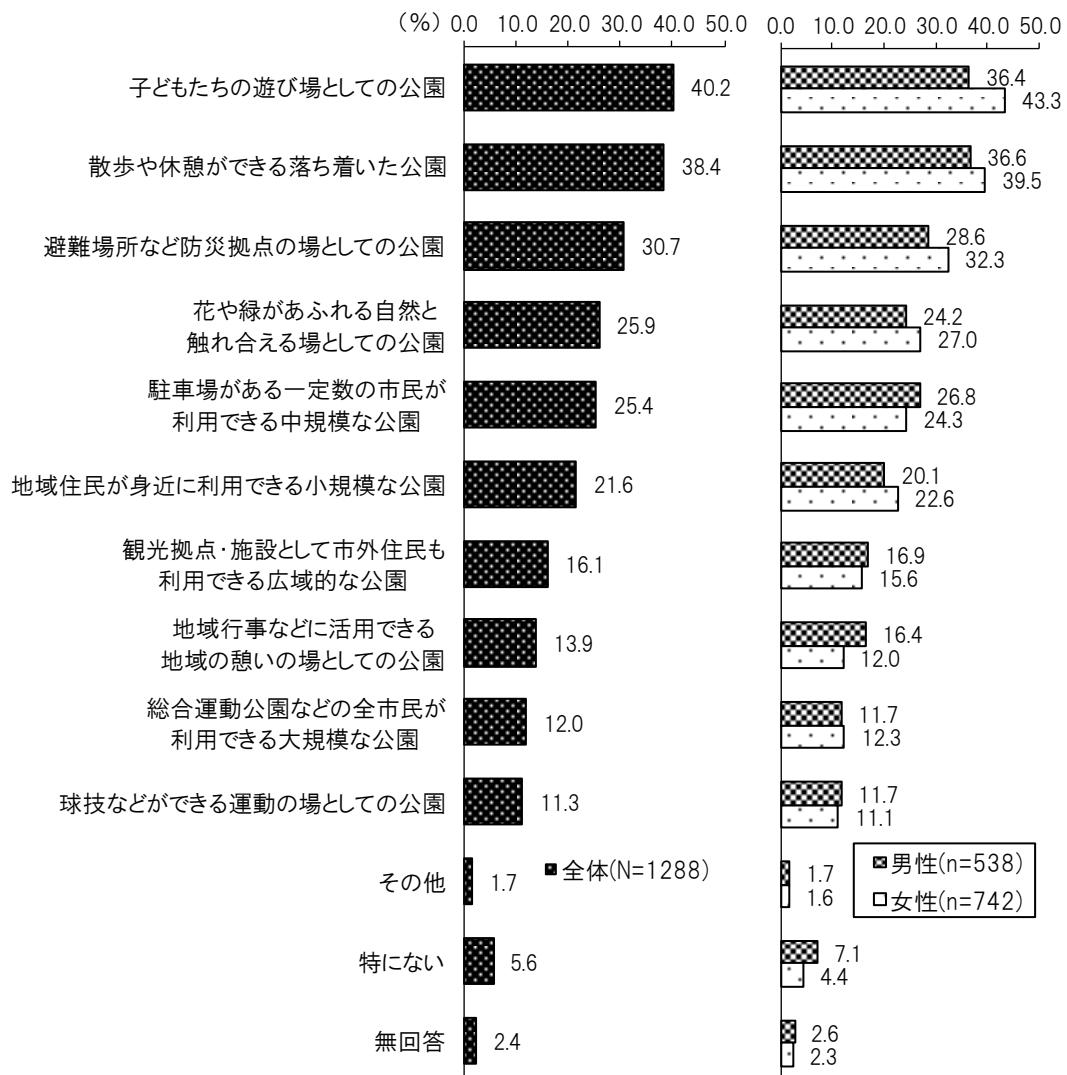
単位 (%)	視生徒するし・や自転車・まち公の共整交通備をで重も	重今あるに生改活善道するの穴や割れを	策き公を家費を進めなを進をめく入る	間公園へ河川よ・う港に湾)を過ごせる	整便備する幅の広い新しい道路を	るの景色など田園風景をや守る海の見え	その他	特にない
全体(N=1288)	58.7	49.8	37.3	32.5	21.4	20.4	3.3	3.0
【居住地区別】								
津田地区(n=236)	63.1	44.1	38.6	34.3	20.3	23.7	2.5	4.2
大川地区(n=282)	58.9	54.3	39.0	29.1	15.2	20.9	3.2	2.8
志度地区(n=237)	54.0	40.5	33.3	32.5	31.2	21.9	4.2	4.6
寒川地区(n=264)	56.8	51.5	41.3	31.8	20.8	16.7	3.0	2.3
長尾地区(n=260)	60.8	56.9	33.8	34.2	19.2	18.8	3.8	1.5
【年齢別】								
29歳以下(n=176)	52.3	42.0	31.3	42.6	29.0	25.6	2.8	5.7
30代(n=209)	53.6	39.7	40.2	46.4	20.6	20.6	2.9	3.3
40代(n=261)	60.5	47.5	37.2	30.3	21.5	17.6	3.1	2.7
50代(n=283)	60.4	54.1	41.0	25.1	21.9	18.0	4.6	2.5
60代(n=153)	64.7	56.9	34.6	28.1	20.3	22.9	3.9	3.3
70歳以上(n=197)	59.4	59.9	36.0	24.9	15.2	20.3	2.5	1.5

7 公園や緑地に関して整備してほしいこと

問 24 あなたは、市内の公園や緑地の規模や機能について、今後、どのように整備をしてほしいと思いますか。 (○は3つまで)

公園や緑地に関して整備してほしいことについては、「子どもたちの遊び場としての公園」の割合が40.2%と最も高く、次いで「散歩や休憩ができる落ち着いた公園」(38.4%)、「避難場所など防災拠点の場としての公園」(30.7%)、「花や緑があふれる自然と触れ合える場としての公園」(25.9%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「子どもたちの遊び場としての公園」の割合が高くなっている。



居住地区別では、長尾地区で「子どもたちの遊び場としての公園」「避難場所など防災拠点の場としての公園」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代で「子どもたちの遊び場としての公園」、70歳以上で「地域住民が身近に利用できる小規模な公園」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	公子園 どもたちの遊び場としての の遊び場としての	た散歩や休憩ができる落ち着い	し避難の場所など防災拠点の場と	合花やる緑場があふれる自然と触れ	利駐車場がある一定数の市民が	小地域住民が身近に利用できる	民観光拠点・施設としての市外公園住	域地の憩いの場などとして活用できる地	利総合運動できる公園などの大規模な公園が	し球技などの公園ができる運動の場と	その他	特にない
全体(N=1288)	40.2	38.4	30.7	25.9	25.4	21.6	16.1	13.9	12.0	11.3	1.7	5.6
【居住地区別】												
津田地区(n=236)	37.3	38.6	28.8	29.2	23.3	23.3	15.7	14.0	9.7	10.2	1.7	6.8
大川地区(n=282)	40.4	40.4	30.9	25.5	21.6	19.5	14.5	15.6	11.0	11.7	1.4	8.5
志度地区(n=237)	36.7	40.1	28.3	24.5	30.0	21.5	16.5	11.8	13.5	10.5	1.7	5.1
寒川地区(n=264)	39.0	36.0	28.0	26.5	24.6	23.5	14.0	15.5	12.1	11.7	1.9	6.8
長尾地区(n=260)	47.3	36.5	37.3	23.1	27.3	20.8	20.4	11.5	13.5	12.3	1.5	0.8
【年齢別】												
29歳以下(n=176)	51.1	34.1	26.1	25.0	25.6	19.3	13.6	14.8	19.9	16.5	1.1	8.0
30代(n=209)	57.9	30.6	24.9	23.0	28.2	23.4	15.3	10.5	15.8	16.3	3.3	2.4
40代(n=261)	40.6	31.8	27.6	20.3	26.4	14.2	22.2	13.8	12.3	17.2	1.1	8.0
50代(n=283)	32.9	42.4	32.5	31.4	26.5	20.1	17.3	12.0	10.2	8.5	2.1	5.7
60代(n=153)	35.3	48.4	34.0	32.0	23.5	19.6	15.7	14.4	9.2	4.6	1.3	3.3
70歳以上(n=197)	25.4	44.7	40.6	23.9	20.8	35.0	10.2	18.8	5.1	2.5	0.5	5.6

基本目標Ⅲ 健全な心身と思いやりを育むまち

子育て支援や高齢者・障害者福祉、健康づくりなどに関する内容です。

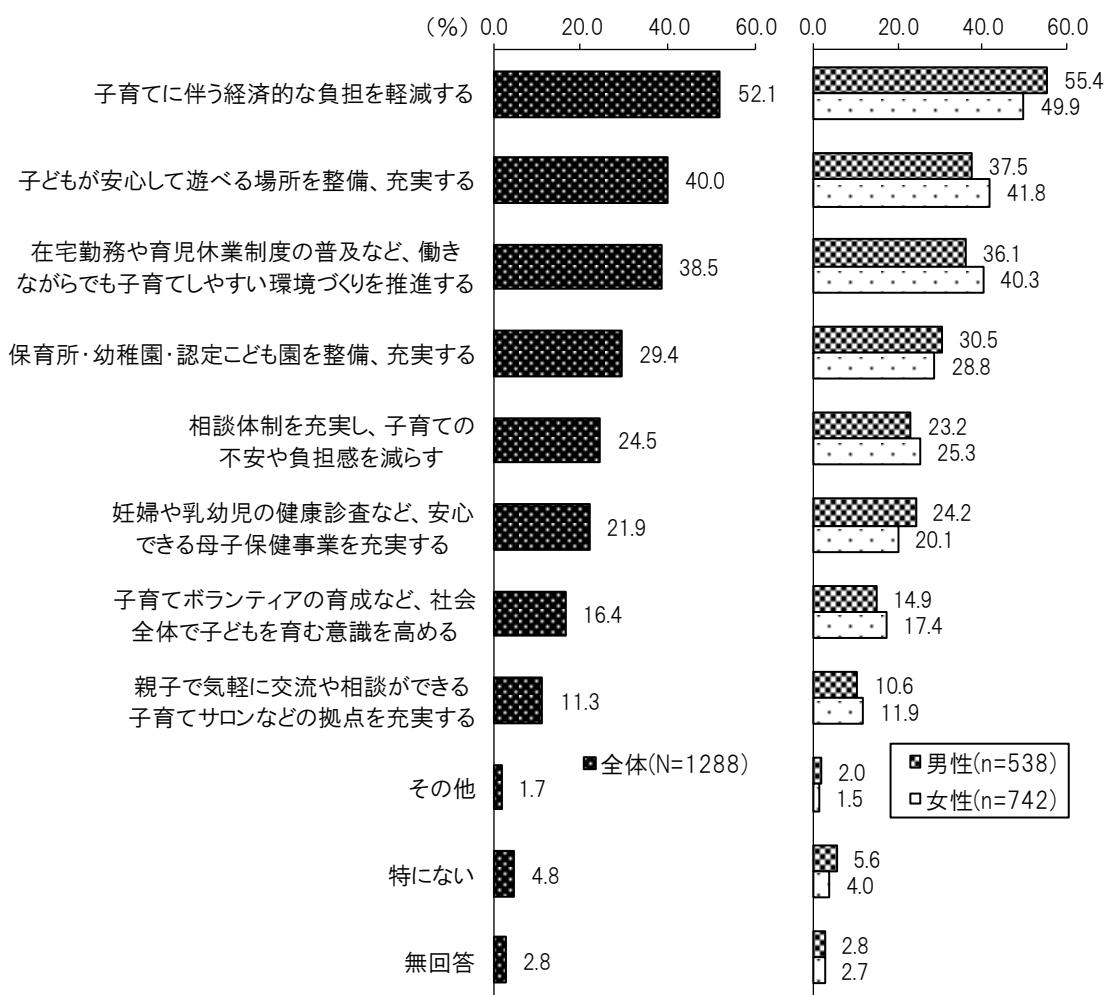
8 子育て支援に関して力を入れるべきこと

【子育て支援】

問 25 子育て支援の充実を図るために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

子育て支援に関して力を入れるべきことについては、「子育てに伴う経済的な負担を軽減する」の割合が52.1%と最も高く、次いで「子どもが安心して遊べる場所を整備、充実する」(40.0%)、「在宅勤務や育児休業制度の普及など、働きながらでも子育てしやすい環境づくりを推進する」(38.5%)、「保育所・幼稚園・認定こども園を整備、充実する」(29.4%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「子育てに伴う経済的な負担を軽減する」の割合が高くなっている。



居住地区別では、津田地区や長尾地区で「子どもが安心して遊べる場所を整備、充実する」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「妊婦や乳幼児の健康診査など、安心できる母子保健事業を充実する」、30~40代で「子どもが安心して遊べる場所を整備、充実する」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

単位 (%)	減子するに伴う経済的な負担を軽	整子備、子どもが充実する心して遊べる場所を	やな在宅勤務や環境働きやぐな育児で休業を推進する度育の普及を	を保育所・幼稚園・充実する認定こども園	安相や談負担感を充実感を充減らす	す安妊婦や乳幼児の母子の保健事業をなど、充実	識ど、子育ての会ボランティアの育成む意	実る親子で気サロに交流などやの相談点がで充き	その他	特にない
全体(N=1288)	52.1	40.0	38.5	29.4	24.5	21.9	16.4	11.3	1.7	4.8
【居住地区別】										
津田地区(n=236)	49.2	42.8	41.1	26.7	19.1	20.8	17.8	11.9	0.4	4.7
大川地区(n=282)	55.7	35.5	39.7	28.0	29.4	24.5	16.3	10.3	1.8	4.6
志度地区(n=237)	47.7	37.6	32.5	30.8	26.6	21.1	16.5	11.4	2.5	7.2
寒川地区(n=264)	53.4	38.3	42.4	33.0	24.2	22.0	13.6	10.2	1.5	2.3
長尾地区(n=260)	53.5	45.8	36.5	28.8	22.7	20.8	17.7	13.1	2.3	5.0
【年齢別】										
29歳以下(n=176)	61.4	34.1	40.9	35.8	23.9	36.4	14.8	10.8	1.1	4.5
30代(n=209)	63.2	48.3	37.3	29.2	18.2	25.8	10.0	11.0	2.4	4.3
40代(n=261)	55.9	47.1	35.2	27.2	17.6	15.3	16.1	9.2	2.3	6.1
50代(n=283)	47.7	36.7	40.3	30.0	25.4	19.8	19.1	10.6	2.1	6.4
60代(n=153)	41.2	35.3	44.4	33.3	33.3	18.3	17.0	13.7	1.3	2.0
70歳以上(n=197)	42.1	34.0	34.5	24.4	32.0	19.3	20.3	14.2	0.5	3.6

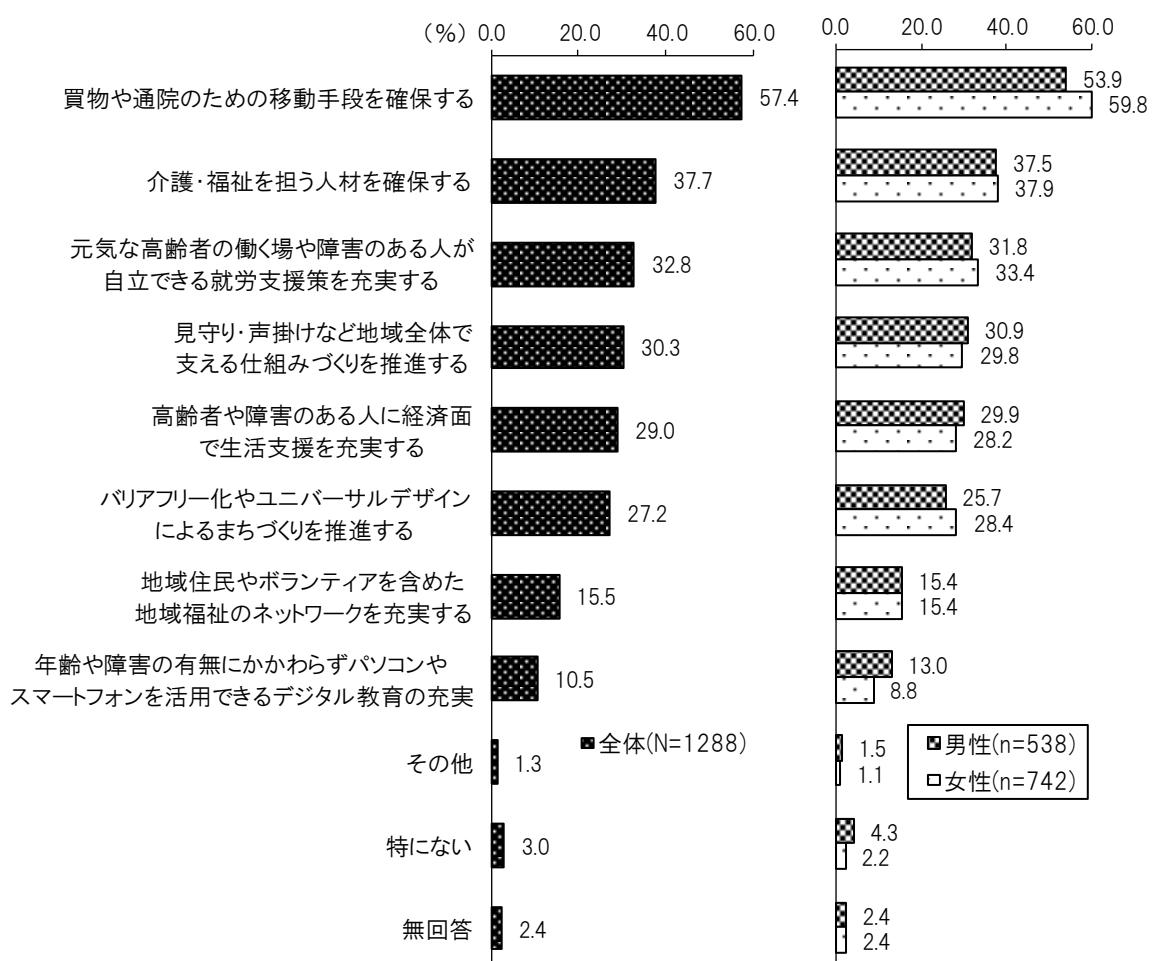
9 高齢者や障害者福祉に関して力を入れるべきこと

【高齢者・障害者福祉】

問 26 高齢者や障害のある人が生きがいをもって暮らせる環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

高齢者や障害者福祉に関して力を入れるべきことについては、「買物や通院のための移動手段を確保する」の割合が57.4%と最も高く、次いで「介護・福祉を担う人材を確保する」(37.7%)、「元気な高齢者の働く場や障害のある人が自立できる就労支援策を充実する」(32.8%)、「見守り・声掛けなど地域全体で支える仕組みづくりを推進する」(30.3%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「買物や通院のための移動手段を確保する」の割合が高くなっている。



居住地区別では、津田地区で「買物や通院のための移動手段を確保する」、寒川地区で「元気な高齢者の働く場や障害のある人が自立できる就労支援策を充実する」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「バリアフリー化やユニバーサルデザインによるまちづくりを推進する」、70歳以上で「見守り・声掛けなど地域全体で支える仕組みづくりを推進する」の割合がそれぞれ他の年齢層を大きく上回っている。

単位 (%)	確買保物する通院のための移動手段を確保する人材を確保する	介護・福祉を担う人材を確保する	元充実人ながる自立者で働く就場労や支障支援害策の	ある気ながる自立者で働く就場労や支障支援害策の	支見え守り・組声み掛けくどを地推全す体で	で高齢生活者や支援障を害の充実する人	進デバザリするイアンフリーや化まちユづニくバーやクをサ推ル	実た地す地域住福民祉やのボネランツトワーアクを充め	用パ年でソ年齢やコ年齢や障害のデジタルマート教のオカ充実を	その他の
全体(N=1288)	57.4	37.7	32.8	30.3	29.0	27.2	15.5	10.5	1.3	3.0
【居住地区別】										
津田地区(n=236)	64.4	39.4	29.2	29.2	26.7	26.3	15.3	11.4	0.4	3.0
大川地区(n=282)	57.8	37.2	32.3	32.6	33.0	24.1	14.9	10.6	1.8	3.2
志度地区(n=237)	55.7	34.2	29.1	32.5	22.8	27.4	15.6	8.4	2.1	5.9
寒川地区(n=264)	50.0	37.9	38.6	29.9	32.2	27.3	15.9	8.3	1.1	1.1
長尾地区(n=260)	59.2	40.0	33.5	26.2	29.6	30.8	15.8	13.8	0.8	2.3
【年齢別】										
29歳以下(n=176)	49.4	42.6	30.1	21.0	34.7	46.0	11.9	11.9	1.7	3.4
30代(n=209)	62.2	36.4	31.6	28.7	25.4	30.6	10.5	9.6	1.0	2.9
40代(n=261)	54.0	38.7	36.8	22.6	24.9	29.1	13.4	10.7	1.1	4.6
50代(n=283)	61.5	39.9	37.5	32.5	29.3	22.6	17.0	7.8	2.5	3.2
60代(n=153)	54.9	37.3	30.1	34.6	30.7	24.2	22.9	10.5	0.7	0.7
70歳以上(n=197)	59.4	31.5	26.9	43.7	31.5	13.2	18.8	13.7	0.0	2.5

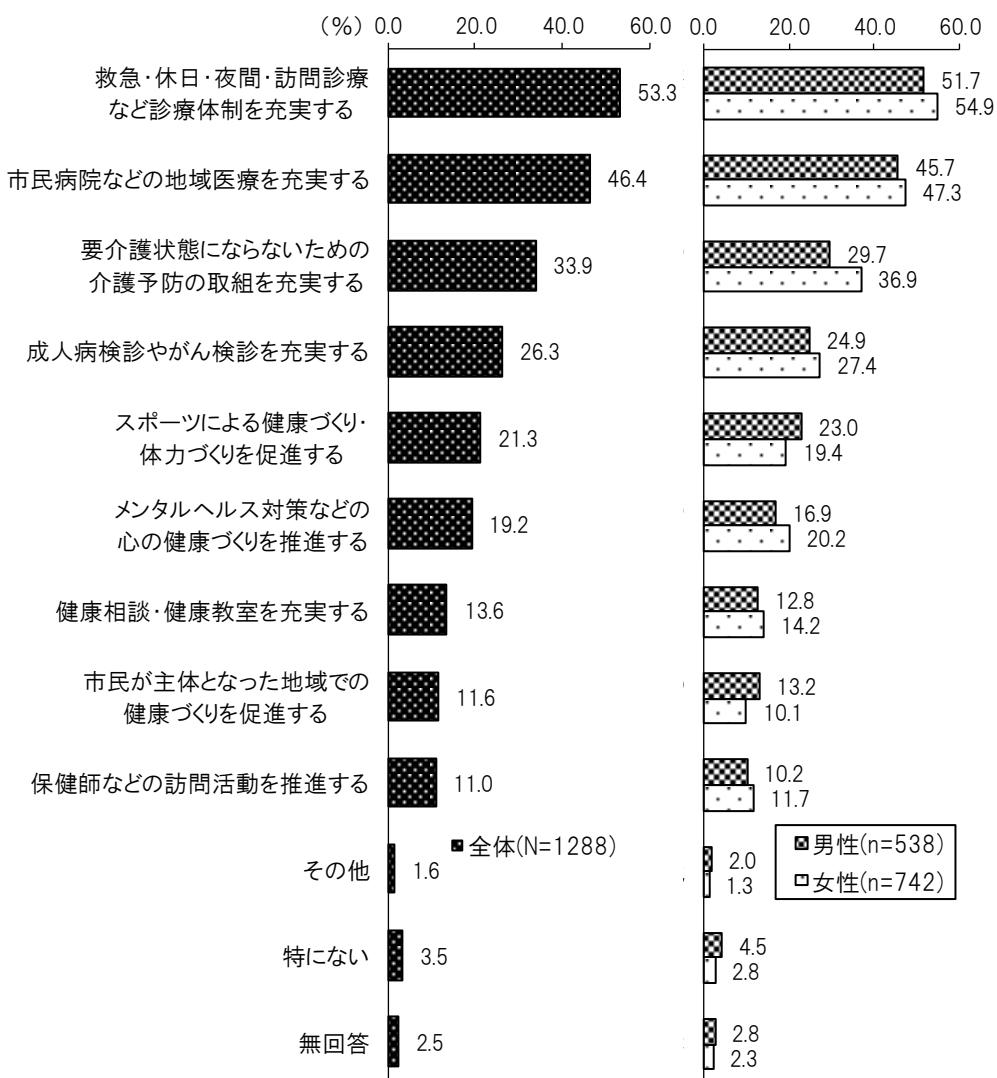
10 健康づくりに関して力を入れるべきこと

【健康づくり】

問 27 生涯にわたる健康づくりを推進し、誰もが元気に暮らせる環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(○は3つまで)

健康づくりに関して力を入れるべきことについては、「救急・休日・夜間・訪問診療など診療体制を充実する」の割合が53.3%と最も高く、次いで「市民病院などの地域医療を充実する」(46.4%)、「要介護状態にならないための介護予防の取組を充実する」(33.9%)、「成人病検診やがん検診を充実する」(26.3%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「要介護状態にならないための介護予防の取組を充実する」の割合が高くなっている。



居住地区別では、「長尾地区で「救急・休日・夜間・訪問診療など診療体制を充実する」「市民病院などの地域医療を充実する」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「成人病検診やがん検診を充実する」、70歳以上で「要介護状態にならないための介護予防の取組を充実する」「保健師などの訪問活動を推進する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位(%)	な救急診・療休体制・を夜間充実・す訪る問診療	実する市民病院などの地域医療を充	介要介護予防状態の取組を充実するための地域医療を充実するための	する成人病検診やがん検診を充実するための	体力づくりによる健康づくり・	スポーツづくりによる健康づくり・	メンタルヘルス対策などを心	る健康相談・健康教室を充実す	健民づくりを促進する地域での	する保健師などの訪問活動を推進	その他	特にない
全体(N=1288)	53.3	46.4	33.9	26.3	21.3	19.2	13.6	11.6	11.0	1.6	3.5	
【居住地区別】												
津田地区(n=236)	52.1	47.5	33.5	25.8	22.5	15.7	16.9	8.1	8.1	1.7	3.8	
大川地区(n=282)	53.9	49.3	30.1	30.9	19.9	22.0	11.0	11.0	12.8	1.8	3.5	
志度地区(n=237)	50.2	34.2	35.4	21.9	21.1	21.5	14.8	13.5	7.2	1.7	5.9	
寒川地区(n=264)	49.6	45.8	39.0	25.0	24.2	13.3	13.3	14.4	11.4	0.8	2.3	
長尾地区(n=260)	61.2	55.0	31.5	27.3	17.3	21.5	12.7	10.4	15.0	2.3	2.3	
【年齢別】												
29歳以下(n=176)	40.3	38.6	30.7	38.1	26.7	25.0	14.8	14.2	9.7	1.7	5.7	
30代(n=209)	58.9	51.7	23.9	25.4	26.8	25.8	10.5	7.2	9.1	2.9	4.3	
40代(n=261)	57.1	48.7	29.1	30.7	19.2	21.1	6.5	8.0	7.3	2.3	4.2	
50代(n=283)	61.5	45.9	31.8	22.3	23.7	17.3	13.8	11.7	11.3	1.4	3.2	
60代(n=153)	51.6	51.0	43.1	20.9	16.3	13.7	17.0	14.4	10.5	0.7	1.3	
70歳以上(n=197)	44.7	42.6	49.7	20.8	12.7	9.6	22.8	15.7	19.8	0.5	1.5	

基本目標IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち

学校教育や人権推進などに関する内容です。

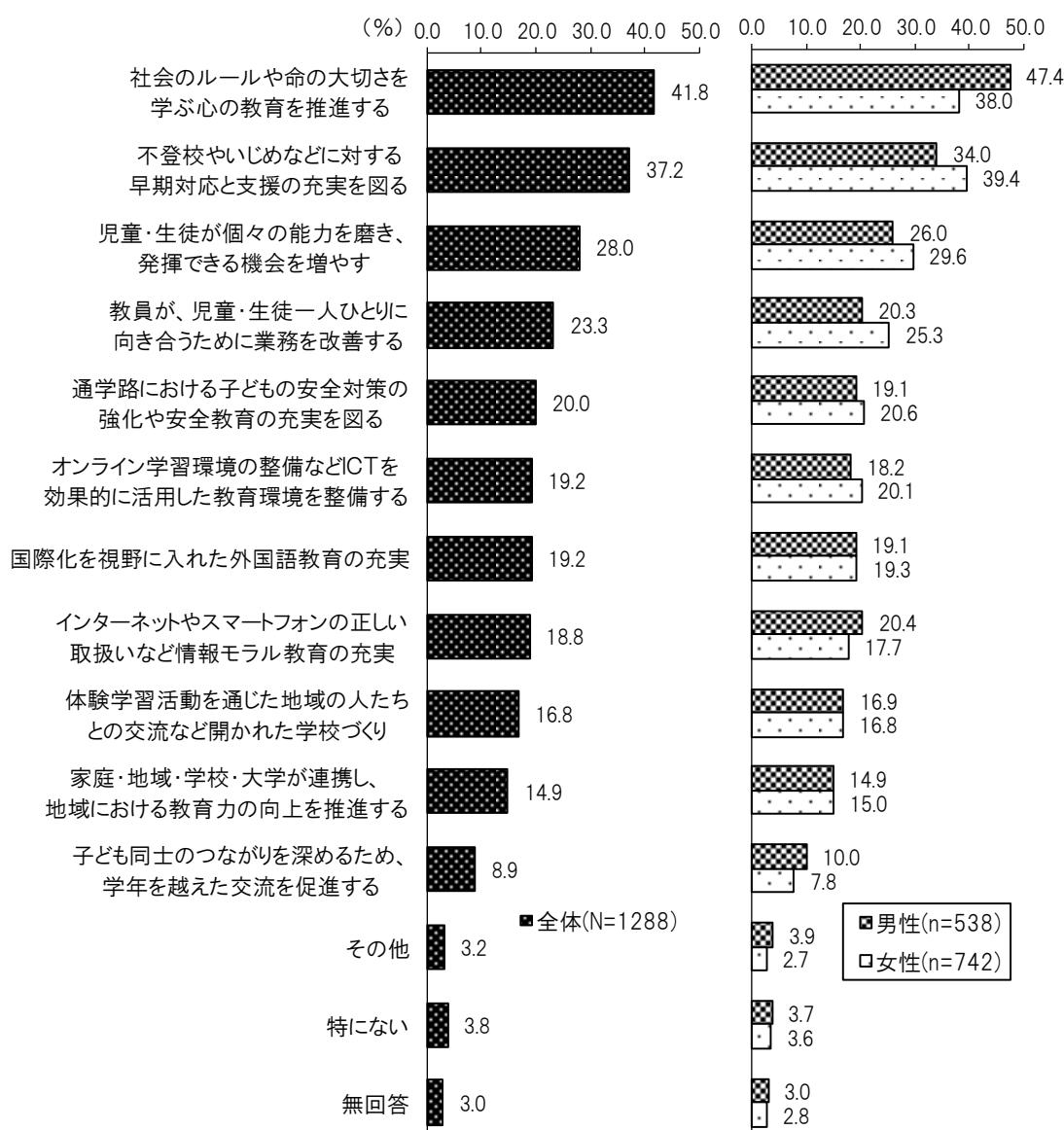
11 学校教育に関して力を入れるべきこと

【学校教育】

問 28 質の高い学校教育を支える環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようにことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

学校教育に関して力を入れるべきことについては、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育を推進する」の割合が41.8%と最も高く、次いで「不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実を図る」(37.2%)、「児童・生徒が個々の能力を磨き、発揮できる機会を増やす」(28.0%)、「教員が、児童・生徒一人ひとりに向き合うために業務を改善する」(23.3%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育を推進する」の割合が高くなっている。



居住地区別では、長尾地区で「インターネットやスマートフォンの正しい取扱いなど情報モラル教育の充実」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「インターネットやスマートフォンの正しい取扱いなど情報モラル教育の充実」、60代以上で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育を推進する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	心社会の教育ルールを推進やする命の大さを学ぶ	対不応と支援の充実などを図るに対する早期	児童で・生きる徒機が個々のや能力を磨き、	児童で・生きる徒機が個々のや能力を磨き、	向教き合がうために・業務を改善ひとりに	の通強化路や安全教の充実のを安圖全の対策	を整備する効果的の充実のを安圖全の対策	Cオントライン学習環境の整備など境	の国際化を視野に入れた外国語教育	のインテリゲンスの充実を視野に入れた外国語教育	りちと体験の学習活動などを開かれた地域学校のづくた	推進し、家庭地・地域地に越えた交換活動を通じた地域学校のづくた	め、子ども同士のつながりを促進する	その他	特にない
全体(N=1288)	41.8	37.2	28.0	23.3	20.0	19.2	19.2	18.8	16.8	14.9	8.9	3.2	3.8		
【居住地区別】															
津田地区(n=236)	41.9	33.1	26.3	25.0	19.1	22.0	20.3	16.9	14.8	16.1	8.5	2.1	4.7		
大川地区(n=282)	38.3	41.1	30.1	24.1	15.2	18.8	17.7	18.8	19.1	13.8	11.0	3.5	3.5		
志度地区(n=237)	40.9	37.6	23.6	21.5	19.8	14.3	21.1	17.7	16.9	15.2	5.9	2.5	5.5		
寒川地区(n=264)	44.7	36.4	29.5	23.9	23.9	18.6	17.0	17.0	16.3	16.3	8.7	4.2	2.7		
長尾地区(n=260)	43.8	37.7	29.6	21.9	21.9	22.7	20.0	23.5	16.9	13.5	9.2	3.5	2.3		
【年齢別】															
29歳以下(n=176)	34.1	42.6	33.0	23.9	14.8	16.5	19.9	27.3	13.1	19.3	9.1	4.0	5.7		
30代(n=209)	34.0	33.5	27.8	22.5	23.9	20.6	24.9	23.9	17.7	15.8	13.9	2.4	3.3		
40代(n=261)	39.5	32.2	26.8	21.1	19.9	23.8	21.1	16.9	16.9	14.9	10.7	4.6	4.2		
50代(n=283)	43.8	37.1	25.4	24.7	16.6	19.4	21.6	18.0	19.8	16.3	5.3	3.2	3.5		
60代(n=153)	51.0	36.6	28.8	22.9	24.2	20.9	12.4	16.3	20.9	13.1	5.9	3.3	1.3		
70歳以上(n=197)	50.3	43.1	27.9	24.4	21.8	13.2	12.2	12.2	9.6	7.6	1.5	4.1			

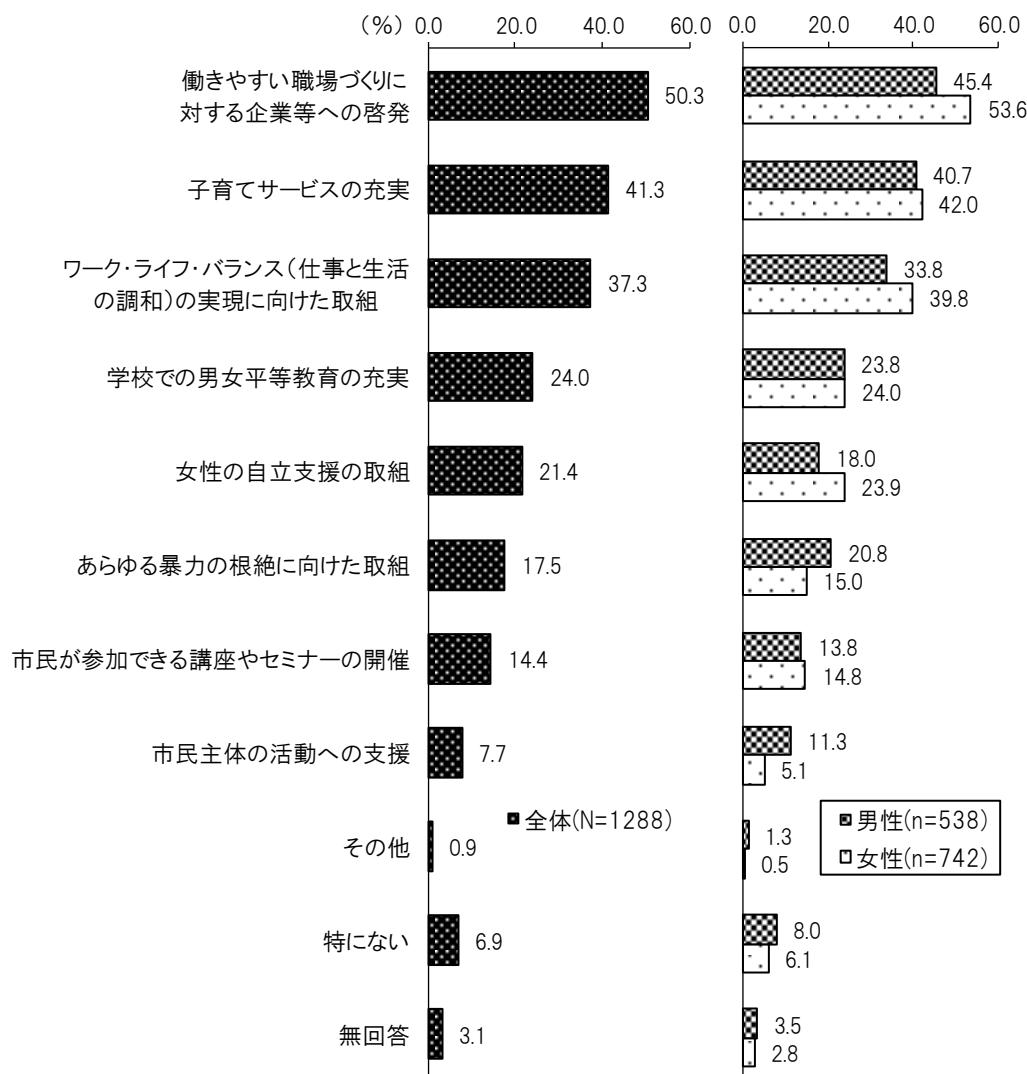
12 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと

【男女共同参画】

問 29 あなたは、男女が性別にかかわりなく家庭、職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくためには、今後、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（○は3つまで）

男女共同参画を推進するために力を入れるべきことについては、「働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発」の割合が50.3%と最も高く、次いで「子育てサービスの充実」(41.3%)、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた取組」(37.3%)、「学校での男女平等教育の充実」(24.0%)、「女性の自立支援の取組」(21.4%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発」「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた取組」などの割合が高くなっている。



居住地区別では、大川地区で「学校での男女平等教育の充実」の割合が他の地区に比べてやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた取組」、30代以下で「子育てサービスの充実」、70歳以上で「市民が参加できる講座やセミナーの開催」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	す働くき企や業す等いへ職の場啓づ発くりに對	子育てサービスの充実	現へ仕向事とた生活の充実ス	ワーカー・ラク・タ・ラのン	学校での男女平等教育の充	女性の自立支援の取組	あらゆる暴力の根絶に向けた取組	市民がの開催できる講座やセ	市民主体の活動への支援	その他	特にない
全体(N=1288)	50.3	41.3	37.3	24.0	21.4	17.5	14.4	7.7	0.9	6.9	
【居住地区別】											
津田地区(n=236)	50.4	38.1	39.0	20.8	17.4	15.7	16.1	9.7	1.3	8.9	
大川地区(n=282)	50.0	43.6	36.5	28.4	23.0	17.4	12.4	5.0	0.0	7.4	
志度地区(n=237)	45.6	36.3	32.1	24.1	21.1	21.1	15.6	7.2	1.7	7.2	
寒川地区(n=264)	53.0	40.9	36.7	23.5	19.3	18.2	14.4	8.7	1.1	6.1	
長尾地区(n=260)	51.9	46.5	42.3	22.3	25.4	15.4	13.8	8.5	0.4	5.0	
【年齢別】											
29歳以下(n=176)	58.5	57.4	46.6	29.5	20.5	13.6	6.8	5.7	1.1	5.7	
30代(n=209)	48.8	54.5	39.2	28.7	23.0	14.4	5.7	5.3	1.0	6.7	
40代(n=261)	45.2	45.6	37.2	21.5	20.3	14.9	11.1	5.7	1.1	9.2	
50代(n=283)	56.5	33.6	40.6	18.7	20.1	22.3	19.1	5.7	0.7	6.4	
60代(n=153)	50.3	36.6	34.6	22.9	17.0	18.3	18.3	11.8	0.0	3.9	
70歳以上(n=197)	42.6	23.4	23.9	25.9	27.4	20.3	24.9	14.7	1.0	7.6	

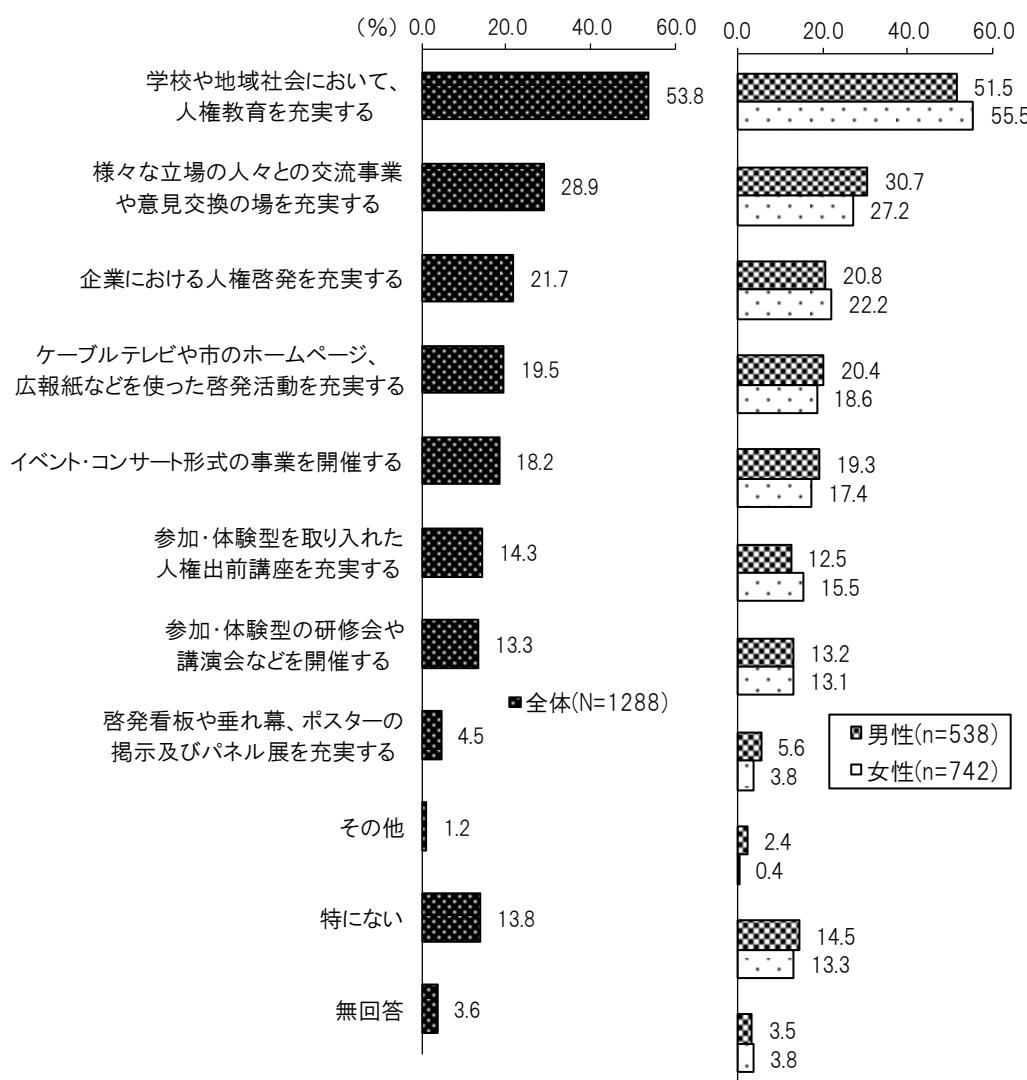
13 人権を大切にするために力を入れるべきこと

【人権教育・啓発活動の推進】

問 30 「一人ひとりの人権が大切にされる、住みやすいさぬき市」を実現するために、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

人権を大切にするために力を入れるべきことについては、「学校や地域社会において、人権教育を充実する」の割合が53.8%と最も高く、次いで「様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場を充実する」(28.9%)、「企業における人権啓発を充実する」(21.7%)、「ケーブルテレビや市のホームページ、広報紙などを使った啓発活動を充実する」(19.5%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「学校や地域社会において、人権教育を充実する」の割合がやや高くなっている。



居住地区別では大きな差はみられないが、年齢別では 60 代で「学校や地域社会において、人権教育を充実する」、60 代以上で「ケーブルテレビや市のホームページ、広報紙などを使った啓発活動を充実する」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	教育校をや充地実域する社会において、人権	や様々な立場の人々との交換の場を充実する交流事業	企業における人権啓発を充実す	発活動を充実する広報紙や市のホームページなどを使つた啓	ケーブルテレビや市のホームページなどを使つた啓	業を開催するコンサート形式の事	イベント・コンサート形式の事	出前講座を充実する	参加・体験型を取り入れた人権	などを開催する研修会や講演会	啓発及び看板や垂れ幕、ネル展を充実する	その他	特にない
全体(N=1288)	53.8	28.9	21.7	19.5	18.2	14.3	13.3	4.5	1.2	13.8			
【居住地区別】													
津田地区(n=236)	50.8	27.5	23.3	20.3	19.5	12.7	14.0	3.8	1.3	12.3			
大川地区(n=282)	54.3	26.2	21.6	22.0	17.7	18.4	14.5	5.7	1.4	13.5			
志度地区(n=237)	53.6	32.9	24.1	13.9	17.3	9.7	12.7	4.2	2.5	13.1			
寒川地区(n=264)	54.9	30.7	17.4	19.7	18.2	14.8	9.5	4.2	1.1	15.9			
長尾地区(n=260)	54.6	26.5	22.7	20.4	18.5	14.6	15.4	4.6	0.0	14.2			
【年齢別】													
29歳以下(n=176)	50.6	26.1	26.1	14.8	25.0	17.6	11.4	6.3	1.1	16.5			
30代(n=209)	51.2	27.3	20.1	15.3	23.0	16.7	9.6	5.3	1.9	15.3			
40代(n=261)	48.7	25.3	19.9	16.1	20.7	9.6	14.2	2.3	1.5	17.6			
50代(n=283)	56.9	29.7	26.5	19.4	15.5	13.1	14.1	4.6	1.1	13.1			
60代(n=153)	63.4	33.3	23.5	25.5	14.4	18.3	9.8	4.6	1.3	7.2			
70歳以上(n=197)	54.8	33.0	12.7	27.4	10.7	13.7	18.8	5.1	0.5	10.7			

基本目標V 人と地球にやさしいまち

環境などに関する内容です。

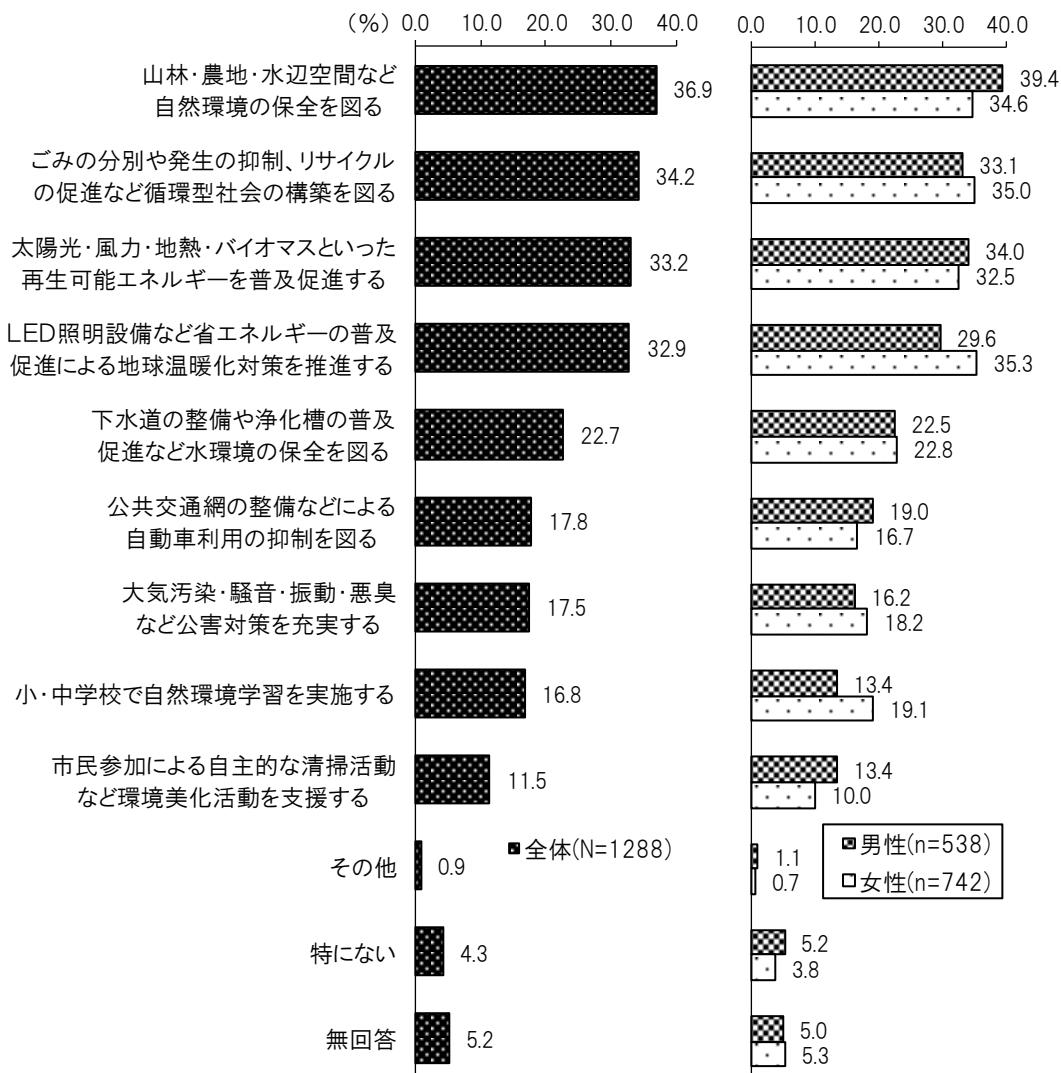
14 環境保全に関して力を入れるべきこと

【環境保全】

問 31 人と地球にやさしい環境づくりに向けた取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

環境保全に関して力を入れるべきことについては、「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全を図る」の割合が36.9%と最も高く、次いで「ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進など循環型社会の構築を図る」(34.2%)、「太陽光・風力・地熱・バイオマスといった再生可能エネルギーを普及促進する」(33.2%)、「LED照明設備など省エネルギーの普及促進による地球温暖化対策を推進する」(32.9%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「LED照明設備など省エネルギーの普及促進による地球温暖化対策を推進する」の割合が高くなっている。



居住地区別では、大川地区で「小・中学校で自然環境学習を実施する」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、60代で「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全を図る」、60代以上で「ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進など循環型社会の構築を図る」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	環境山林の・農地・水辺空間など自然	構築を図る促進や発生の循環型社会のサ	ごみの分別を促進する再生の抑制、社会のサ	太陽光を普及促進する可再生能源・エネルギー	化対策を推進する地熱・バイオガス	LED照明設備による地球温暖化の抑制	下水道の整備による省エネルギー	公共交通網の整備による省エネルギー	公共交通用の抑制による省エネルギー	大気汚染対策による省エネルギー	公害対策による騒音・振動の抑制	施設による充実	小・中学校で自然環境学習を実施する	市民など環境美化活動を支援する清掃活動	その他
全体(N=1288)	36.9	34.2	33.2	32.9	22.7	17.8	17.5	16.8	11.5	0.9	4.3				
【居住地区別】															
津田地区(n=236)	34.7	30.1	33.9	31.8	18.6	18.6	16.1	13.1	12.7	0.4	6.4				
大川地区(n=282)	38.7	36.9	34.8	30.5	20.2	17.0	18.1	22.3	12.8	0.4	3.2				
志度地区(n=237)	33.8	32.9	27.8	32.1	23.2	19.4	18.1	13.9	12.7	1.7	3.8				
寒川地区(n=264)	39.0	34.8	36.0	34.5	24.2	16.7	14.8	18.6	8.7	0.4	4.9				
長尾地区(n=260)	36.5	36.2	32.3	35.0	26.9	16.5	19.6	15.0	10.4	1.5	3.8				
【年齢別】															
29歳以下(n=176)	30.7	34.7	38.6	40.3	22.2	14.8	23.3	22.2	11.9	0.6	4.5				
30代(n=209)	31.1	26.8	28.2	34.9	25.8	14.4	20.1	23.9	8.6	0.5	5.7				
40代(n=261)	35.2	34.9	33.0	28.7	21.5	19.9	15.3	18.0	9.6	0.8	5.7				
50代(n=283)	39.6	29.7	38.2	36.7	21.9	20.5	17.0	11.7	9.9	1.8	4.2				
60代(n=153)	45.8	40.5	39.2	28.1	26.8	17.6	15.0	9.8	13.1	0.7	2.6				
70歳以上(n=197)	39.6	42.1	22.8	27.9	19.3	16.2	13.7	15.7	17.3	0.5	2.5				

基本目標VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち

行政の取組や市民参画などに関する内容です。

15 住民と行政の協働について

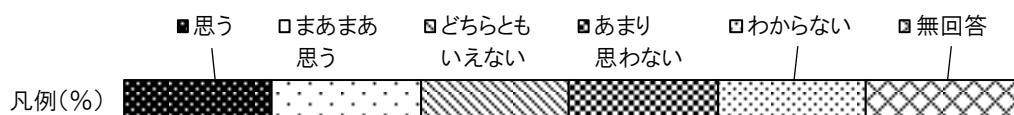
【市民協働】

問32 さぬき市では、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めていると思いますか。
(○は1つ)

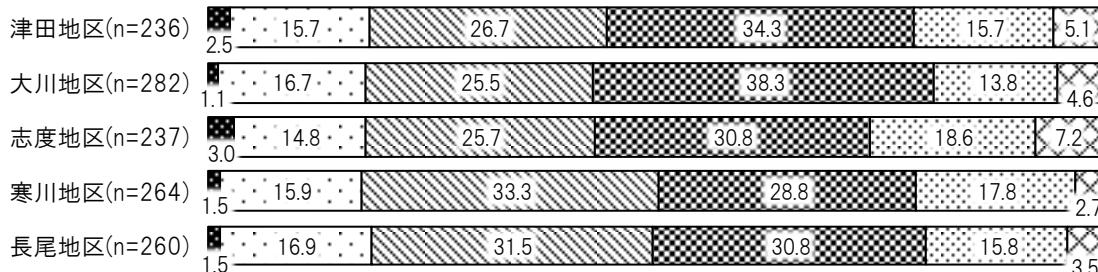
住民と行政の協働については、協働してまちづくりに取り組めていると「思う」が1.9%、「まあまあ思う」が16.0%で、合計17.9%が『思う』と回答している。一方、「あまり思わない」は32.8%、「どちらともいえない」は28.4%となっている。

居住地区別では、大川地区で「あまり思わない」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「わからない」の割合がやや高くなっている。



【居住地区別】



【性別】

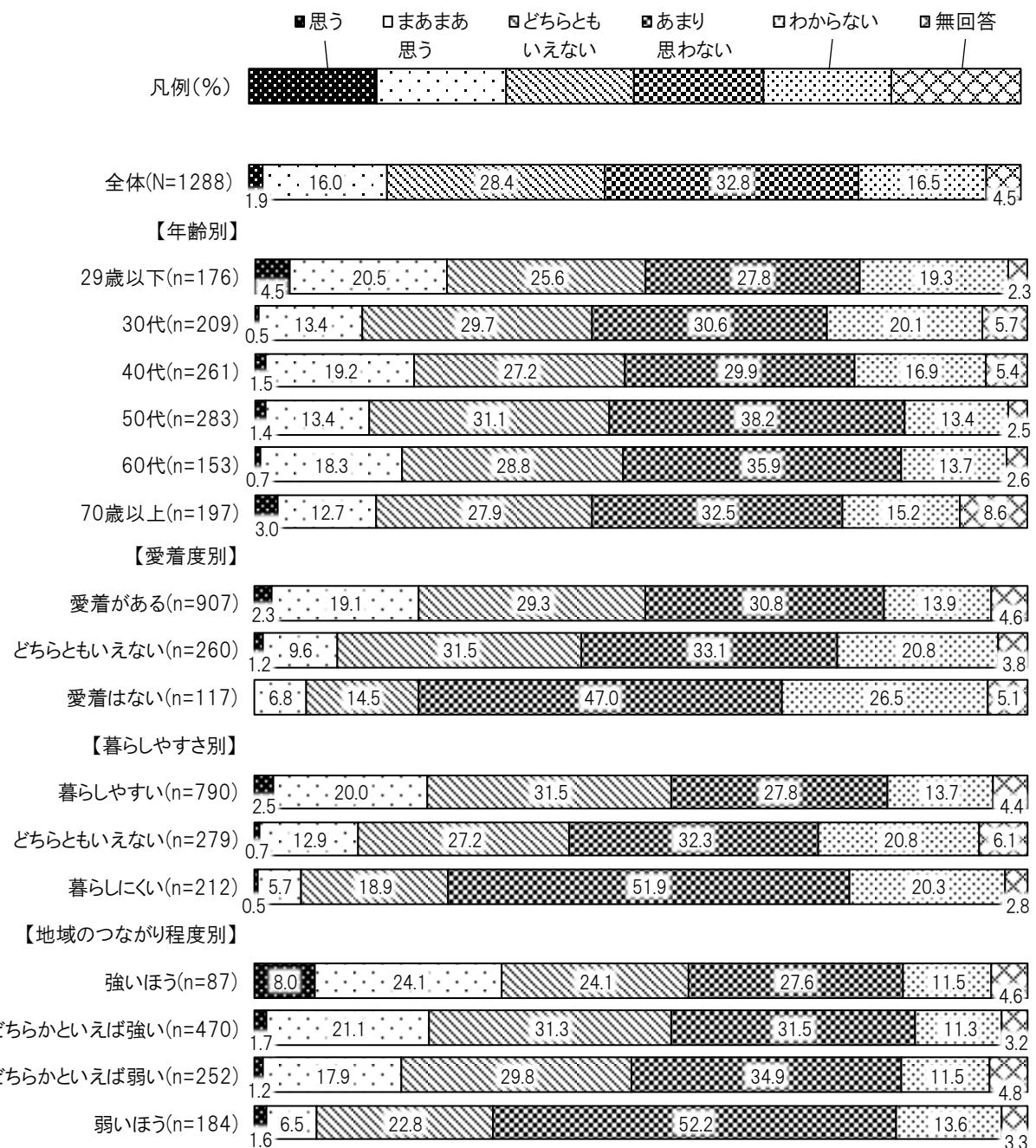


年齢別では、29歳以下で『思う（合計）』の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

愛着度別では、愛着がある層で『思う（合計）』、愛着はない層で「あまり思わない」の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

暮らしやすさ別では、暮らしやすいと感じている層で『思う（合計）』、暮らしにくいと感じている層で「あまり思わない」の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

地域のつながり程度別では、強いと感じている層ほど『思う（合計）』の割合が高く、弱いと感じている層で「あまり思わない」の割合が高くなっている。



16 人口減少に対する不安

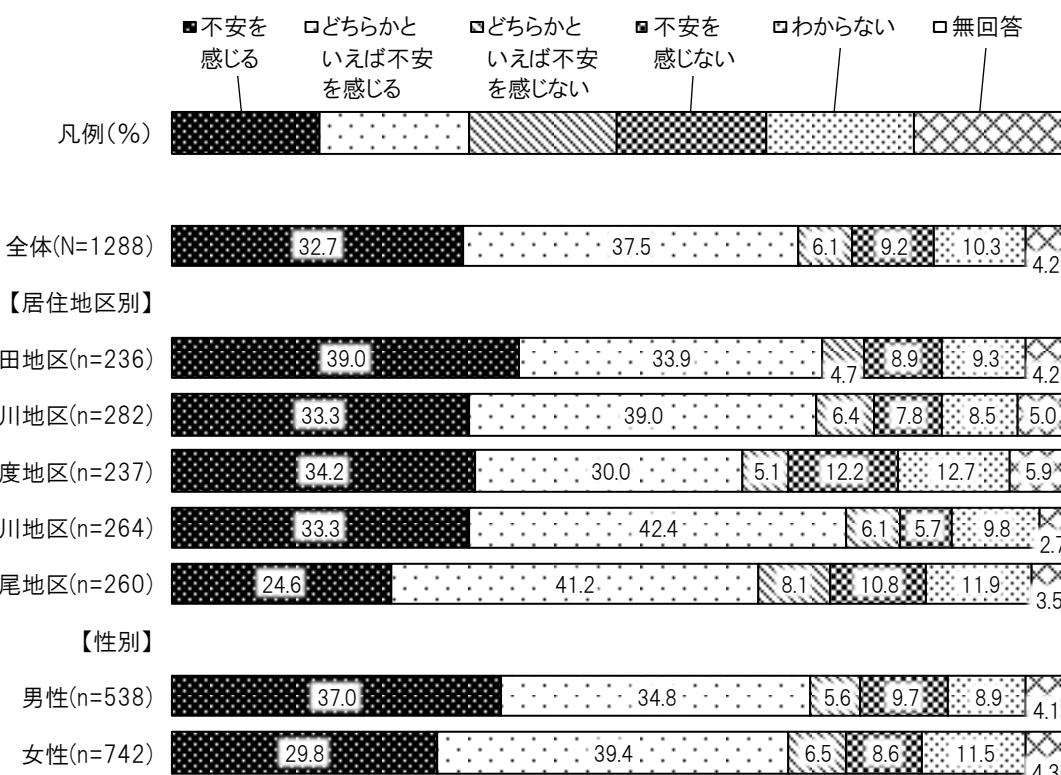
【人口対策】

問33 あなたは、さぬき市の人口が減少することに不安を感じていますか。（○は1つ）

人口減少に対する不安については、「不安を感じる」が32.7%、「どちらかといえば不安を感じる」が37.5%で、合計約7割（70.2%）が『不安を感じる』と回答している。一方、「どちらかといえば感じない」（6.1%）、「不安を感じない」（9.2%）の合計は15.3%であった。

居住地区別では、長尾地区で「不安を感じる」の割合が他の地区に比べて低くなっている。

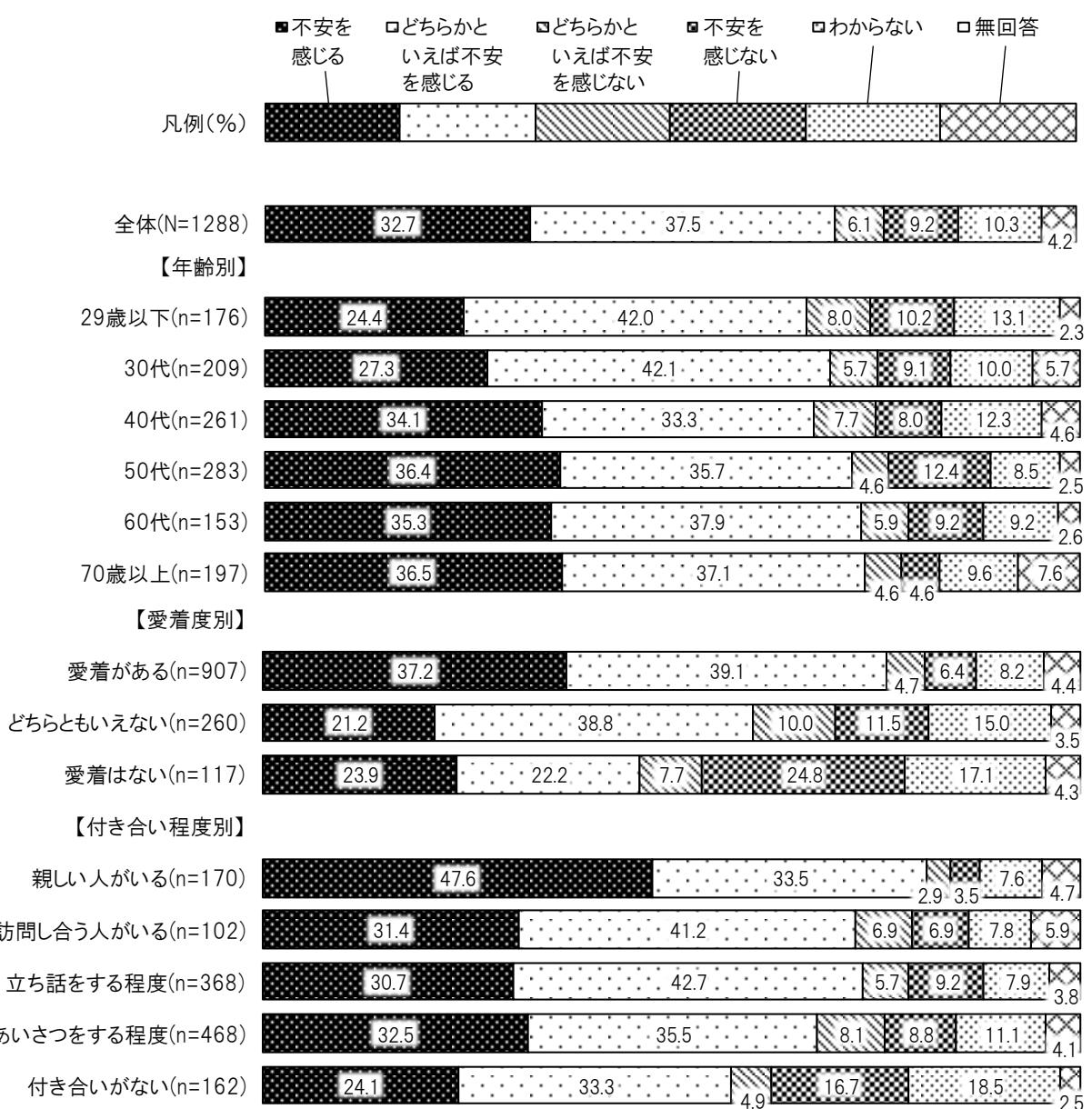
性別では、男性は女性に比べ「不安を感じる」の割合が高くなっている。



年齢別では、30代以下で「不安を感じる」の割合が他の年齢層に比べて低くなっている。

愛着度別では、愛着がある層で「不安を感じる」、愛着はない層で「不安を感じない」の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

付き合い程度別では、親しい人がいる層で「不安を感じる」の割合が他の層を大きく上回っている。



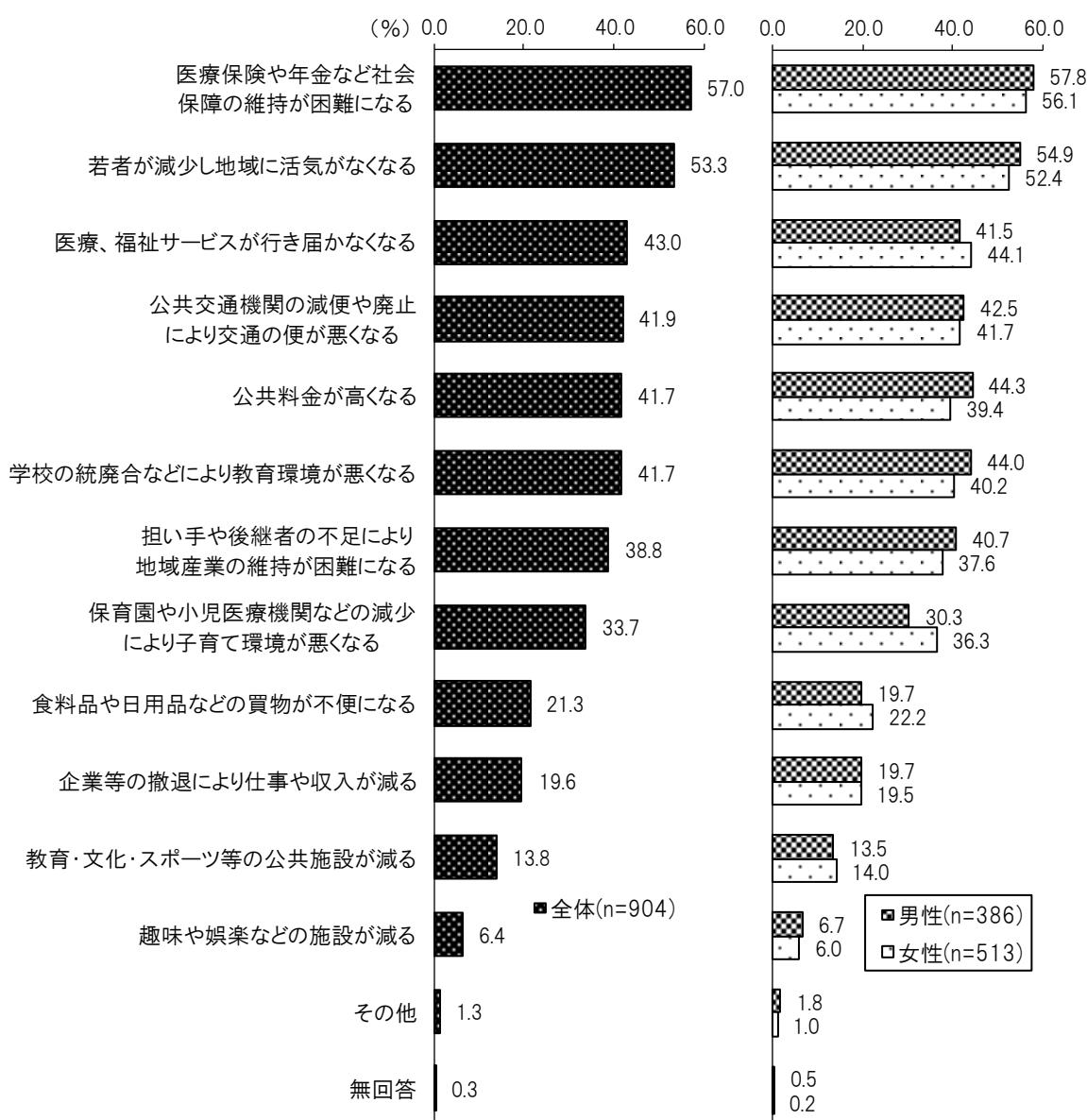
17 人口減少により不安に感じること

【問33で「1」「2」と答えた方におたずねします】

問34 あなたは、どのような不安を感じていますか。 (○は5つまで)

人口減少により不安に感じることについては、「医療保険や年金など社会保障の維持が困難になる」の割合が57.0%と最も高く、次いで「若者が減少し地域に活気がなくなる」(53.3%)、「医療、福祉サービスが行き届かなくなる」(43.0%)、「公共交通機関の減便や廃止により交通の便が悪くなる」(41.9%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「保育園や小児医療機関などの減少により子育て環境が悪くなる」の割合が高くなっている。



居住地区別では、津田地区で「学校の統廃合などにより教育環境が悪くなる」、長尾地区で「医療、福祉サービスが行き届かなくなる」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、30代以下で「保育園や小児医療機関などの減少により子育て環境が悪くなる」、30代で「学校の統廃合などにより教育環境が悪くなる」、50代で「公共料金が高くなる」、70歳以上で「食料品や日用品などの買物が不便になる」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

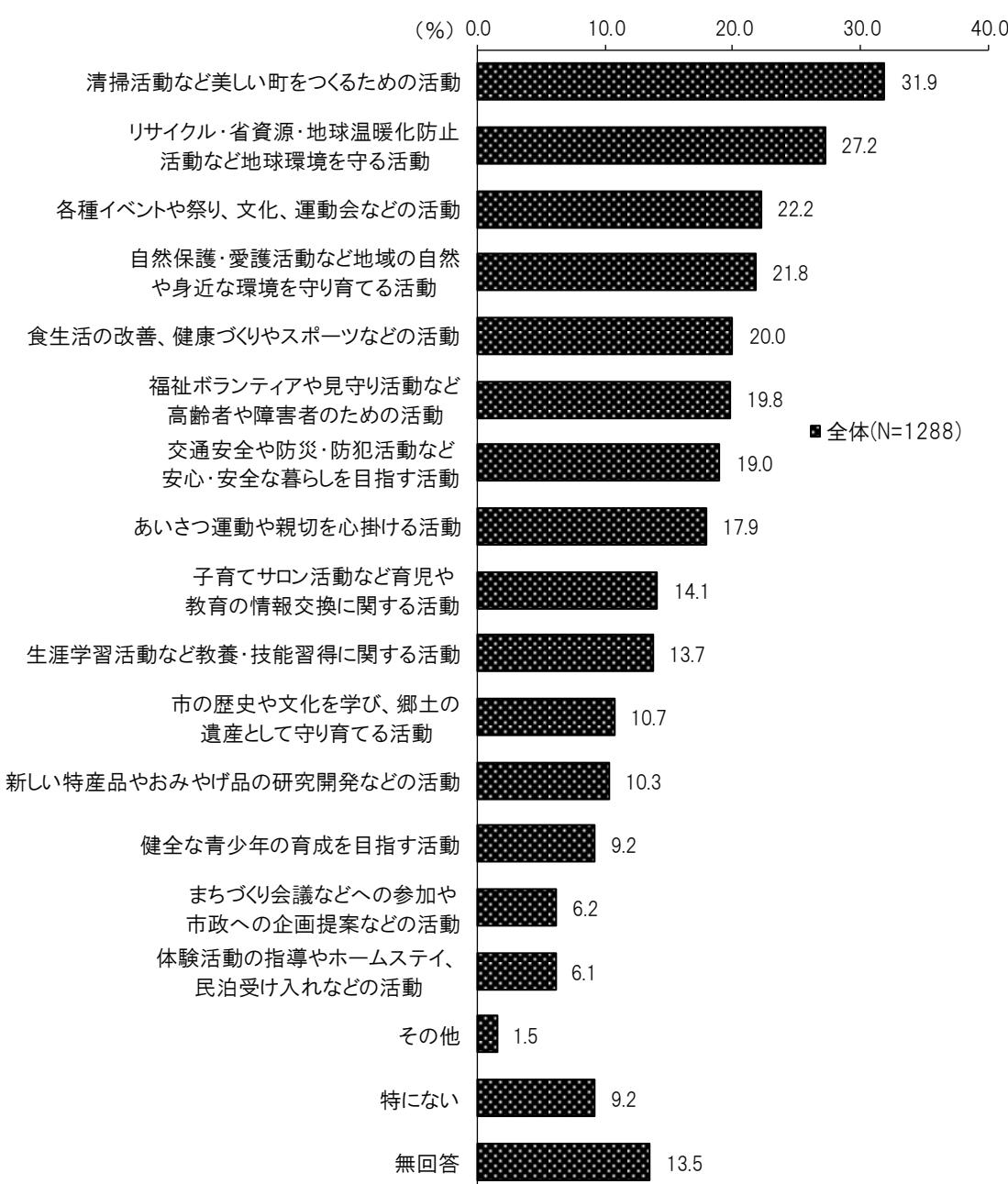
単位 (%)	の医療持保が険や難年になるなど社会保障	く若者が減少し地域に活気がな	か医療、くる福祉	よ公共交通機関の悪く便やる廃止に	公共料金が高くなる	環境が悪くなら	学校の統廃合などにより教育	地域産業やの後継者	な減保育園や	不食料品や日用品	入企が減等の撤退に	共教育施設が減る	趣味や娯楽などの施設が減る	その他
全体(n=904)	57.0	53.3	43.0	41.9	41.7	41.7	38.8	33.7	21.3	19.6	13.8	6.4	1.3	
【居住地区別】														
津田地区(n=172)	52.3	51.2	41.3	48.3	40.7	52.3	33.7	26.7	31.4	15.7	11.0	6.4	0.6	
大川地区(n=204)	57.4	52.0	44.1	39.7	42.6	35.8	45.1	31.4	24.0	25.0	14.7	7.4	0.5	
志度地区(n=152)	48.7	57.9	41.4	48.0	36.2	43.4	30.9	32.9	23.7	22.4	13.2	6.6	3.3	
寒川地区(n=200)	64.0	57.5	37.5	34.5	44.0	36.5	41.0	35.5	11.0	15.0	14.0	5.5	1.5	
長尾地区(n=171)	59.6	48.0	51.5	42.1	43.9	42.1	41.5	41.5	18.1	19.3	16.4	6.4	1.2	
【年齢別】														
29歳以下(n=117)	45.3	57.3	35.0	39.3	37.6	47.9	31.6	47.9	17.9	19.7	22.2	12.8	1.7	
30代(n=145)	52.4	45.5	40.7	28.3	43.4	54.5	33.1	44.1	17.9	15.9	19.3	7.6	2.8	
40代(n=176)	54.0	55.1	45.5	40.9	39.8	42.0	38.6	33.5	17.6	21.6	11.9	6.8	0.6	
50代(n=204)	62.3	52.0	46.1	44.6	49.5	35.3	39.7	26.0	24.0	26.0	13.2	3.9	2.0	
60代(n=112)	62.5	54.5	47.3	47.3	33.9	41.1	43.8	35.7	14.3	17.0	8.9	5.4	0.9	
70歳以上(n=145)	63.4	57.2	42.1	50.3	40.7	31.7	45.5	21.4	34.5	13.8	8.3	4.1	0.0	

18 まちづくりに関する活動への参加意向

【市民参画】

問 35 誰もが住みやすいと感じられるまちづくりを進めていくためには、市民の皆さんの積極的な参加が必要です。あなたは、どのような活動に協力・参加したい（できる）と思いますか。（○は5つまで）

まちづくりに関する活動への参加意向については、「清掃活動など美しい町をつくるための活動」の割合が31.9%と最も高く、次いで「リサイクル・省資源・地球温暖化防止活動など地球環境を守る活動」（27.2%）、「各種イベントや祭り、文化、運動会などの活動」（22.2%）、「自然保護・愛護活動など地域の自然や身近な環境を守り育てる活動」（21.8%）の順となっている。



居住地区別では、長尾地区で「リサイクル・省資源・地球温暖化防止活動など地球環境を守る活動」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は男性に比べ「子育てサロン活動など育児や教育の情報交換に関する活動」の割合が高くなっている。

単位 (%)	つくる活動めなど活動美しい町を	球環境温を守る止・活動動資源など・地地	化各種運動イベン大会などやの祭り、動文	を地守りの保育自然の保護	り食生活スボの改善、な・の健康活	者福祉の活動ボラ・ジン活動	し動交通をなど目指安全	掛けいさつ運動や活動や親切を心	する児子や育て活動の情報活動交換など関育	技能生涯学習活動に関する活動
全体(N=1288)	31.9	27.2	22.2	21.8	20.0	19.8	19.0	17.9	14.1	13.7
【居住地区別】										
津田地区(n=236)	29.7	22.9	23.7	20.3	22.9	19.5	18.2	15.7	9.7	13.1
大川地区(n=282)	36.9	27.7	20.9	26.6	19.1	19.9	22.7	16.7	14.9	14.5
志度地区(n=237)	30.8	25.7	24.9	21.9	18.6	21.9	19.8	16.9	13.5	12.7
寒川地区(n=264)	33.0	26.9	21.2	21.2	15.9	19.7	18.2	20.8	14.0	12.9
長尾地区(n=260)	28.1	32.3	20.8	18.5	23.5	18.8	16.2	19.6	17.7	15.0
【性別】										
男性(n=538)	31.4	24.3	24.9	24.3	19.1	19.5	20.8	17.5	8.4	12.8
女性(n=742)	32.2	29.1	20.1	19.9	20.4	20.1	17.7	18.3	18.3	14.3

単位 (%)	て郷市る土の歴活動遺史産やと文化してを守学りび、育	品新のし研究特開産品なやどおのみ活や動げ	指健全な活動青少年の育成を目	な参まちのやづくり活動政くりへ会の議企など提案への案	どス体のテ験活動イ、動民の泊指受けや入ホーム	その他	特にない
全体(N=1288)	10.7	10.3	9.2	6.2	6.1	1.5	9.2
【居住地区別】							
津田地区(n=236)	11.0	11.9	7.6	5.5	8.9	1.7	11.4
大川地区(n=282)	7.4	8.9	9.9	5.7	6.4	0.4	8.5
志度地区(n=237)	12.7	8.4	9.7	8.9	5.5	3.4	9.3
寒川地区(n=264)	10.6	10.2	7.6	3.8	5.3	1.9	9.8
長尾地区(n=260)	11.9	12.3	11.2	7.7	4.6	0.4	7.3
【性別】							
男性(n=538)	13.2	10.2	10.4	8.2	5.2	1.7	10.8
女性(n=742)	8.8	10.4	8.5	4.9	6.7	1.3	8.1

年齢別では、30代以下で「各種イベントや祭り、文化、運動会などの活動」「子育てサロン活動など育児や教育の情報交換に関する活動」、60代で「自然保護・愛護活動など地域の自然や身近な環境を守り育てる活動」、70歳以上で「あいさつ運動や親切を心掛ける活動」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	つくる活動めのど活動しい町を	球環境を守る活動止・活動資源など・地地	化各種運動イベントやの祭り、動文	を地守りの保育自然・の身護活動近活動環境など	り食生活の改善、な健康の康活づ動く	者り福祉の活動ボラーチューナーの活動高齢者や障見害守	し動交をな通目ど安全指安全心や活動安災全・な防暮犯ら活	掛けいさつ運動や親切を心	す児子や育て活動の口情報活動交換など関育	技能生涯習得活動に関する活動など教動養・
全体(N=1288)	31.9	27.2	22.2	21.8	20.0	19.8	19.0	17.9	14.1	13.7

【年齢別】

29歳以下(n=176)	27.3	21.6	35.8	17.6	17.6	19.9	15.9	13.1	21.6	11.9
30代(n=209)	27.3	27.3	34.9	20.6	19.1	17.7	13.9	18.7	23.0	12.0
40代(n=261)	31.0	26.1	24.9	15.7	19.9	17.6	15.3	17.2	14.2	11.5
50代(n=283)	32.5	28.6	16.6	22.3	23.7	19.1	20.5	15.2	11.7	17.0
60代(n=153)	37.3	31.4	9.2	34.0	17.0	22.2	22.2	16.3	10.5	20.3
70歳以上(n=197)	36.5	28.4	10.7	23.9	19.3	23.9	28.4	27.9	4.1	9.1

単位 (%)	て郷市る土の歴活動遺史産やと文化してを守学りび、育	品新のし研い究特開産品などおのみ活や動げ	指健全な動青少年人の育成を目	な参まど加ちのやづ活市く動政りへ会の議企など画提案の	どス体テ驗活イ、動民の泊指受けや入ホれーナム	その他	特にない
全体(N=1288)	10.7	10.3	9.2	6.2	6.1	1.5	9.2

【年齢別】

29歳以下(n=176)	8.5	17.6	12.5	6.3	13.1	0.6	12.5
30代(n=209)	9.6	10.0	7.7	5.7	8.6	1.4	7.2
40代(n=261)	9.2	10.7	8.8	6.5	5.4	1.9	11.5
50代(n=283)	11.7	12.4	8.8	7.1	4.6	2.1	10.6
60代(n=153)	12.4	7.2	9.8	7.2	2.6	2.6	5.9
70歳以上(n=197)	12.2	3.0	8.6	4.6	3.0	0.0	6.1

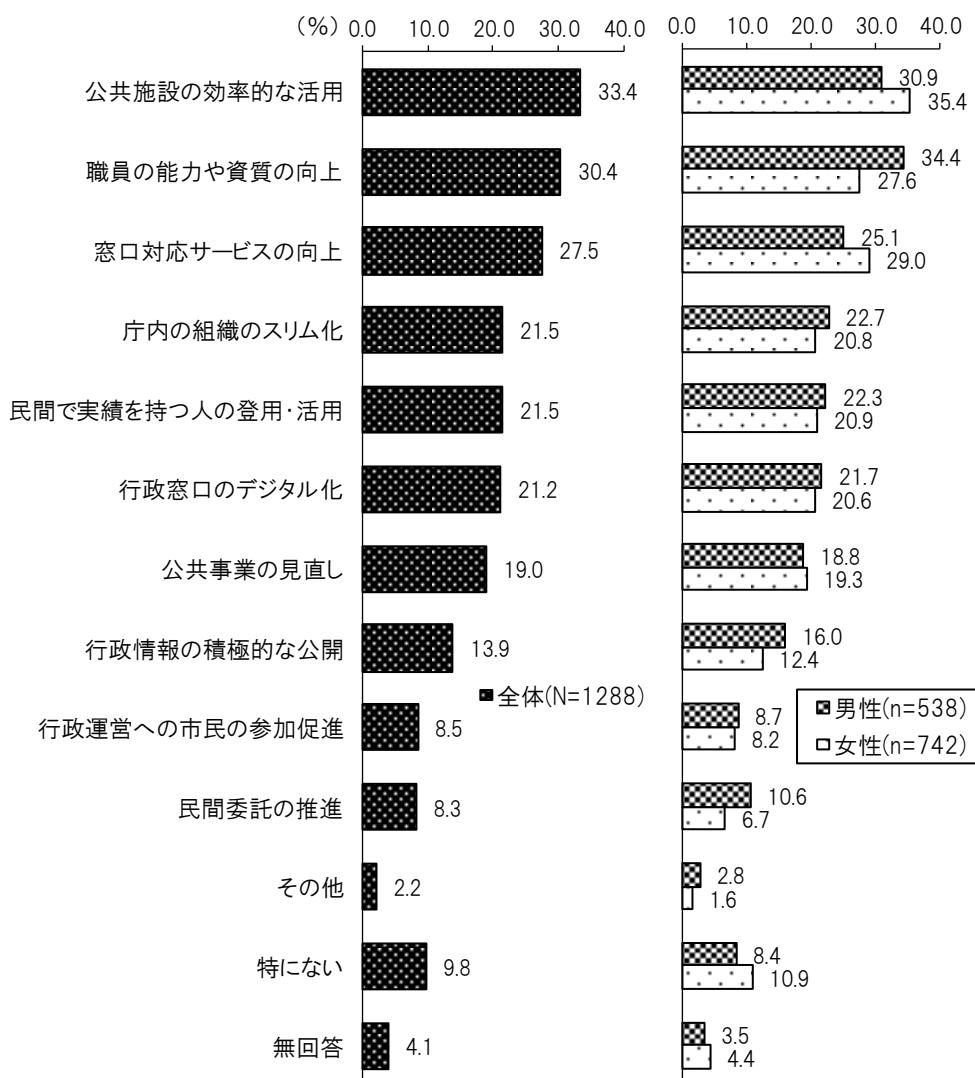
19 今後取り組むべき行政運営

【行政運営】

問 36 あなたは、さぬき市の行政運営について、今後、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。 (○は3つまで)

今後取り組むべき行政運営については、「公共施設の効率的な活用」の割合が 33.4% と最も高く、次いで「職員の能力や資質の向上」 (30.4%) 、「窓口対応サービスの向上」 (27.5%) 、「庁内の組織のスリム化」「民間で実績を持つ人の登用・活用」 (各 21.5%) の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「職員の能力や資質の向上」の割合が高くなっている。



居住地区別では、大川地区で「民間委託の推進」の割合が他の地区に比べて高くなっている。

年齢別では、60代で「行政情報の積極的な公開」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	公共施設の効率的な活用	職員の能力や資質の向上	窓口対応サービスの向上	府内の組織のスリム化	活用で実績を持つ人の登用	行政窓口のデジタル化	公共事業の見直し	行政情報の積極的な公開	行政運営への市民の参加促進	民間委託の推進	その他	特にない
全体(N=1288)	33.4	30.4	27.5	21.5	21.5	21.2	19.0	13.9	8.5	8.3	2.2	9.8
【居住地区別】												
津田地区(n=236)	34.3	33.1	29.7	19.9	23.7	20.3	15.7	13.1	5.5	5.9	0.4	11.9
大川地区(n=282)	35.5	34.0	25.2	21.6	22.3	19.5	19.1	14.5	7.1	13.1	2.1	10.3
志度地区(n=237)	30.8	21.1	20.3	23.2	20.3	24.5	21.9	13.1	11.4	7.2	2.1	10.1
寒川地区(n=264)	34.5	34.1	30.3	20.8	23.1	18.2	16.7	13.3	8.3	6.4	3.0	9.1
長尾地区(n=260)	31.9	29.6	30.8	21.9	18.1	23.5	21.9	15.0	10.0	8.5	2.7	8.1
【年齢別】												
29歳以下(n=176)	34.1	27.3	26.1	13.6	11.4	26.1	18.8	11.4	10.2	8.0	2.8	14.2
30代(n=209)	31.6	30.6	24.4	17.7	14.8	27.8	18.2	13.4	6.2	9.1	1.0	14.8
40代(n=261)	32.2	30.3	24.1	22.6	25.7	23.4	17.2	12.3	6.9	8.8	3.4	9.6
50代(n=283)	35.7	33.9	29.3	23.3	27.2	23.0	22.3	12.4	11.0	8.8	2.5	6.0
60代(n=153)	37.9	29.4	32.7	26.1	20.9	13.7	17.6	24.2	8.5	7.8	1.3	5.9
70歳以上(n=197)	29.4	29.9	28.9	24.9	24.4	10.2	18.8	13.7	7.6	6.6	1.0	9.1

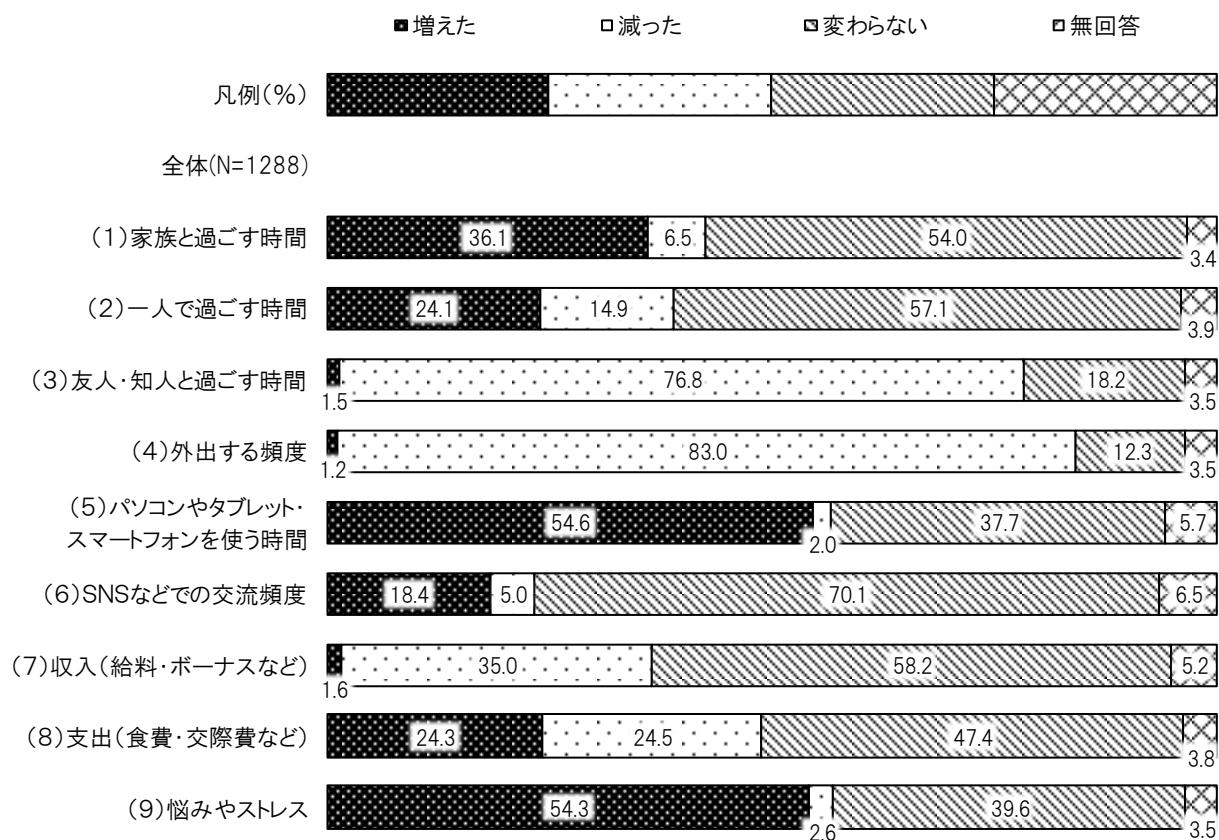
【5】新たな日常（新しい生活様式等への対応）について

1 感染症の拡大による生活への影響

問 37 新型コロナウイルス感染症の拡大による、あなたの生活への影響について、次にあげる項目それぞれについてお答えください。（○は1つずつ）

感染症の拡大による生活への影響については、「増えた」の割合が高い順に「（5）パソコンやタブレット・スマートフォンを使う時間」（54.6%）、「（9）悩みやストレス」（54.3%）、「（1）家族と過ごす時間」（36.1%）となっている。

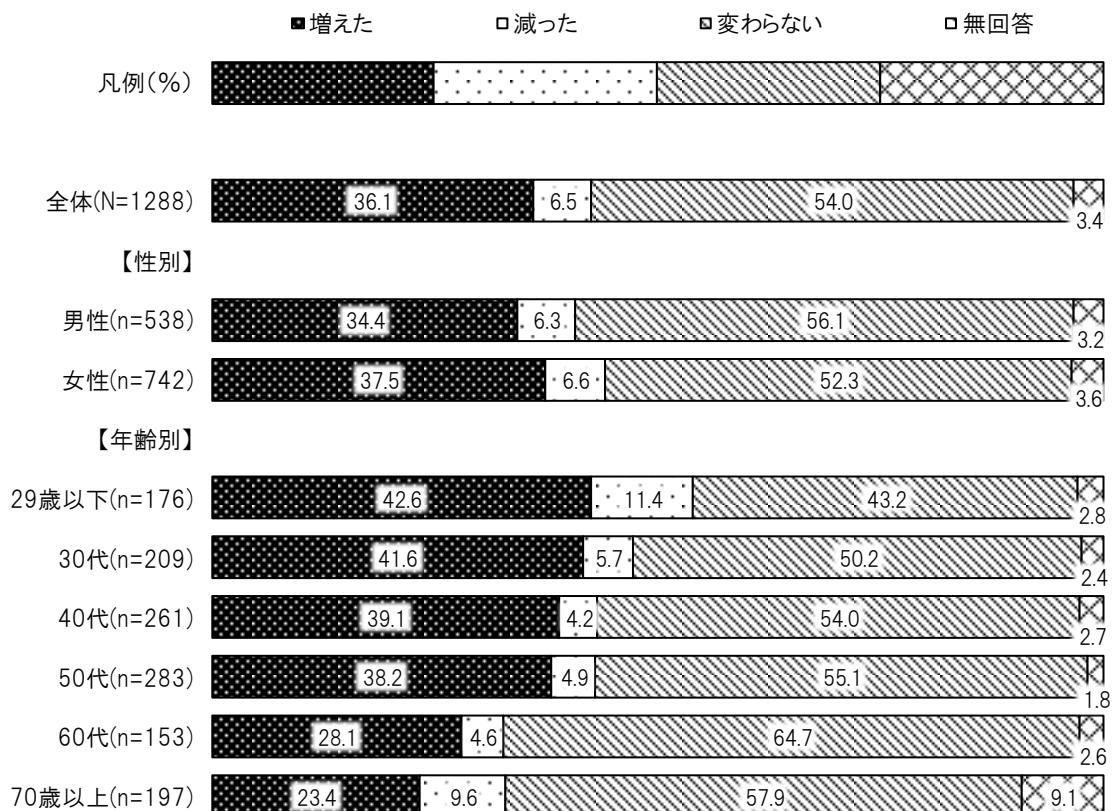
一方、「減った」の割合が高い順に「（4）外出する頻度」（83.0%）、「（3）友人・知人と過ごす時間」（76.8%）となっている。



(1) 家族と過ごす時間

家族と過ごす時間については、「増えた」が36.1%、「減った」が6.5%、「変わらない」が54.0%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では50代以下で「増えた」の割合が高くなっている。

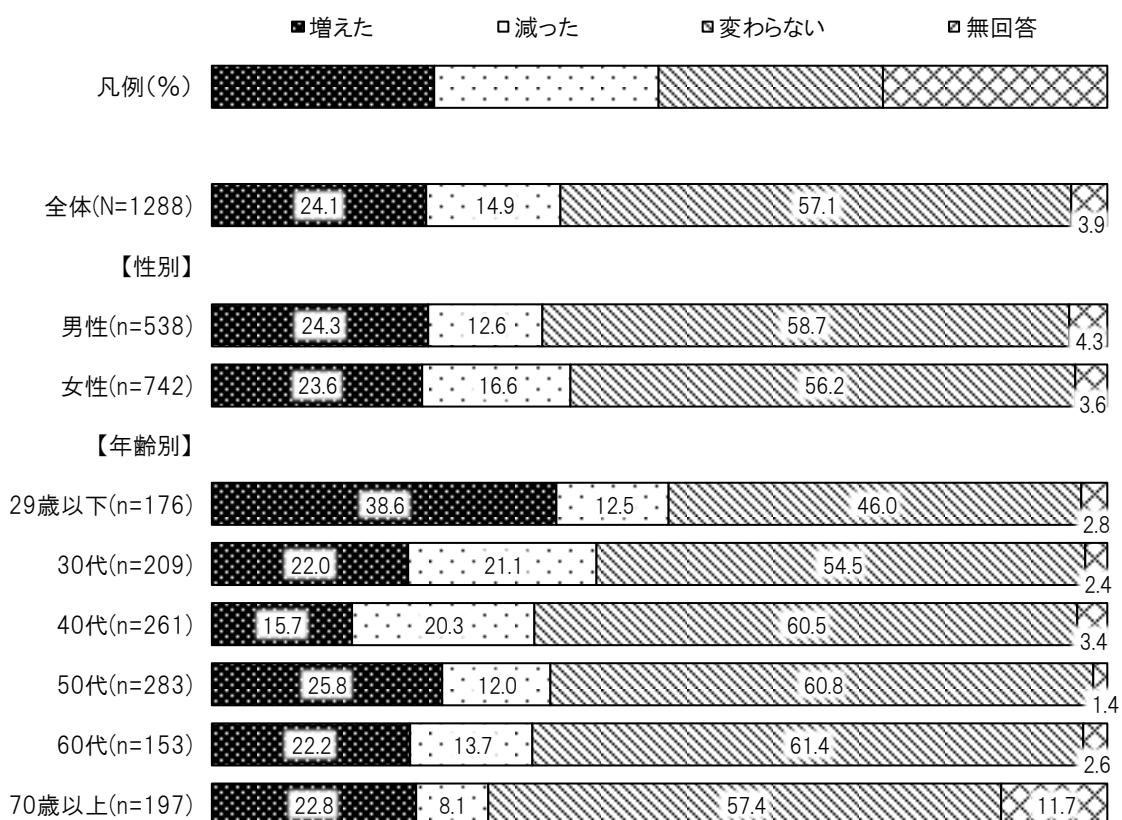


(2) 一人で過ごす時間

一人で過ごす時間については、「増えた」が24.1%、「減った」が14.9%、「変わらない」が57.1%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「減った」の割合がやや高くなっている。

年齢別では、29歳以下で「増えた」、30~40代で「減った」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

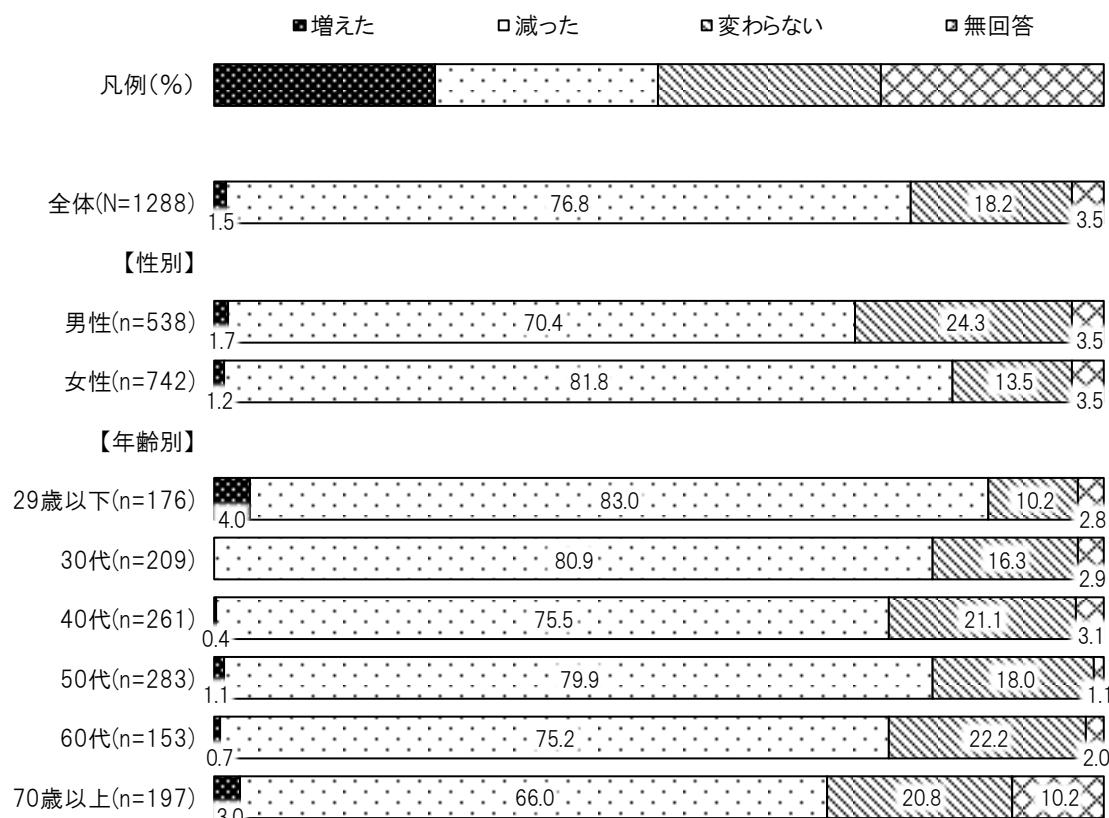


(3) 友人・知人と過ごす時間

友人・知人と過ごす時間については、「増えた」が 1.5%、「減った」が 76.8%、「変わらない」が 18.2%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「減った」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、30 代以下や 50 代で「減った」の割合が他の年齢層に比べてやや高くなっている。

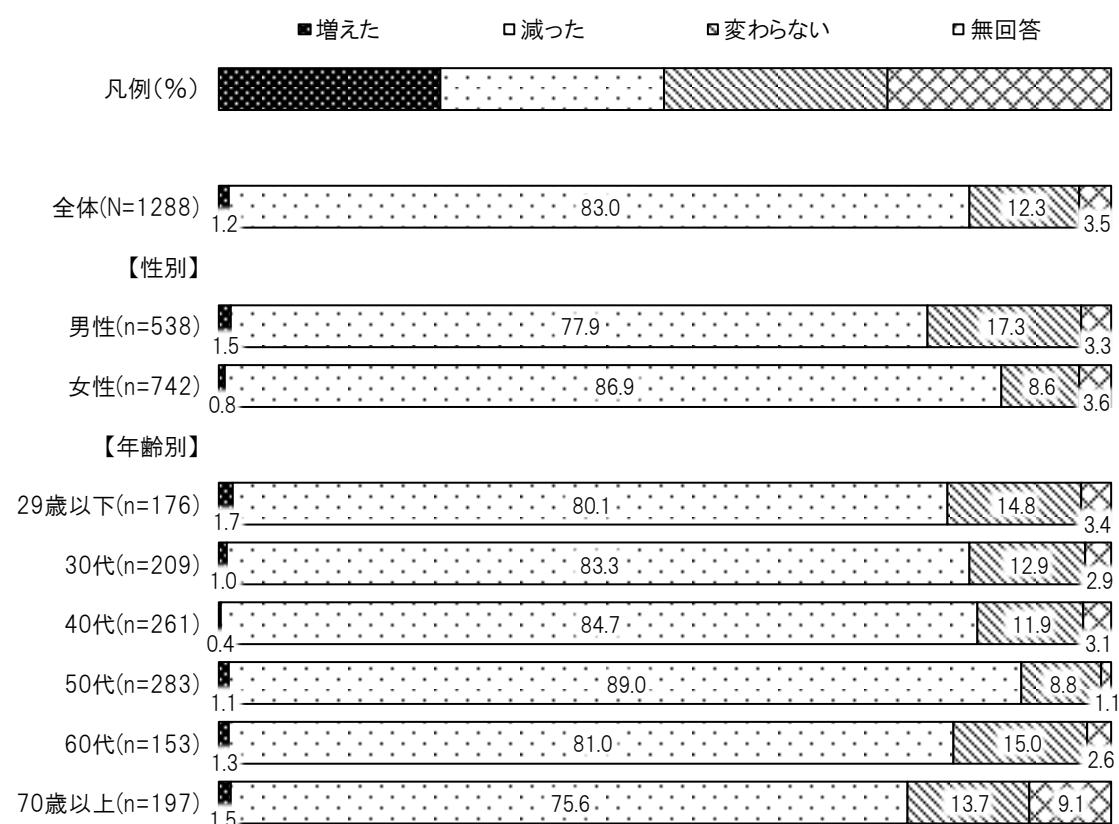


(4) 外出する頻度

外出する頻度については、「増えた」が1.2%、「減った」が83.0%、「変わらない」が12.3%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「減った」の割合が男性を大きく上回っている。

年齢別では、50代で「減った」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

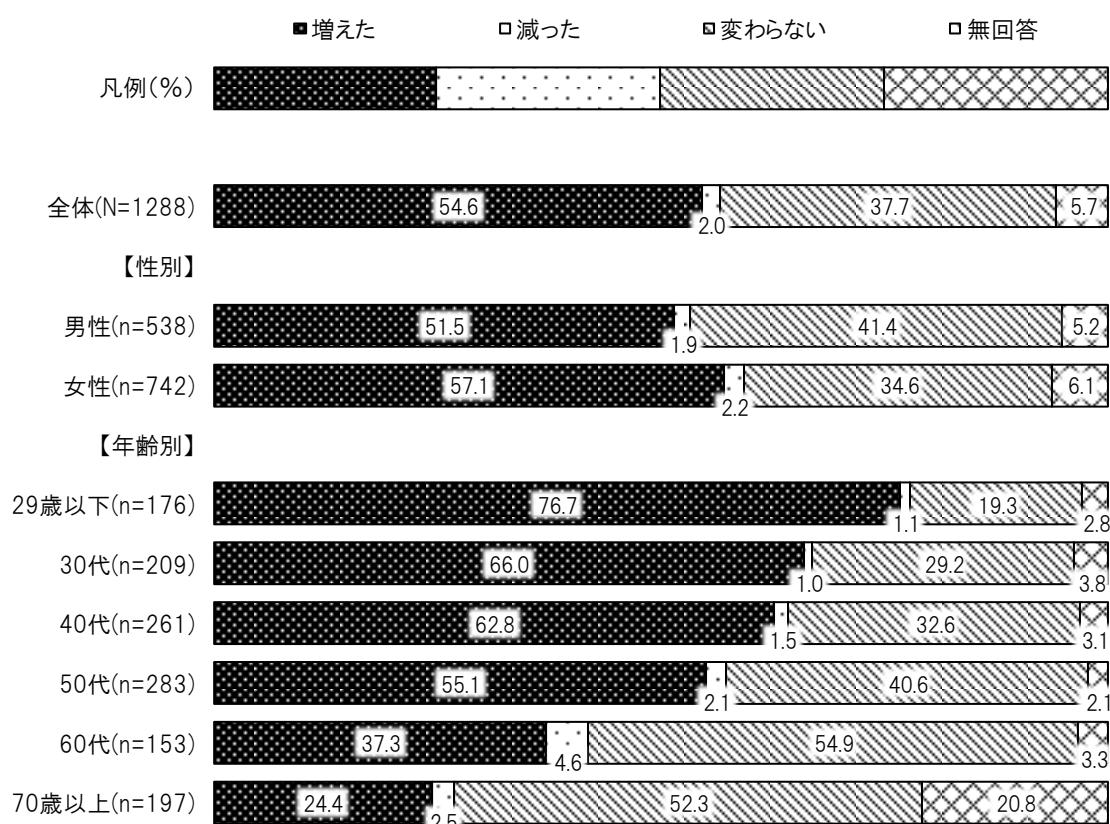


(5) パソコンやタブレット・スマートフォンを使う時間

パソコンやタブレット・スマートフォンを使う時間については、「増えた」が 54.6%、「減った」が 2.0%、「変わらない」が 37.7%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「増えた」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、若い年齢層ほど「増えた」の割合が高くなっている。

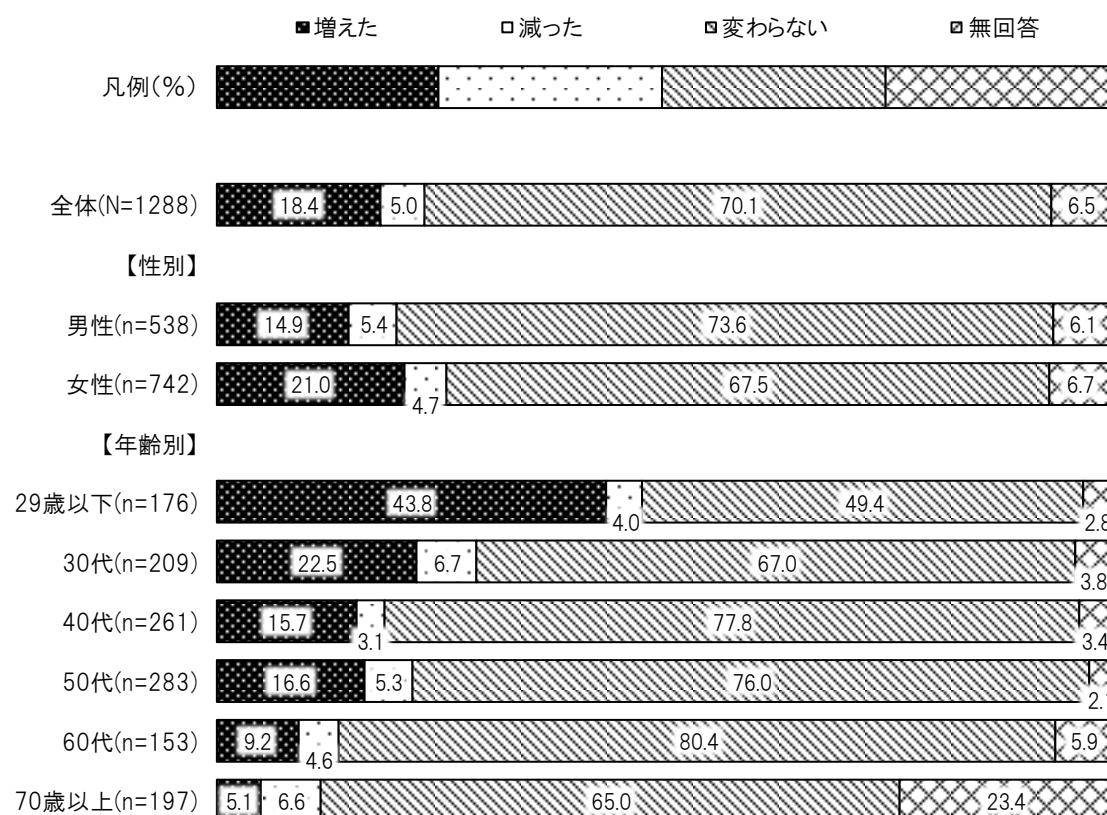


(6) SNSなどの交流頻度

SNSなどの交流頻度については、「増えた」が18.4%、「減った」が5.0%、「変わらない」が70.1%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「増えた」の割合が男性を上回っている。

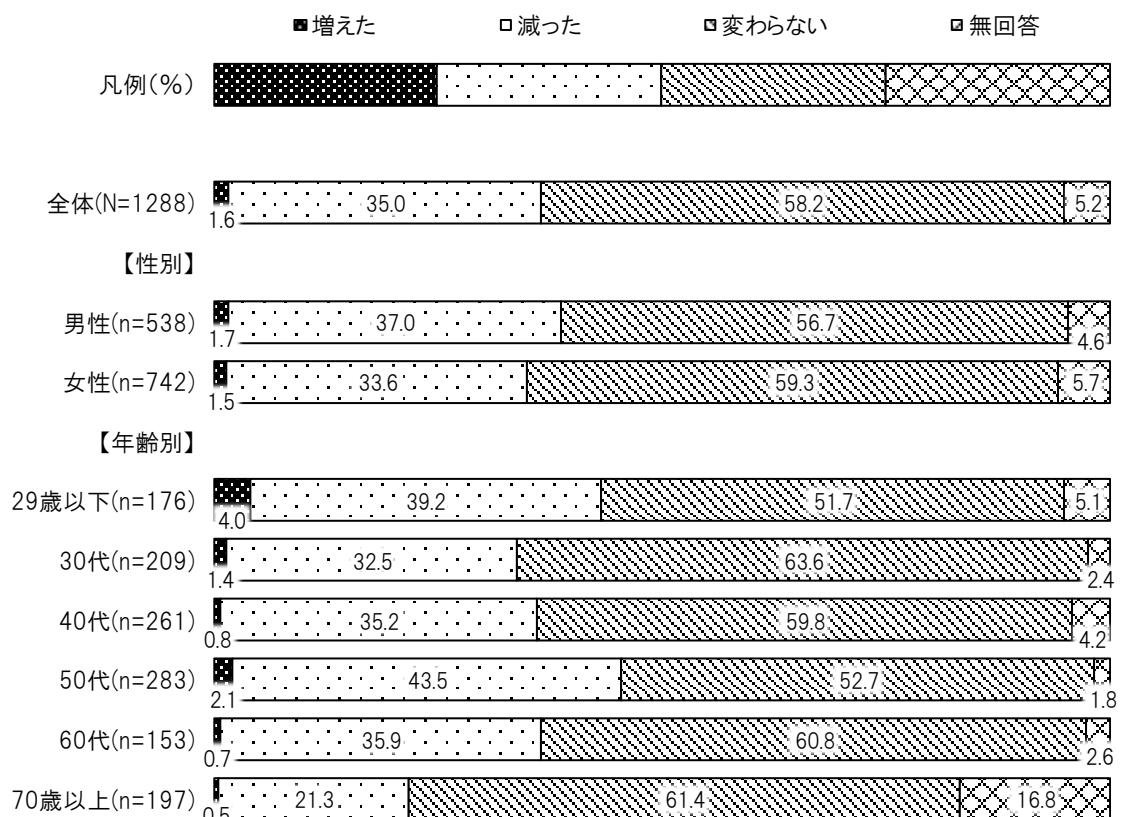
年齢別では、29歳以下で「増えた」の割合が他の年齢層を大きく上回っている。



(7) 収入（給料・ボーナスなど）

収入（給料・ボーナスなど）については、「増えた」が1.6%、「減った」が35.0%、「変わらない」が58.2%となっている。

性別では大きな差はみられないが、年齢別では50代で「減った」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

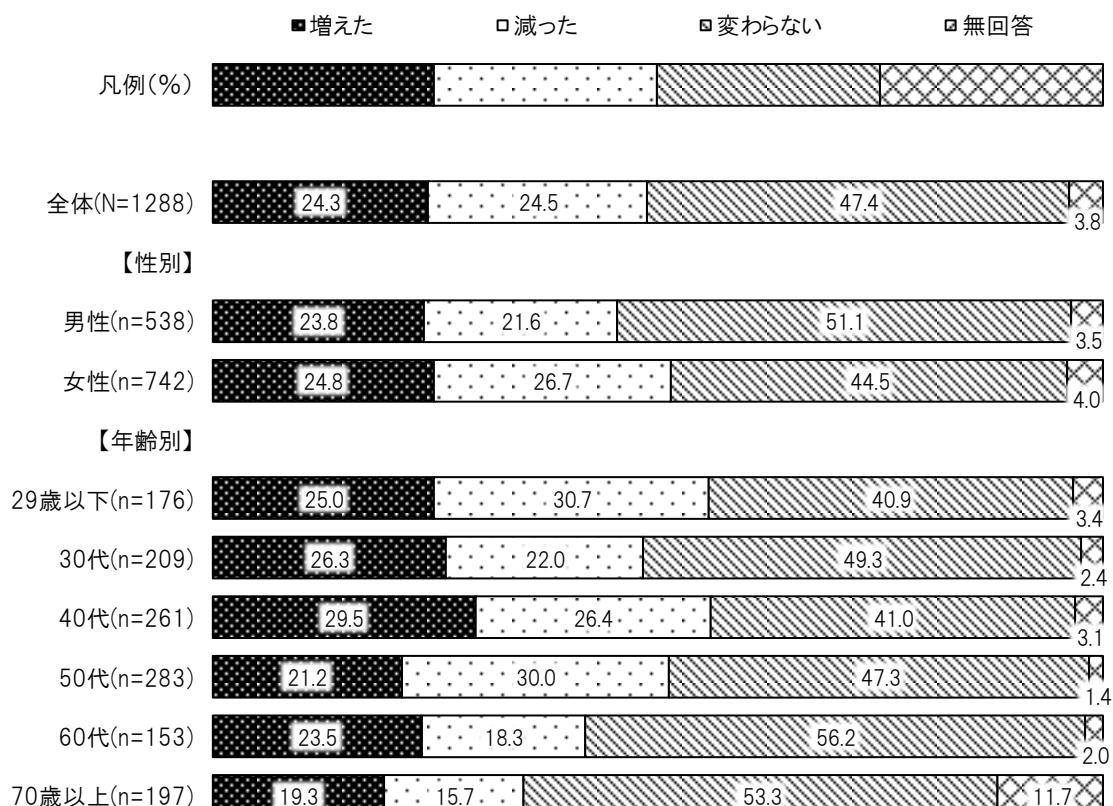


(8) 支出（食費・交際費など）

支出（食費・交際費など）については、「増えた」が 24.3%、「減った」が 24.5%、「変わらない」が 47.4%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「減った」の割合が男性を上回っている。

年齢別では、29歳以下や50代で「減った」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

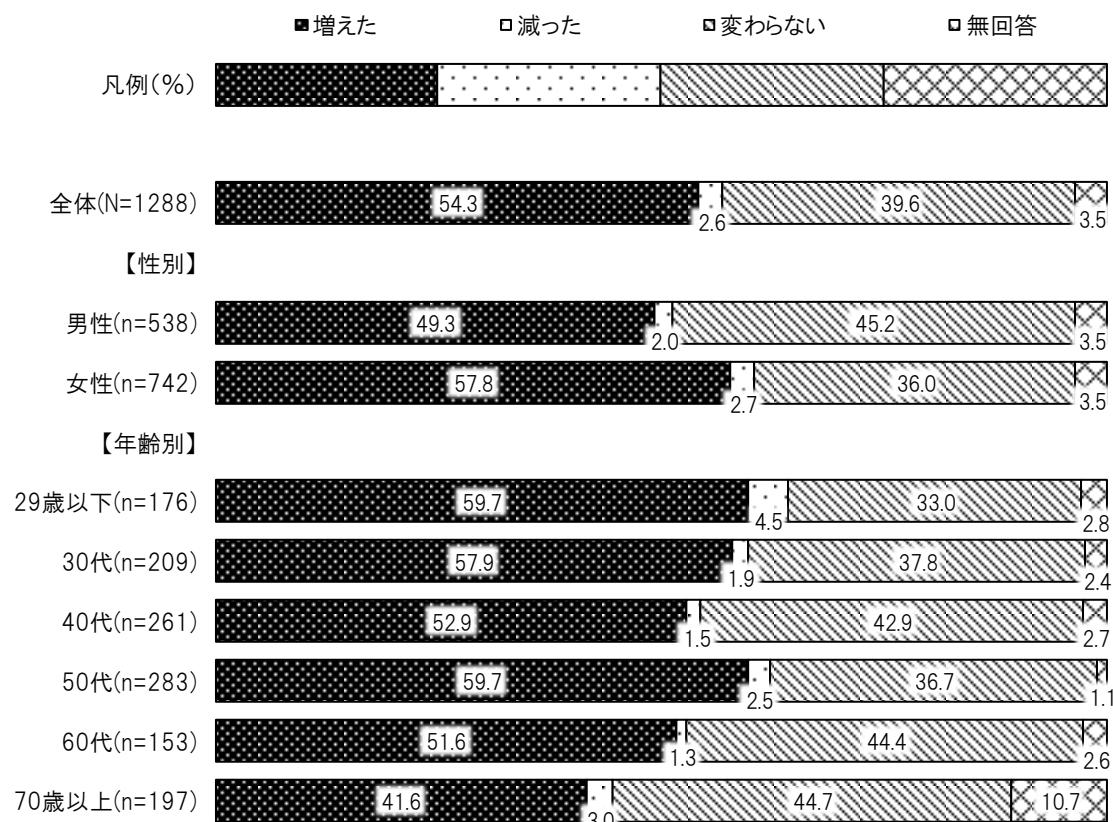


(9) 悩みやストレス

悩みやストレスについては、「増えた」が 54.3%、「減った」が 2.6%、「変わらない」が 39.6%となっている。

性別では、男性は女性に比べ「変わらない」の割合が高く、女性は「増えた」の割合が男性を上回っている。

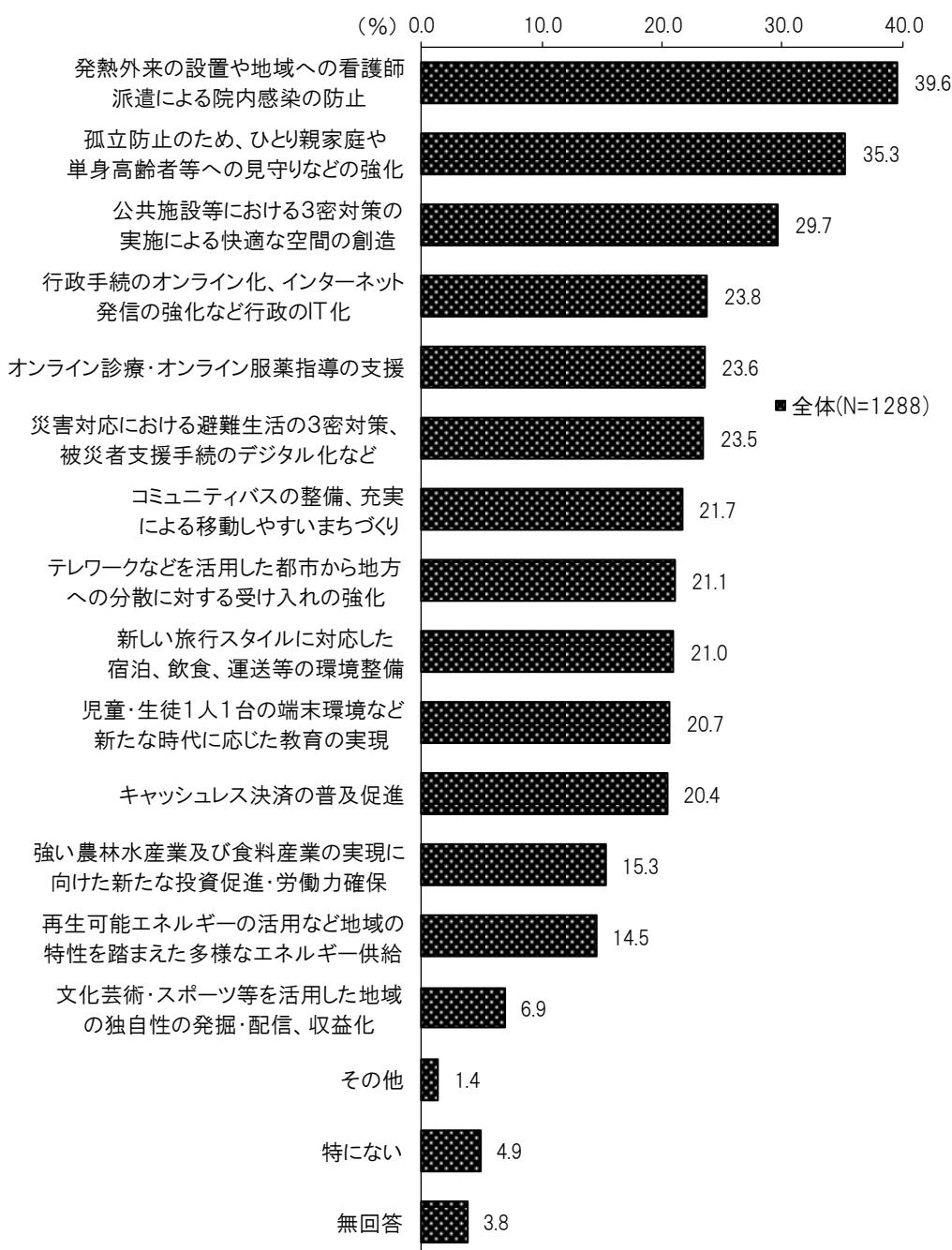
年齢別では、30 代以下や 50 代で「増えた」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。



2 新たな日常に対応するために必要な取組

問 38 「新たな日常」に対応した、新型コロナウイルス感染症や経済危機にも強い持続可能なまちづくりを進めるために、特に必要だと思うことは何ですか。
(○は5つまで)

新たな日常に対応するために必要な取組については、「発熱外来の設置や地域への看護師派遣による院内感染の防止」の割合が39.6%と最も高く、次いで「孤立防止のため、ひとり親家庭や単身高齢者等への見守りなどの強化」(35.3%)、「公共施設等における3密対策の実施による快適な空間の創造」(29.7%)、「行政手続のオンライン化、インターネット発信の強化など行政のIT化」(23.8%)の順となっている。



居住地区別では、津田地区で「コミュニティバスの整備、充実による移動しやすいまちづくり」、長尾地区で「新しい旅行スタイルに対応した宿泊、飲食、運送等の環境整備」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、男性は女性に比べ「行政手続のオンライン化、インターネット発信の強化など行政のIT化」の割合が高くなっている。

単位 (%)	院へ発内への熱感看外染護来の師の防派設止遣置にやよ地る域	化等り孤へ親立の家庭防見庭止守やのり単な身めなど高の齢ひ強者と	適密公空策施間の設の実等創施に造におよる快3	T信化行政の強化ンタ一行政のネツラのトイン	行政の手続のオノンラのトイン	ラオインラ服薬指診導療の・支オ援ン	化者生災害な支活の対手3応の対手3密にの対お	や備コス充実ニテイバクによる移ス動のし整	の分散化に都巿かくら受地方を活用	テレワードークなだけ入れの用	運対新送応し等しいのた旅環宿泊、整備飲食、に
全体(N=1288)	39.6	35.3	29.7	23.8	23.6	23.5	21.7	21.1	21.0		
【居住地区別】											
津田地区(n=236)	35.2	27.1	28.8	25.4	23.3	21.6	28.4	20.3	19.5		
大川地区(n=282)	43.3	41.1	28.7	22.0	24.1	18.4	18.1	22.0	18.8		
志度地区(n=237)	35.4	32.9	29.5	19.8	19.0	24.9	24.5	20.3	19.8		
寒川地区(n=264)	40.5	37.5	33.3	22.0	25.0	29.5	18.9	18.9	19.7		
長尾地区(n=260)	43.8	36.9	28.5	28.5	25.4	24.2	19.2	22.7	26.5		
【性別】											
男性(n=538)	39.4	32.7	27.0	27.7	21.9	23.2	20.6	19.9	18.6		
女性(n=742)	40.2	37.2	31.9	20.6	24.5	23.9	22.4	21.7	22.4		

単位 (%)	代端児 に末童 応環・ じ境生 たな徒 教ど1 育新人 のた1 実な台 現時の	普キ 及ヤ 確シ 保シ 投シ 資実 水現 促現 進に 業・ 向及 労け び働 た食	新料 強シ た産 い農 の林 資実 水現 促現 進に 業・ 向及 労け び働 た食	ギ踏 ぎま 活用 供え 生能 給た 能工 多地 様域 ネル 工特 ネ性 ルを のギ ルの	化性 を文 の活 化發 用芸 掘し 術・ た・ 配地 ス信 域の 一 収独 ツ益 自等	その 他	特 に い
	全体(N=1288)	20.7	20.4	15.3	14.5	6.9	1.4
【居住地区別】							
津田地区(n=236)	16.9	25.4	16.5	14.8	7.2	0.8	5.9
大川地区(n=282)	23.8	17.7	17.7	11.3	7.8	1.4	5.0
志度地区(n=237)	19.8	19.8	16.0	12.2	6.8	1.7	7.2
寒川地区(n=264)	21.6	20.5	14.8	15.5	7.2	1.1	3.4
長尾地区(n=260)	20.4	19.6	10.8	18.5	5.8	1.5	3.5
【性別】							
男性(n=538)	17.7	21.2	18.4	16.9	7.2	1.7	5.9
女性(n=742)	22.9	20.1	12.9	12.7	6.6	1.1	4.2

年齢別では、30代以下で「新しい旅行スタイルに対応した宿泊、飲食、運送等の環境整備」、60代以上で「孤立防止のため、ひとり親家庭や単身高齢者等への見守りなどの強化」、70歳以上で「コミュニティバスの整備、充実による移動しやすいまちづくり」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	院へ発 内の熱 感看外 染護來 の師の 防派設 止遣置 にや よ地 る域	化等り孤 へ親立 の家防 見庭止 守やの り単た な身め、 ど高 の齡ひ 強者と	適密公 な対共 空策施 間の設 の実等 創施に 造にお よけ る快3	T信化行 化の政 強イ手 化ン続 なタの ど一オ 行ネン 政ツラ のトイ 一発ン	ラオ インラ 服イ 薬ン 指診 導の・ 支オ 援ン	化者生 災な 支活害 ど援の 手3応 手3応 続密に の対お デ策、 ジタ被 アル災難	や備、 コす い充 ユマ ま実ニ ちにテ づよイ くるバ リ移ス 動のし 整	の分し テ強 散た 化に都 レ化に都 市一 すかク るらな 受地ど け方を 入へ活 れの用	運対新 送応し 等しい のた旅 環宿行 泊、タ 整備飲 タイ食 ル、に
全体(N=1288)	39.6	35.3	29.7	23.8	23.6	23.5	21.7	21.1	21.0
【年齢別】									
29歳以下(n=176)	26.7	30.7	30.1	23.9	27.8	23.3	19.3	25.6	29.0
30代(n=209)	35.4	29.2	24.9	26.8	21.1	22.5	15.3	24.9	30.6
40代(n=261)	39.1	29.1	27.2	27.6	28.4	18.8	17.6	20.3	21.1
50代(n=283)	43.1	33.6	30.4	27.9	27.2	28.6	21.9	23.7	18.4
60代(n=153)	51.6	45.8	32.0	20.3	19.0	21.6	23.5	17.6	18.3
70歳以上(n=197)	42.6	49.2	36.0	11.2	12.7	25.9	34.0	12.2	8.6

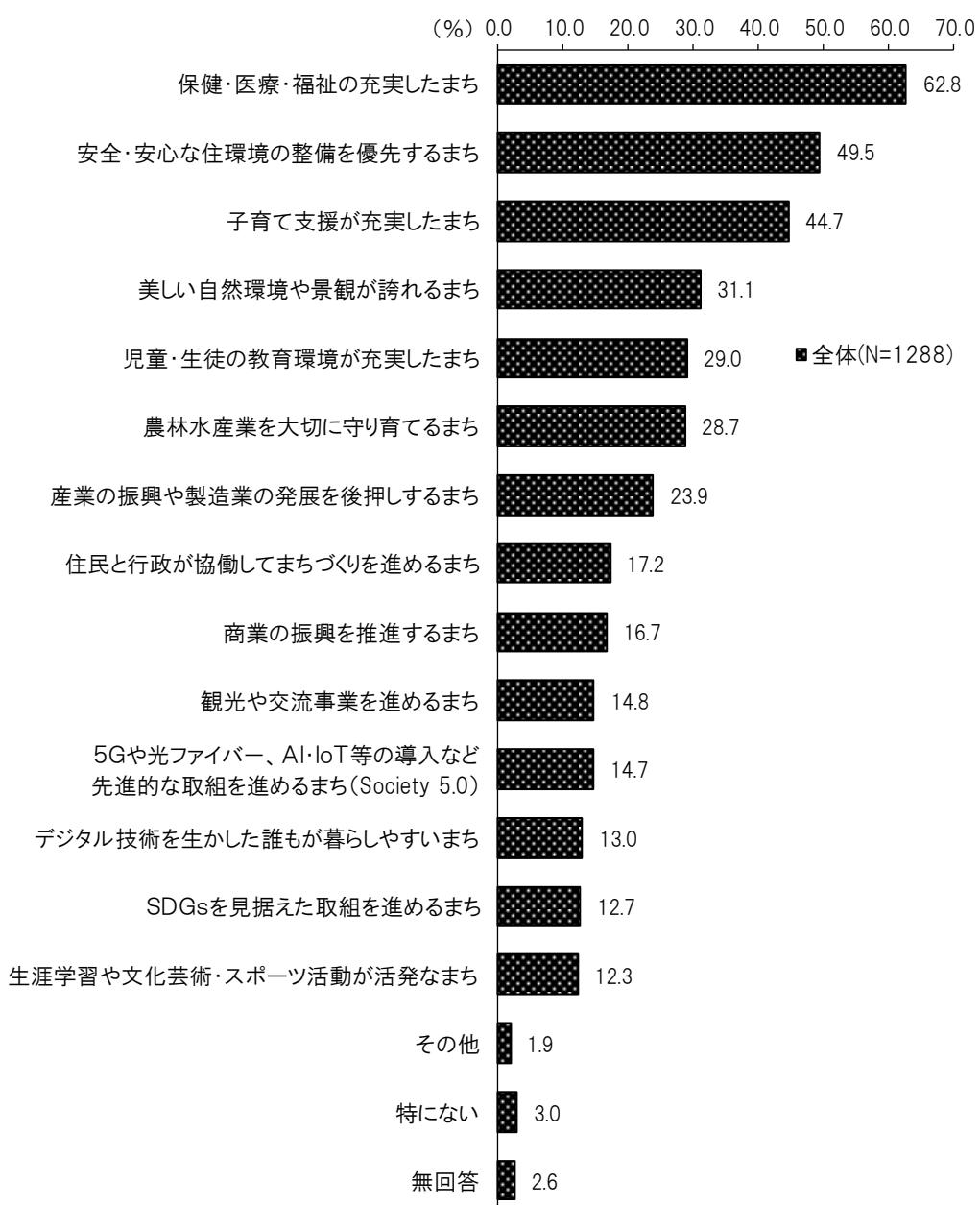
単位 (%)	代端児 に末童 応環・ じ境生 たな徒 教ど1 育新人 のた1 実な台 現時の	普及 促ツ 進シ ユレ ス決 済の	力新料 確た産い 保な業農 投の林 資実水 促現產 進に業 ・向及 劳けび 働た食	ギ踏活 一ま用生 供えな可 給たど能 多地工 様域ネ なのル 工特ギ ネ性一 ルをの	化性を文 の活化 発用芸 掘し術 ・た・ 配地ス 信、域ポ の・ 収独ツ 益自等	その 他	特 に な い
全体(N=1288)	20.7	20.4	15.3	14.5	6.9	1.4	4.9
【年齢別】							
29歳以下(n=176)	22.2	30.1	10.8	11.4	9.1	1.1	2.8
30代(n=209)	23.0	29.2	12.0	10.5	7.7	0.5	6.2
40代(n=261)	25.3	22.2	11.9	11.9	4.2	3.4	4.6
50代(n=283)	16.6	20.1	14.1	16.6	7.8	1.8	5.7
60代(n=153)	19.6	14.4	26.1	25.5	7.2	0.0	2.6
70歳以上(n=197)	17.8	6.1	20.3	13.2	6.6	0.0	6.6

【6】さぬき市の将来像について

1 市が取り組むべきまちづくり

問 39 あなたは、今後、さぬき市はどのようなまちづくりに取り組むべきだと思いますか。 (○は5つまで)

市が取り組むべきまちづくりについては、「保健・医療・福祉の充実したまち」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」(49.5%)、「子育て支援が充実したまち」(44.7%)、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」(31.1%)、「児童・生徒の教育環境が充実したまち」(29.0%)の順となっている。



居住地区別では、津田地区で「観光や交流事業を進めるまち」、大川地区で「農林水産業を大切に守り育てるまち」、寒川地区や長尾地区で「児童・生徒の教育環境が充実したまち」の割合がそれぞれ他の地区に比べて高くなっている。

性別では、女性は「保健・医療・福祉の充実したまち」「子育て支援が充実したまち」の割合が男性を大きく上回っている。

単位 (%)	充実・健診・医療・福祉のまち	ちの安全整備・を安心先なする環境	た子育て支援が優心先なする環境	観美がしい誇いられる自然環境	境児童充・生徒の自然環境	守り育てるまち	農林水産業を振興するまち	まちの発展を後押しする業	るてまちと行政が協働を進めし	る商業の振興を推進す	め観光や交流事業を進
全体(N=1288)	62.8	49.5	44.7	31.1	29.0	28.7	23.9	17.2	16.7	14.8	
【居住地区別】											
津田地区(n=236)	65.7	47.0	36.9	32.2	26.3	28.8	17.4	16.5	18.6	20.8	
大川地区(n=282)	62.4	51.4	48.6	32.6	25.9	33.3	25.2	20.6	17.4	11.0	
志度地区(n=237)	52.3	45.6	38.8	28.7	26.2	26.2	30.8	16.0	18.1	15.6	
寒川地区(n=264)	67.0	51.9	49.2	31.8	32.2	28.0	19.3	19.7	13.3	12.1	
長尾地区(n=260)	65.4	52.3	48.8	28.8	35.0	26.5	27.3	12.7	15.4	15.0	
【性別】											
男性(n=538)	55.4	48.1	39.6	30.3	25.8	30.5	28.1	18.4	18.4	16.0	
女性(n=742)	67.9	50.8	48.7	31.5	31.5	27.2	21.0	16.3	15.2	13.6	

単位 (%)	取のー5 組導 を入Aや 進なI光 めど・フ る先Iア ま進○イ ち的Tバ な等	すしデ いたジ ま誰タ ちもル が技 暮術 らを し生 やか	取S 組D をG 進s が めを る見 ま据 ちえ た	活術生 発・生涯 な学習 ま一 ポー 習や まち ツ文 活化 活動芸 が	その他	特 に な い
全体(N=1288)	14.7	13.0	12.7	12.3	1.9	3.0
【居住地区別】						
津田地区(n=236)	16.5	11.9	13.6	12.7	1.3	2.5
大川地区(n=282)	15.6	13.5	11.7	11.3	1.4	2.8
志度地区(n=237)	12.7	11.8	16.5	13.9	2.5	4.6
寒川地区(n=264)	14.8	12.5	10.2	12.5	1.9	2.7
長尾地区(n=260)	13.5	15.4	12.7	11.5	2.3	2.3
【性別】						
男性(n=538)	18.8	15.6	10.4	15.1	2.4	3.3
女性(n=742)	11.7	11.2	14.4	10.2	1.5	2.7

年齢別では、29歳以下で「観光や交流事業を進めるまち」、30代以下で「子育て支援が充実したまち」、60代以上で「農林水産業を大切に守り育てるまち」、70歳以上で「住民と行政が協働してまちづくりを進めるまち」の割合がそれぞれ他の年齢層に比べて高くなっている。

単位 (%)	充実・化の安全整備・を安心な先住する環境	保健・医療・福祉の充実	子育て支援が充実し	まちの自然環境や景	が美しい自然環境や景	が児童・生徒の教育環	守り育てるまち	農林水産業を大切に	まちの発展を後押し製造業	の産業の振興や製造業	るまちと行政が協働し	るまちと行政が協働し	るまちと行政が協働し	るまちと行政が協働し	るまちと行政が協働し
全体(N=1288)	62.8	49.5	44.7	31.1	29.0	28.7	23.9	17.2	16.7	14.8					
【年齢別】															
29歳以下(n=176)	55.1	37.5	60.8	33.5	32.4	22.2	15.9	11.9	20.5	22.2					
30代(n=209)	56.5	41.6	58.4	29.2	38.8	20.1	13.4	11.5	15.8	15.3					
40代(n=261)	60.9	44.4	48.7	23.4	34.9	22.6	27.2	14.9	20.7	15.7					
50代(n=283)	66.8	57.2	35.0	31.4	20.8	26.5	28.6	17.7	17.3	15.9					
60代(n=153)	70.6	60.8	39.9	39.2	24.8	44.4	23.5	20.3	9.8	11.1					
70歳以上(n=197)	67.0	55.8	28.4	33.5	22.8	43.1	32.0	28.4	12.7	7.6					

単位 (%)	取のー5 組導、G を入Aや 進なI光 めど・フ る先Iア ま進○イ ち的Tバ な等	すしデ いたジ ま誰タ ちもル が技術 暮術 らを生 し生 やか	取S 組D をG 進s が見 進め るま 据ち えた	活・ 生涯 発な ス学 まち ボー 習や ツ文 活化 芸 活動 が	そ の 他	特 に な い
	全体(N=1288)	14.7	13.0	12.7	12.3	1.9
【年齢別】						
29歳以下(n=176)	21.0	15.3	14.8	13.6	1.7	4.0
30代(n=209)	18.7	13.4	13.9	12.9	1.0	2.9
40代(n=261)	17.2	16.9	13.4	14.2	2.3	2.7
50代(n=283)	12.4	14.8	14.5	13.8	3.5	2.8
60代(n=153)	11.8	7.2	13.1	9.8	1.3	2.6
70歳以上(n=197)	7.1	7.1	6.6	8.1	0.5	3.0

資料 調査票

さぬき市 まちづくりアンケート

【ご協力のお願い】

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さぬき市では「第2次さぬき市総合計画」に基づき、まちづくりに取り組んでいます。

この調査は、18歳以上の市民の皆様の中から無作為に抽出した2,500人の方に、今後のまちづくりに関する意識やご意見等をおうかがいし、計画の見直しに向けての基礎的な資料とさせていただくことを目的として実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、回答に ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2021（令和3）年8月

さぬき市長 大山 浩樹

記入に当たってのお願い

- 封筒の宛名の本人がお答えください。病気や身体の不自由などの理由で記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して、無理のない範囲で代筆してください。
 - 回答は、あてはまると思う番号を○で囲んでください。また、各設問文にある（○は1つ）（○はいくつでも）などに注意して記入してください。
- ※ 回答は無記名であり、統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、本調査の目的以外に利用することはありません。

本調査はインターネットでの回答も可能です

■ スマートフォンで回答する場合

右のQRコードを読み取り回答画面を開いてください。

【回答用QRコード】



■ パソコンで回答する場合

以下のURLより回答画面を開いてください。

<https://wss3.5star.jp/survey/login/iv4o09c0>

■ インターネットでの回答にはIDとパスワードの入力が必要です。

ID パスワード
半角数字

※ ID・パスワードは重複回答を避けるために使用します。個人を特定するための番号ではありません。

【調査に関する問い合わせ先】

さぬき市 総務部 政策課
〒769-2195 香川県さぬき市志度 5385 番地 8
電話 (087) 894-1112 FAX (087) 894-4440



この調査票は、**8月30日（月曜日）**までに、同封の返信用封筒に入れて、無記名で返送してください（切手は不要です）。

● あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたがお住まいの地区はどちらですか。 (○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 津田地区 | 3 志度地区 | 5 長尾地区 |
| 2 大川地区 | 4 寒川地区 | |

問2 あなたの性別をお答えください (自認する性別をお答えください)。 (○は1つ)

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

問3 あなたの年齢をお答えください。 (○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1 19歳以下 | 4 40~49歳 | 7 65~69歳 | 10 80~89歳 |
| 2 20~29歳 | 5 50~59歳 | 8 70~74歳 | 11 90歳以上 |
| 3 30~39歳 | 6 60~64歳 | 9 75~79歳 | |

問4 あなたの職業をお答えください。 (○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 農林水産業 | 7 派遣社員・契約社員 |
| 2 自営業 (商工・サービス業等) | 8 学生 |
| 3 自由業 (開業医・弁護士等) | 9 家事専業 |
| 4 会社員・団体職員 | 10 無職 (学生・家事専業を除く) |
| 5 公務員・教員 | 11 その他 () |
| 6 パート・アルバイト (学生を除く) | |

問5 あなたの世帯構成をお答えください。 (○は1つ)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 独り暮らし世帯 | 4 親と子と孫の三世代世帯 |
| 2 夫婦のみの世帯 | 5 その他 () |
| 3 親と子の二世代世帯 | |

問6 あなたの同居家族の中に、次の方 (あなた自身を含む) はいますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 小学校入学前の子ども | 4 高校生・大学生等の学生 |
| 2 小学生の子ども | 5 介護・介助を必要とする方 |
| 3 中学生の子ども | 6 いずれもいない |

問7 あなたは、生まれたときからずっとさぬき市に住んでいますか。 (○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1 生まれたときからずっと住んでいる |
| 2 他の市町村から引っ越して来た |
| 3 一度出ていたが戻ってきた (Uターン) |

問8 あなたは、さぬき市に愛着がありますか。 (○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても愛着がある | 4 どちらかといえば愛着はない |
| 2 どちらかといえば愛着がある | 5 愛着はない |
| 3 どちらともいえない | |

問9 さぬき市は暮らしやすいまちだと思いますか。 (○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 とても暮らしやすい | 4 どちらかといえば暮らしにくい |
| 2 どちらかといえば暮らしやすい | 5 喀らしにくい |
| 3 どちらともいえない | |

問10 あなたは、これからもさぬき市に住み続けたいと思いますか。 (○は1つ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 住み続けたい | 4 どちらかといえば住み続けたくない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 5 住み続けたくない |
| 3 どちらともいえない | |

問11 あなたは、さぬき市が作成している「第2次さぬき市総合計画※」をご存じですか。 (○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1 内容までよく知っている |
| 2 名前を見聞きしたことがある程度 |
| 3 知らない |

※ 第2次さぬき市総合計画（中期基本計画）とは

本市が行う全ての政策・施策・事業の根幹となる最上位の行政計画であり、中期基本計画は2019（令和元）年度から4年間の市政運営のための計画です。まちづくりの主体である個人、地域団体、NPO、企業など市民の皆様と行政との協働を進めるために、まちの将来像の実現に向けて共に行動する「よりどころ」となる計画です。

● 地域での生活についておたずねします

問12 あなたは、日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 自分や家族の健康のこと | 9 職場や学校での人間関係のこと |
| 2 自分や家族の老後のこと | 10 住まいのこと |
| 3 子どもの教育や将来のこと | 11 地域の安全や防犯対策のこと |
| 4 育児に関するこ | 12 地震や台風などの災害のこと |
| 5 介護や医療に関するこ | 13 就職・失業など働くこと |
| 6 収入・家計など経済的なこ | 14 日常の買物や通院のこと |
| 7 地域での人間関係のこと | 15 その他（ ） |
| 8 家庭内での人間関係のこと | 16 特にない |

問13 あなたとご近所の人との関係は、次のどれに最も近いですか。 (○は1つ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 困ったときに助け合う親しい人がいる | 4 あいさつをする程度の人がいる |
| 2 お互いに訪問し合う人がいる | 5 ほとんど近所付き合いはない |
| 3 立ち話をする程度の人がいる | |

問14 あなたがお住まいの地域では、住民同士のつながりは、強いほうだと思いますか。 (○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 強いほうだと思う | 4 弱いほうだと思う |
| 2 どちらかといえば強いほうだと思う | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば弱いほうだと思う | |

問15 あなたは、地域の行事や活動などに参加していますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 自治会（町内会など）活動 | 10 子育て支援活動 |
| 2 女性活動 | 11 障害者支援活動 |
| 3 老人クラブ活動 | 12 まちづくり活動 |
| 4 子ども会やP T A活動 | 13 宗教行事 |
| 5 防犯活動・交通安全活動 | 14 お祭り・盆踊りなど |
| 6 高齢者支援活動 | 15 子どもや青少年の育成活動 |
| 7 文化・スポーツ活動 | 16 その他（ ） |
| 8 消防団活動 | 17 参加したことがない |
| 9 生涯学習活動 | |

問16 あなたは、今後、地域の活動に参加するなど、地域の人ともっと親しくしたり、地域との関わりをより深めたいと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。
(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 現在、十分に関わりがあるが、もっと深めたい |
| 2 現在、十分に関わりがあるので、このままでよい |
| 3 現在、関わりがあるが、もう少し関わりを減らしたい |
| 4 現在、関わりがあるが、地域との関わりはできるだけ持ちたくない |
| 5 現在、あまり関わりがないので、もっと深めたい |
| 6 現在、あまり関わりがないが、このままでよい |

● まちづくりの満足度と重要度についておたずねします

問 17 次にあげるさぬき市の各施策についておたずねします。あなたは、次の施策それぞれについて、現在、どの程度満足していますか。また、今後、どの程度重要だと思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

項目	評価	満足度					重要度					
		満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	
		記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

I 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち												
(1) 企業誘致の推進	企業に対する工場進出などに必要な情報提供、市内企業への規模拡大などに対する支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(2) 商工業の振興と産学官の連携強化	空き店舗の活用など市内の商店や工場に対する支援、商工会・大学・行政が連携した市内企業の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(3) 農林業の振興	農業の担い手の育成・確保、農産物の「さぬき」ブランドの育成、地産地消の推進、森林のもつ機能の維持	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(4) 水産業の振興	水産業の担い手の育成・確保、漁港の整備、水産物の「さぬき」ブランドの育成、水産物の消費拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(5) 観光の振興	魅力的な市内観光ルートの開発、「さぬき」観光の宣伝強化、高松市など周辺市町が連携した観光集客活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(6) 雇用の場の確保と労働環境の充実	求職者と求人企業の両方の希望をかなえる就労支援、若者の地元就職の支援を含めた働きやすい職場環境に向けた企業への啓発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
(7) 定住促進対策	地元に帰ってくる方やさぬき市で働きたい、住んでみたい方などへの移住支援、定住促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	



項目	満足度					重要度				
	満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	(2)	3	4	5	1	(2)	3	4	5
------	---	-----	---	---	---	---	-----	---	---	---

Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち

(8) 消防・防災体制の充実	自主防災組織の活動支援など地域防災力の向上、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、感染症も含む災害発生時の対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 生活安全対策の推進	犯罪のないまちづくりの推進、交通安全に対する啓発活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 道路等の社会基盤の整備	市道や生活道の維持・整備、橋、川、港などの維持・管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 公共交通網の充実	コミュニティバスなどの公共交通手段の確保・利用促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 住環境の整備と都市計画の推進	市営住宅の管理、空き家対策、公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 墓地・斎場の整備	火葬場の管理、市営墓地の管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

Ⅲ 健全な心身と思いやりを育むまち

(14) 子育て支援の充実	地域ぐるみでの子育て支援の充実、親子の健康づくりへの支援、保育環境の充実など多様な子育て支援サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 高齢者福祉の充実	健康づくりや介護予防の推進、高齢者の就労や社会参加の推進、地域ぐるみでの高齢者の見守り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 障害者福祉の充実	障害に対する地域の理解促進やバリアフリー化の促進、障害のある方や児童への多様な福祉サービスの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 地域力の強化による地域福祉の充実	住民主体の支え合い、ボランティア活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 心身の健康づくりに対する支援	生活習慣病対策、健康診査やがん検診受診率の向上、心の健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	満足度					重要度				
	満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(19) 地域医療の充実	市民病院を核とした救急医療・へき地医療・在宅医療などの提供、近隣の開業医などとの連携による地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 生活困窮者への支援	生活保護制度の適切な運用、自立を促す就労支援や相談体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 社会保障制度の適切な運用	国民健康保険制度・介護保険制度・国民年金制度などの運用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち											
(22) 学校教育の充実	特別な支援を要する児童などを含む生きる力を育む学校教育や就学前教育の充実、教職員の資質の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 家庭と地域の教育力の強化	家庭教育の啓発・推進、放課後子ども教室の充実、「地域とともにある学校」を目指した学校支援ボランティア活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 生涯学習・スポーツの推進	生涯学習や生涯スポーツの推進、公民館・図書館・体育館等施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 歴史・文化の伝承	文化財の保存と活用、地域の伝統文化の継承、芸術文化活動の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 青少年の健全育成	街頭補導、不審者対策、不登校児童・生徒への相談・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 交流事業の推進	国際交流活動、市内在住外国人との交流、北海道剣淵町など姉妹都市との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 男女共同参画の推進	性別にかかわらず個人の能力が發揮でき、仕事と生活の両立などができる社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 人権教育の推進	人権教育・人権啓発活動の推進・充実、人権相談体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目	満足度					重要度				
	満足	ある程度満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

記入例→	1	(2)	3	4	5	1	(2)	3	4	5
------	---	-----	---	---	---	---	-----	---	---	---

V 人と地球にやさしいまち											
(30) 自然環境との共生	ごみの不法投棄の防止などによる環境美化運動と景観の保全、太陽光など再生可能エネルギーの導入促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 資源循環型社会の構築	ごみの減量化、資源回収・リサイクルの推進、し尿収集・処理体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 上下水道の維持・整備	上水道事業や下水道事業の健全経営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち											
(33) 財政の健全化	行政サービスの市民への提供に係る費用の削減、市の借入残高の削減	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34) 歳入の確保	市税の市民への公正・公平な負担のお願いとその徴収、各種広告料、ふるさと納税などの自主的な収入源の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 行政改革の推進	市民目線に立った効果的・効率的な行財政運営、職員の資質向上、行政で取り組む事務・事業の評価制度の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 公共施設マネジメントの推進	計画的な公共施設の整理・再編、学校跡地施設の有効活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	広報さぬきや市ホームページの充実、市民意見提出手続(パブリックコメント)などによる市民意見聴取、市の会議などへの市民の参加、行政情報の公開	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 地域コミュニティの活性化	自治会などのコミュニティ活動の充実、集会施設などの整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 広域的行政の推進	高松市など周辺市町との連携による効率的な広域行政の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

● これからのまちづくりについておたずねします

「第2次さぬき市総合計画 中期基本計画」では、6つの基本目標に基づいてまちづくりを進めています。それぞれの基本目標に関する質問について、ご意見をお聞かせください。

基本目標Ⅰ 活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち

産業振興や観光の活性化などに関する内容です。

【商工業の振興】

問18 商工業を振興し、育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 身近な商店街のにぎわいを生む商業の振興を図る
- 2 駅周辺地域などの活性化を図る
- 3 大型店を核とした商業地区を整備する
- 4 企業の技術力向上や製品開発、販路拡大を支援する
- 5 企業や研究機関の誘致活動を強化する
- 6 A I^{※1}やI o T^{※2}など新しい技術を活用した産業を育成・支援する
- 7 地域資源を活用したさぬきブランドの開発を支援する
- 8 女性や高齢者、障害者、外国人など多様な人材が活躍できる環境を整備する
- 9 地元事業者の後継者育成や事業の承継など担い手の確保を支援する
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

※1 「A I」とは

Artificial Intelligence の略で人工知能と訳される。コンピュータが大量・多様なデータを分析し、推論や判断、学習等、人間の脳にしかできなかったような高度で知的な作業を、プログラムなどの人工的なシステムにより行えるようにした技術のこと。

※2 「I o T」とは

Internet of Things の略で情報通信技術の概念を指す言葉。パソコンやスマートフォンなどの情報機器が接続しているインターネットに、産業用機器から自動車、家電製品等の「モノ」をつなげることにより、機器の遠隔操作など多様な付加価値を生む技術のこと。

【農林水産業の振興】

問19 農林水産業を振興し、育成するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 遊休農地を活用した農林業の振興を図る
- 2 新規特産物やブランドの開発、産直市開催など特産物による振興を図る
- 3 新規就業者や後継者の育成など、担い手の確保を強化する
- 4 地産地消・6次産業化※を推進する
- 5 経営基盤の強化に向けた支援を充実する
- 6 その他（ ）
- 7 特にない

※ 「6次産業化」とは

1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組。

【観光振興】

問20 観光を活性化するために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 市内のイベントや祭りを充実する
- 2 地域の歴史や文化資源を活用する
- 3 魅力ある特産品やおみやげ品の開発を促進する
- 4 多言語案内など外国人観光客の受け入れ環境を整備する
- 5 自然や文化などに親しめる体験型旅行商品を充実する
- 6 複数の観光拠点を組み合わせた広域での観光ルートを設定する
- 7 観光施設などにおける感染症防止対策を強化する
- 8 SNSやホームページなどを活用して積極的に情報を発信する
- 9 Wi-Fiなど情報通信環境を充実する
- 10 老朽化する市内の観光施設及び温泉施設を計画的に修繕し、施設の快適性を強化する
- 11 その他（ ）
- 12 特にない



【定住促進】

問21 市の人口が減少傾向にある中、あなたは、移住支援や定住促進に効果が高いと思われる取組は何だと考えますか。（○は3つまで）

- 1 結婚時の支援
- 2 出産時の支援
- 3 マイホームの購入や新築時の支援
- 4 三世代同居や近居のための支援
- 5 若者世代がさぬき市へリターンする場合やさぬき市での就労や居住を希望するときの支援
- 6 住まいの向上に関する費用の一部（リフォーム、耐震対策など）に対する支援
- 7 子どもの健康づくり（病児・病後児保育、子ども医療費支給など）に対し、市が積極的にサポートする
- 8 行政の手続きがパソコンやスマートフォンでできる
- 9 のどかな田園風景を維持する
- 10 徒歩や自転車でも生活しやすい便利なまちに整備する
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

基本目標Ⅱ 安全、安心、快適に暮らせるまち

防災や公共交通などに関する内容です。

【災害対策】

問22 あなたは、地震や台風、豪雨など自然災害による被害を防ぐ取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 ハザードマップや災害時の行動に関する啓発など情報提供を充実する
- 2 住宅の耐震診断や改修などに対する補助制度を充実する
- 3 食料や飲料水、医薬品などの備蓄・整備を充実する
- 4 災害時における被害情報の早期把握体制と迅速な情報伝達機能を充実する
- 5 避難場所となる公共施設の耐震化や電源の確保を図る
- 6 災害時の近隣市町や県との広域連携を推進する
- 7 職場や地域における避難訓練・防災研修会を実施する
- 8 災害時要配慮者など災害弱者への対策を強化する
- 9 上階への垂直避難が可能な建物への整備を支援する
- 10 道路の拡幅や区画整理等により、積極的に住宅密集地を解消する
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

【都市基盤・生活環境】

問23 都市基盤や生活環境に関する取組について、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 便利で幅の広い新しい道路を整備する
- 2 今ある生活道路の穴や割れを重点的に改善する
- 3 公園のように過ごせる水辺空間（河川・港湾）を整備する
- 4 徒歩・自転車・公共交通でも生活しやすいまちの整備を重視する
- 5 のどかな田園風景や海の見える景色などの景観を守る
- 6 公費を投入して民間の老朽空き家をなくすなど空き家等対策を進める
- 7 その他（ ）
- 8 特にない

問24 あなたは、市内の公園や緑地の規模や機能について、今後、どのように整備をしてほしいと思いますか。（○は3つまで）

- 1 地域住民が身近に利用できる小規模な公園
- 2 駐車場がある一定数の市民が利用できる中規模な公園
- 3 総合運動公園などの全市民が利用できる大規模な公園
- 4 観光拠点・施設として市外住民も利用できる広域的な公園
- 5 散歩や休憩ができる落ち着いた公園
- 6 子どもたちの遊び場としての公園
- 7 地域行事などに活用できる地域の憩いの場としての公園
- 8 避難場所など防災拠点の場としての公園
- 9 花や緑があふれる自然と触れ合える場としての公園
- 10 球技などができる運動の場としての公園
- 11 その他（ ）
- 12 特にない



基本目標Ⅲ 健全な心身と思いやりを育むまち

子育て支援や高齢者・障害者福祉、健康づくりなどに関する内容です。

【子育て支援】

問 25 子育て支援の充実を図るために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 相談体制を充実し、子育ての不安や負担感を減らす
- 2 妊婦や乳幼児の健康診査など、安心できる母子保健事業を充実する
- 3 保育所・幼稚園・認定こども園を整備、充実する
- 4 子育てに伴う経済的な負担を軽減する
- 5 在宅勤務や育児休業制度の普及など、働きながらでも子育てしやすい環境づくりを推進する
- 6 親子で気軽に交流や相談ができる子育てサロンなどの拠点を充実する
- 7 子どもが安心して遊べる場所を整備、充実する
- 8 子育てボランティアの育成など、社会全体で子どもを育む意識を高める
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

【高齢者・障害者福祉】

問 26 高齢者や障害のある人が生きがいをもって暮らせる環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 見守り・声掛けなど地域全体で支える仕組みづくりを推進する
- 2 バリアフリー化やユニバーサルデザイン※によるまちづくりを推進する
- 3 買物や通院のための移動手段を確保する
- 4 介護・福祉を担う人材を確保する
- 5 地域住民やボランティアを含めた地域福祉のネットワークを充実する
- 6 高齢者や障害のある人に経済面で生活支援を充実する
- 7 元気な高齢者の働く場や障害のある人が自立できる就労支援策を充実する
- 8 年齢や障害の有無にかかわらずパソコンやスマートフォンを活用できるデジタル教育の充実
- 9 その他（ ）
- 10 特にない

※ 「ユニバーサルデザイン」とは

障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいように製品、環境、建物、空間などをデザインする考え方のこと。

【健康づくり】

問27 生涯にわたる健康づくりを推進し、誰もが元気に暮らせる環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 健康相談・健康教室を充実する
- 2 市民が主体となった地域での健康づくりを促進する
- 3 スポーツによる健康づくり・体力づくりを促進する
- 4 要介護状態にならないための介護予防の取組を充実する
- 5 メンタルヘルス対策などの心の健康づくりを推進する
- 6 成人病検診やがん検診を充実する
- 7 保健師などの訪問活動を推進する
- 8 市民病院などの地域医療を充実する
- 9 救急・休日・夜間・訪問診療など診療体制を充実する
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

基本目標IV 学ぶ意欲と豊かな心を育むまち

学校教育や人権推進などに関する内容です。

【学校教育】

問28 質の高い学校教育を支える環境をつくるために、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育を推進する
- 2 児童・生徒が個々の能力を磨き、発揮できる機会を増やす
- 3 オンライン学習環境の整備などＩＣＴを効果的に活用した教育環境を整備する
- 4 インターネットやスマートフォンの正しい取扱いなど情報モラル教育の充実
- 5 国際化を視野に入れた外国語教育の充実
- 6 体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり
- 7 教員が、児童・生徒一人ひとりに向き合うために業務を改善する
- 8 家庭・地域・学校・大学が連携し、地域における教育力の向上を推進する
- 9 子ども同士のつながりを深めるため、学年を越えた交流を促進する
- 10 不登校やいじめなどに対する早期対応と支援の充実を図る
- 11 通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実を図る
- 12 その他（ ）
- 13 特にない

【男女共同参画】

問 29 あなたは、男女が性別にかかわりなく家庭、職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくためには、今後、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。
(○は3つまで)

- 1 市民が参加できる講座やセミナーの開催
- 2 学校での男女平等教育の充実
- 3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた取組
- 4 働きやすい職場づくりに対する企業等への啓発
- 5 市民主体の活動への支援
- 6 あらゆる暴力の根絶に向けた取組
- 7 子育てサービスの充実
- 8 女性の自立支援の取組
- 9 その他 ()
- 10 特にない

【人権教育・啓発活動の推進】

問 30 「一人ひとりの人権が大切にされる、住みやすいさぬき市」を実現するために、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。 (○は3つまで)

- 1 学校や地域社会において、人権教育を充実する
- 2 企業における人権啓発を充実する
- 3 ケーブルテレビや市のホームページ、広報紙などを使った啓発活動を充実する
- 4 参加・体験型を取り入れた人権出前講座※を充実する
- 5 参加・体験型の研修会や講演会などを開催する
- 6 イベント・コンサート形式の事業を開催する
- 7 様々な立場の人々との交流事業や意見交換の場を充実する
- 8 啓発看板や垂れ幕、ポスターの掲示及びパネル展を充実する
- 9 その他 ()
- 10 特にない

※ 「参加・体験型を取り入れた人権出前講座」とは

参加・体験型とは、ワークショップやフィールドワーク、高齢者、障害者及び妊婦の疑似体験等を通じた活動のこと。

人権出前講座とは、人権をテーマとした研修会や講習会などを実施する団体やグループに、講師を派遣する講座のこと。

基本目標V 人と地球にやさしいまち

環境などに関する内容です。

【環境保全】

問31 人と地球にやさしい環境づくりに向けた取組として、今後、さぬき市ではどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 LED照明設備など省エネルギーの普及促進による地球温暖化対策を推進する
- 2 公共交通網の整備などによる自動車利用の抑制を図る
- 3 太陽光・風力・地熱・バイオマスといった再生可能エネルギーを普及促進する
- 4 山林・農地・水辺空間など自然環境の保全を図る
- 5 小・中学校で自然環境学習を実施する
- 6 ごみの分別や発生の抑制、リサイクルの促進など循環型社会の構築を図る
- 7 市民参加による自主的な清掃活動など環境美化活動を支援する
- 8 大気汚染・騒音・振動・悪臭など公害対策を充実する
- 9 下水道の整備や浄化槽の普及促進など水環境の保全を図る
- 10 その他（ ）
- 11 特にない

基本目標VI 市民協働による、持続可能な自主自律のまち

行政の取組や市民参画などに関する内容です。

【市民協働】

問32 さぬき市では、住民と行政が協働してまちづくりに取り組めていると思いますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 思う | 4 あまり思わない |
| 2 まあまあ思う | 5 わからない |
| 3 どちらともいえない | |

【人口対策】

問33 あなたは、さぬき市の人口が減少することに不安を感じていますか。（〇は1つ）

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 不安を感じる | 4 不安を感じない |
| 2 どちらかといえば不安を感じる | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば不安を感じない | |



問33で「1」「2」と答えた方は問34へ、それ以外の方は問35へお進みください

問34 【問33で「1」「2」と答えた方におたずねします】あなたは、どのような不安を感じていますか。（○は5つまで）

- 1 公共料金が高くなる
- 2 教育・文化・スポーツ等の公共施設が減る
- 3 医療保険や年金など社会保障の維持が困難になる
- 4 食料品や日用品などの買物が不便になる
- 5 趣味や娯楽などの施設が減る
- 6 公共交通機関の減便や廃止により交通の便が悪くなる
- 7 保育園や小児医療機関などの減少により子育て環境が悪くなる
- 8 医療、福祉サービスが行き届かなくなる
- 9 学校の統廃合などにより教育環境が悪くなる
- 10 企業等の撤退により仕事や収入が減る
- 11 担い手や後継者の不足により地域産業の維持が困難になる
- 12 若者が減少し地域に活気がなくなる
- 13 その他（ ）

【市民参画】

問35 誰もが住みやすいと感じられるまちづくりを進めていくためには、市民の皆さんの積極的な参加が必要です。あなたは、どのような活動に協力・参加したい（できる）と思いますか。（○は5つまで）

- 1 清掃活動など美しい町をつくるための活動
- 2 自然保護・愛護活動など地域の自然や身近な環境を守り育てる活動
- 3 福祉ボランティアや見守り活動など高齢者や障害者のための活動
- 4 市の歴史や文化を学び、郷土の遺産として守り育てる活動
- 5 リサイクル・省資源・地球温暖化防止活動など地球環境を守る活動
- 6 子育てサロン活動など育児や教育の情報交換に関する活動
- 7 生涯学習活動など教養・技能習得に関する活動
- 8 健全な青少年の育成を目指す活動
- 9 食生活の改善、健康づくりやスポーツなどの活動
- 10 各種イベントや祭り、文化、運動会などの活動
- 11 交通安全や防災・防犯活動など安心・安全な暮らしを目指す活動
- 12 あいさつ運動や親切を心掛ける活動
- 13 体験活動の指導やホームステイ、民泊受け入れなどの活動
- 14 新しい特産品やおみやげ品の研究開発などの活動
- 15 まちづくり会議などへの参加や市政への企画提案などの活動
- 16 その他（ ）
- 17 特にない

【行政運営】

問36 あなたは、さぬき市の行政運営について、今後、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 庁内の組織のスリム化 | 7 職員の能力や資質の向上 |
| 2 窓口対応サービスの向上 | 8 民間で実績を持つ人の登用・活用 |
| 3 行政窓口のデジタル化 | 9 民間委託の推進 |
| 4 公共事業の見直し | 10 行政運営への市民の参加促進 |
| 5 行政情報の積極的な公開 | 11 その他（ ） |
| 6 公共施設の効率的な活用 | 12 特にない |

● 新たな日常（新しい生活様式等への対応）についておたずねします

問37 新型コロナウイルス感染症の拡大による、あなたの生活への影響について、次にあげる項目それぞれについてお答えください。（○は1つずつ）

	増えた	減った	変わらない
(1) 家族と過ごす時間	1	2	3
(2) 一人で過ごす時間	1	2	3
(3) 友人・知人と過ごす時間	1	2	3
(4) 外出する頻度	1	2	3
(5) パソコンやタブレット・スマートフォンを使う時間	1	2	3
(6) SNSなどでの交流頻度	1	2	3
(7) 収入（給料・ボーナスなど）	1	2	3
(8) 支出（食費・交際費など）	1	2	3
(9) 悩みやストレス	1	2	3



問38 「新たな日常」に対応した、新型コロナウイルス感染症や経済危機にも強い持続可能なまちづくりを進めるために、特に必要だと思うことは何ですか。（○は5つまで）

- 1 公共施設等における3密対策の実施による快適な空間の創造
- 2 コミュニティバスの整備、充実による移動しやすいまちづくり
- 3 発熱外来の設置や地域への看護師派遣による院内感染の防止
- 4 キャッシュレス決済の普及促進
- 5 行政手続のオンライン化、インターネット発信の強化など行政のIT化
- 6 災害対応における避難生活の3密対策、被災者支援手続のデジタル化など
- 7 再生可能エネルギーの活用など地域の特性を踏まえた多様なエネルギー供給
- 8 児童・生徒1人1台の端末環境など新たな時代に応じた教育の実現
- 9 オンライン診療・オンライン服薬指導の支援
- 10 文化芸術・スポーツ等を活用した地域の独自性の発掘・配信、収益化
- 11 テレワークなどを活用した都市から地方への分散に対する受け入れの強化
- 12 孤立防止のため、ひとり親家庭や単身高齢者等への見守りなどの強化
- 13 強い農林水産業及び食料産業の実現に向けた新たな投資促進・労働力確保
- 14 新しい旅行スタイルに対応した宿泊、飲食、運送等の環境整備
- 15 その他（ ）
- 16 特にない

● さぬき市の将来像についておたずねします

問39 あなたは、今後、さぬき市はどのようなまちづくりに取り組むべきだと思いますか。（○は5つまで）

- 1 産業の振興や製造業の発展を後押しするまち
- 2 商業の振興を推進するまち
- 3 農林水産業を大切に守り育てるまち
- 4 観光や交流事業を進めるまち
- 5 安全・安心な住環境の整備を優先するまち
- 6 子育て支援が充実したまち
- 7 保健・医療・福祉の充実したまち
- 8 児童・生徒の教育環境が充実したまち
- 9 生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発なまち
- 10 美しい自然環境や景観が誇れるまち
- 11 住民と行政が協働してまちづくりを進めるまち
- 12 デジタル技術を生かした誰もが暮らしやすいまち
- 13 5G^{※1}や光ファイバー、AI・IoT等の導入など先進的な取組を進めるまち（Society 5.0^{※2}）
- 14 SDGs^{※3}を見据えた取組を進めるまち
- 15 その他（ ）
- 16 特にない

→ 次ページの用語の解説をご覧ください。

※1 「5G」とは

スマートフォン等で、高速・大容量のデータ通信を可能とする第5世代移動通信システムのこと。

※2 「Society 5.0」とは

狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、AIやIoTなどの最新テクノロジーを活用した便利な社会のこと。

※3 「SDGs」とは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015（平成27）年9月の国連サミットにおいて採択された、2030（令和12）年までに全ての国が取り組むべき17のゴールから成る国際目標で、あらゆる格差と不平等を解消していくことを根本理念としている。



問40 あなたが、将来に向けてさぬき市の行政に望むことやまちづくりに関するご意見、ご提案などがあれば、自由にご記入ください。

（記入用紙）

～ご協力ありがとうございました～



**さぬき市 まちづくりアンケート
報告書**

発 行／2021（令和3）年11月
発 行 者／さぬき市 総務部 政策課
〒769-2195 香川県さぬき市志度5385番地8
電 話（087）894-1112
FAX（087）894-4440
